

第二期田辺市子ども・子育て支援事業計画策定にかかる
ニーズ調査結果報告書

平成 31 年 3 月
田辺市 子育て推進課

目次

1 実施概要

1.1 調査の目的	1
1.2 調査の概要	1
1.3 調査の項目	2

2 単純集計結果

2.1 回答者の属性.....	4
2.2 子どもの育ちをめぐる環境	8
2.3 保護者の就労状況.....	23
2.4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	33
2.5 地域の子育て支援拠点事業の利用状況.....	38
2.6 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用状況.....	41
2.7 子どもの病気の際の対応	46
2.8 一時預かりなどの利用	52
2.9 就学後の放課後の過ごし方	58
2.10 育児休業や短時間勤務制度などの利用	74
2.11 自由意見	88

3 クロス集計結果

3.1 年齢別	102
---------------	-----

1.実施概要

1 実施概要

1.1 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づき、平成 27 年 3 月に策定した「田辺市子ども・子育て支援事業計画」が平成 31 年度に終了することから、今後 5 年間の「第二期田辺市子ども・子育て支援事業計画」で確保を図るべき教育・保育・子育て支援に関して、市民におけるニーズ（現在の利用状況や今後の利用希望等）を把握することを目的として実施しました。

1.2 調査の概要

1.2.1 調査対象者と実施手法

	就学前児童	小学生
配布数	2,634	3,679
配布・回収方法	○幼稚園・保育所・認定子ども園等の施設を通じて配布・回収 ○無作為抽出による郵送配布・郵送回収	○小学校を通じて配布・回収
回収数	2,136（回収率 81.1%）	3,261（回収率 88.6%）

1.2.2 実施時期

平成 31 年 1 月

1.2.3 報告書の見方

- (1) 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第 2 位で四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を上回る。
- (3) 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して、0.1%に満たない場合は、図表には「0.0%」と表記している場合がある。
- (4) 回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになる。
- (5) グラフにおいて、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

1.3 調査の項目

国のひな形	国の設 問番号	設問	必須項目	田辺市の今回の設 問番号		備考
				未就学	小学生	
地域	1	お住まいの地区	○	1	1	
宛名の子どもと 家族の状況	2	宛名の子どもの生年月	○	2	2	
	3	きょうだい		3	3	
	4	回答いただく方	○	4	4	
	5	回答いただいている方の配偶関係	○	5	5	
	6	子育て（教育を含む）を主に行っている人	○	6	6	
	7	子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人（施設）			-	
子どもの育ちをめ ぐる環境	8	子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境		7	7	
	9	子どもをみてもらえる親族・知人		8	8	
	9-1	祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について		8	8	
	9-2	友人・知人に子どもをみてもらっている状況について		8	8	
	10	子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人・場 所の有無		9	9	
	10-1	具体的な人・場所		9	9	
	11	周囲（身近な人、行政担当者など）からのサポートの希望		10	10	
保護者の就労 状況	12	保護者の現在の就労状況	○	11	11	
	12-1	週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時 間を含む）」		11-1	11-1	
	12-2	家を出る時刻と帰宅時刻		11-1	11-1	
	-	土曜日と日曜日・祝日の就労の有無		11-1	11-1	
	13	（パート・アルバイト等で就労している場合）フルタイムへの転 換希望	○	11-2	11-2	
	14	（就労していない場合）就労したいという希望、就労形態	○	12	12	
平日の定期的 な教育・保育事 業の 利用状況	15	幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用 状況	○	13	-	
	15-1	年間を通じて定期的に利用している具体的な教育・保育の事 業	○	13	-	
	15-2	現在の利用頻度、利用時間帯 希望の利用頻度、利用時間帯	○	13	-	
	-	（「幼稚園」を利用されている場合）預かり保育の利用状況		13-1	-	独自項目
	-	（「預かり保育」を利用されている場合）預かり保育の利用日 数、利用時間		13-2	-	独自項目
	-	今後幼稚園の利用を強く希望するか		13-3	-	独自項目
	15-3	教育・保育事業の実施場所		13-4	-	
	15-4	平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由		13-5	-	
	15-5	利用していない理由		13-6	-	
	16	平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考 える事業	○	13	-	
	16-1	教育・保育事業を利用したい場所		13-7	-	
	-	共働き家庭の子どもの幼稚園利用の意向		-	-	H30追加 (国)
地域の子育て支 援事業の利用 状況	17	地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用頻度	○	14	-	
	18	地域子育て支援拠点事業について、今後の利用意向	○	15	-	
	-	利用したい時間帯		-	-	
	19	各事業について、知っているもの、利用したことがあるもの、今 後、利用したいと思うもの		16	-	
土曜・休日や長 期休暇中の「定 期的」な教育・ 保育事業の利 用希望	20	土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用 希望の有無、利用したい時間帯	○	17	-	
	20-1	毎週ではなく、たまに利用したい理由		17-1	-	
	21	（「幼稚園」を利用されている場合）夏休み・冬休みなど長期 の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望の有無、利用 したい時間帯	○	18	-	
	21-1	毎日ではなく、たまに利用したい理由		18-1	-	

国のひな形				田辺市の今回の設 問番号		備考
	国の設 問番号	設問	必須項目	未就学	小学生	
病気の際の対 応	22	(平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場合) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有 無	○	19	28	
	22-1	この1年間に行った対処方法	○	19-1	28-1	
	22-2	「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と 思ったか。利用したい日数	○	19-2	28-2	
	22-3	病児・病後児保育施設等で利用したい事業形態		-	-	
	22-4	「利用したいと思わない」理由		-	-	
	22-5	「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか。 休んで看たかった日数		19-3	-	
	22-6	「休んで看ることが難しい」理由		19-4	-	
不定期の教育・ 保育事業や宿 泊を伴う一時預 かり等の利用	23	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用し ている事業、利用日数	○	20	-	
	23-1	現在利用していない理由		20-1	-	
	24	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業の利用希 望の有無、必要な日数	○	21	-	
	24-1	不定期で利用する場合の望ましい事業形態		21-1	-	
	25	保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)によ り、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこ との有無、日数	○	22	-	
	25-1	「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」場合の困難度		22-1	-	
宛名の子どもが 5歳以上である 方に、小学校就 学後の放課後 の過ごし方	26	小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小 学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいか	○	23	13	
	27	小学校高学年(4～6年生)になったら(以下同上)	○	24	14	
	-	宛名の子どもの学校に「学童保育」等の事業があれば利用す るか		25	15	独自項目
	-	「学童保育」等の事業を利用する場合、利用したい時期		26	16	独自項目
	-	学童保育の利用状況		-	17	独自項目
	28	「放課後児童クラブ(学童保育)」について、土曜日と日曜 日・祝日の利用希望、利用したい時間帯		28	18	
	29	夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ の利用希望、利用したい時間帯		-	18	
	-	(「学童保育」を利用されている場合)「学童保育」等の事業 の利用料		27	19	独自項目
	-	(「学童保育」を利用されている場合)学童保育の満足度			20	独自項目
育児休業や短 時間勤務制度 など職場の両立 支援制度	30	宛名の子どもが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育 児休業を取得したか。取得していない方はその理由		29	29	
	30-1	育児休業給付、保険料免除の認知度		29-1	29-1	
	30-2	(育児休業を取得した場合)育児休業取得後、職場に復 帰したか		29-2	29-2	
	30-3	(育児休業取得後、職場に復帰した場合)育児休業から職 場に復帰したタイミング		29-3	29-3	
	30-4	実際の職場復帰の時期、希望の職場復帰の時期		29-4	29-4	
	30-5	3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、希望の職場 復帰の時期		29-5	29-5	
	30-6	(実際の復帰と希望が異なる場合)希望の時期に職場復帰 しなかった理由		29-8	29-8	
	30-7	育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用した か		29-6	29-6	
	30-8	短時間勤務制度を利用しなかった理由		29-9	29-9	
	30-9	(現在も育児休業中である場合)子どもが1歳になったとき に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取 得するか		29-7	29-7	
子育て環境や支 援への満足度	31	お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度		30	30	
自由意見	32	自由意見		31	31	

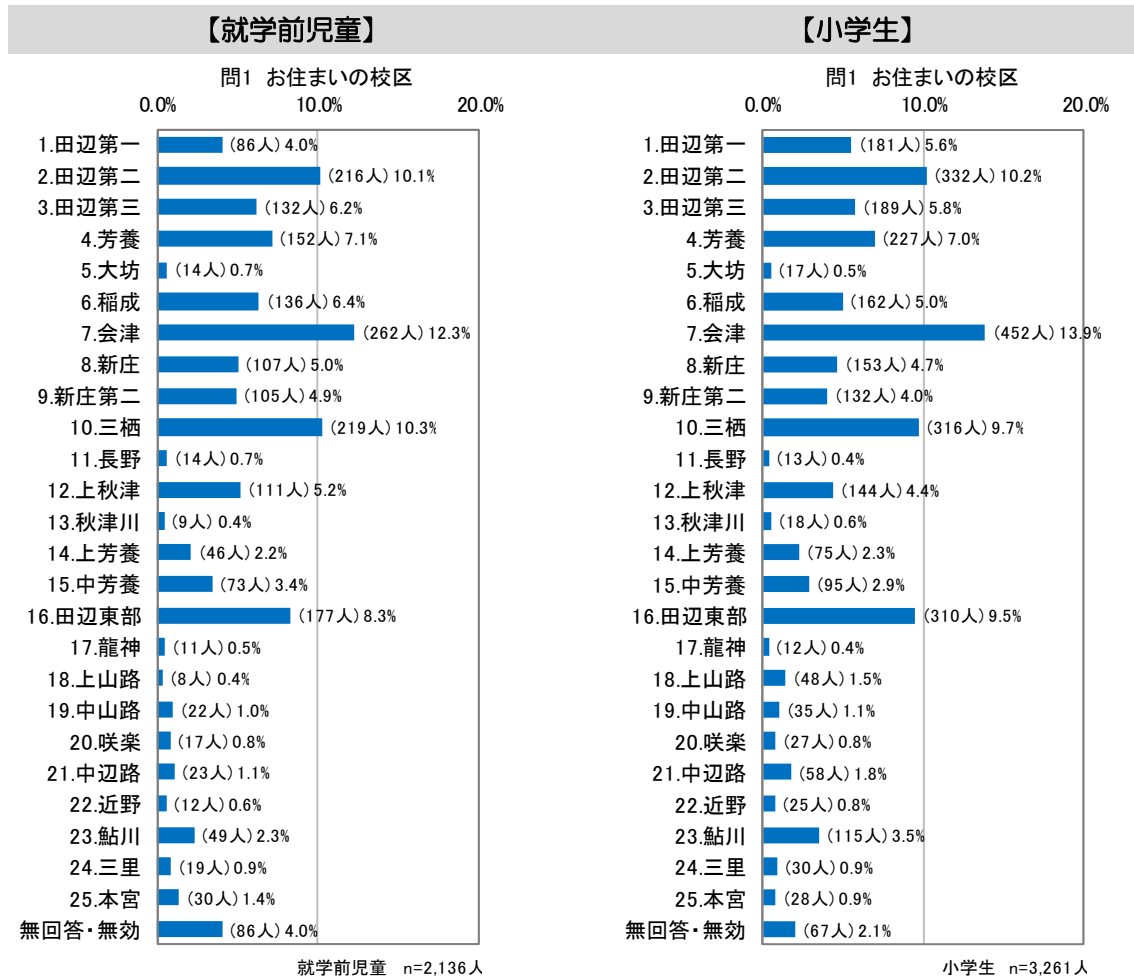
2.単純集計結果

2 単純集計結果

2.1 回答者の属性

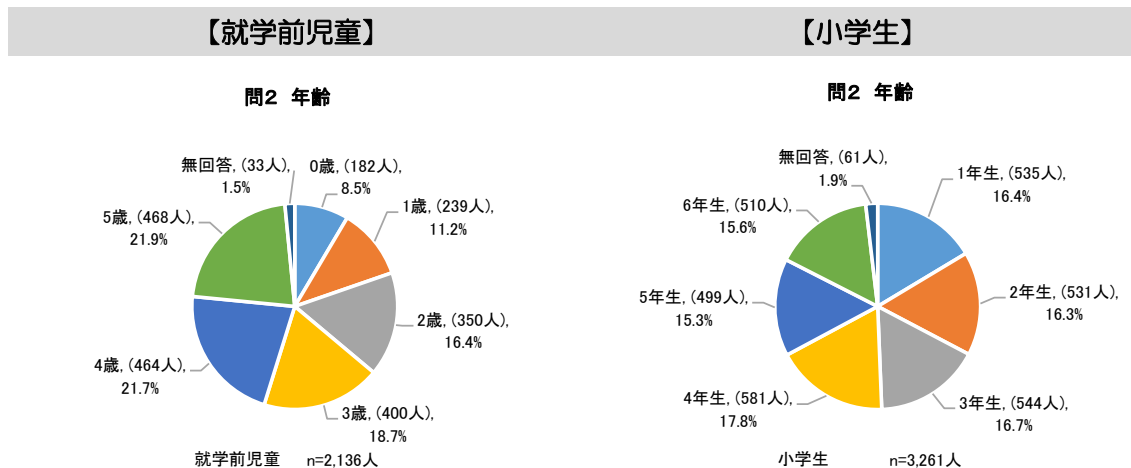
2.1.1 居住地

- 就学前児童、小学生ともに会津校区が最も多く、ついで就学前児童では三栖校区、田辺第二校区、小学生では田辺第二校区、三栖校区が多くなっています。



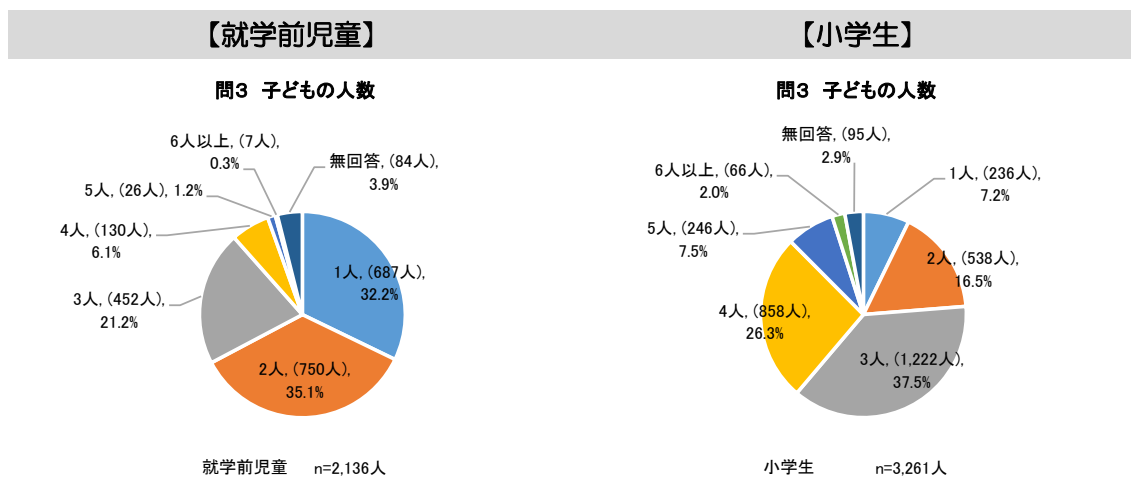
2.1.2 年齢

- 学校、保育所、認定こども園などを通じて配布しているため、これらの施設の年齢構成に応じた回答者数となっています。



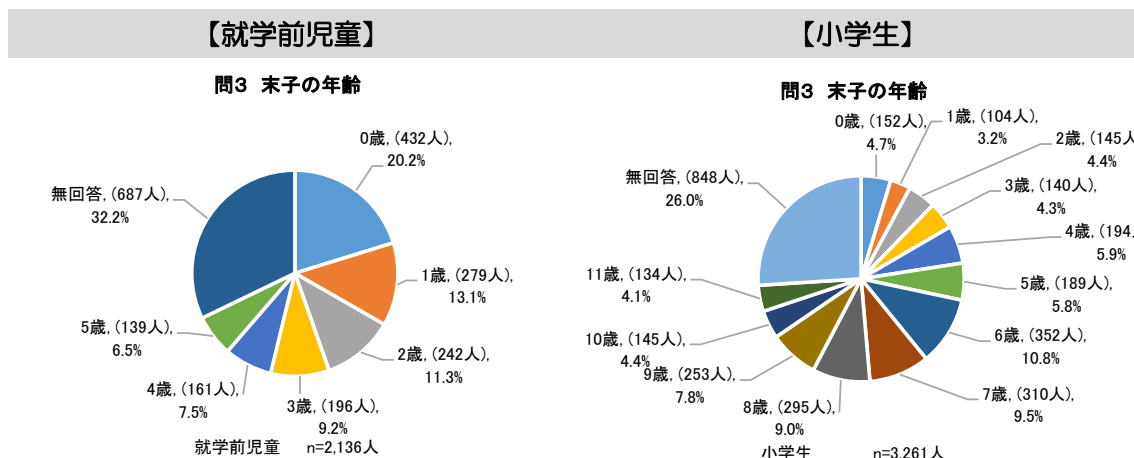
2.1.3 子どもの人数

- 就学前児童では2人が最も多く35.1%、小学生では3人が最も多く37.5%となっています。



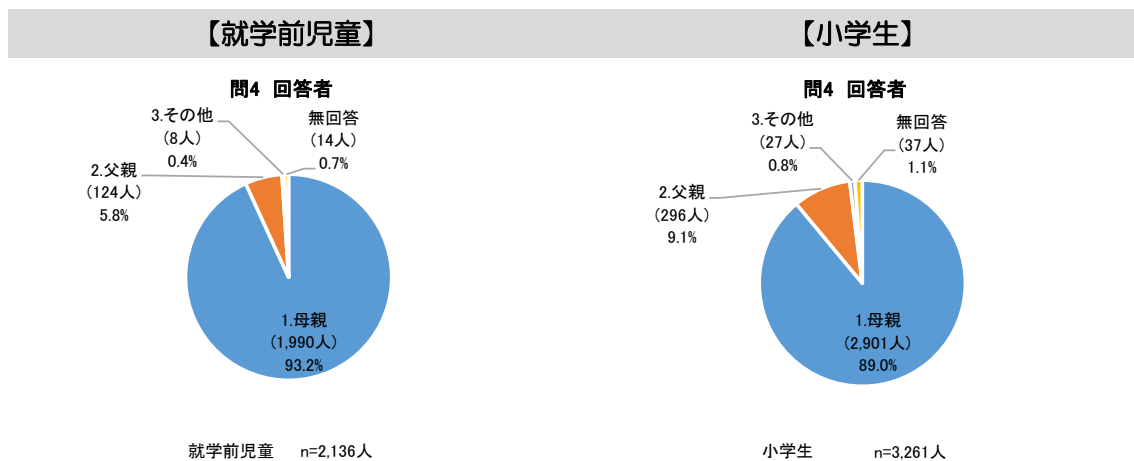
2.1.4 末子の年齢

- 就学前児童では0歳が最も多く20.2%、小学生は6歳が最も多く10.8%となっています。



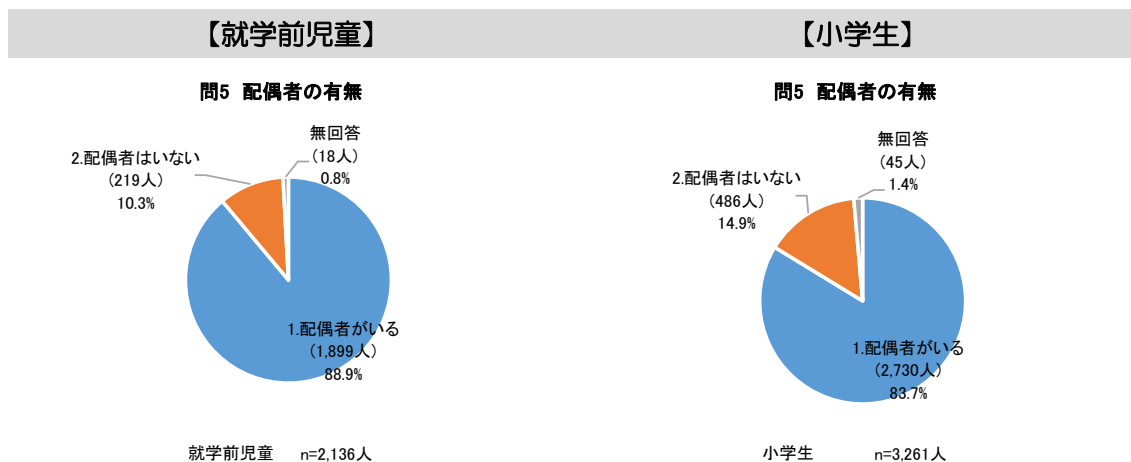
2.1.5 回答者

- 就学前児童、小学生ともに、約9割が母親となっています。



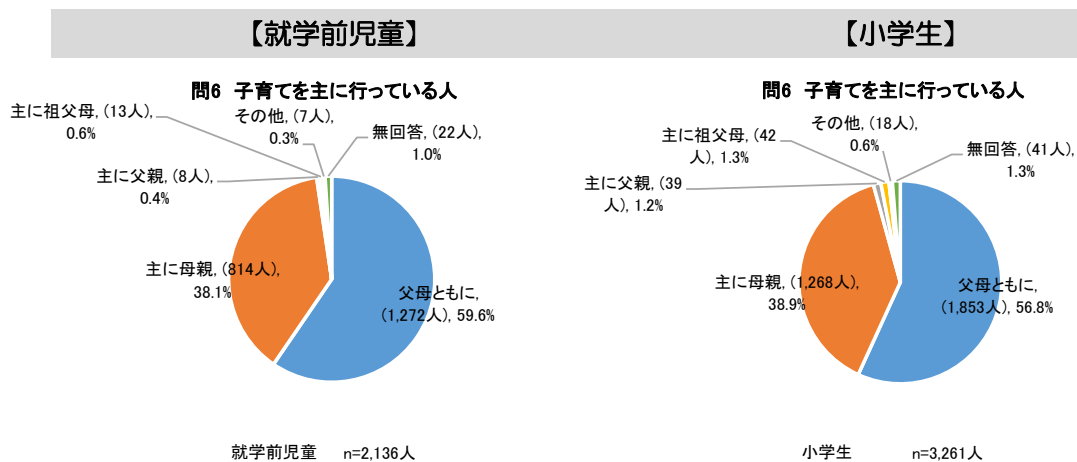
2.1.6 配偶者の有無

- 就学前児童、小学生ともに、1割強がひとり親家庭となっています。



2.1.7 子育てを主に行っている人

- 父母ともに子育てを行っている家庭が約 6 割となっており、主に母親が行っている家庭が約 4 割となっています。

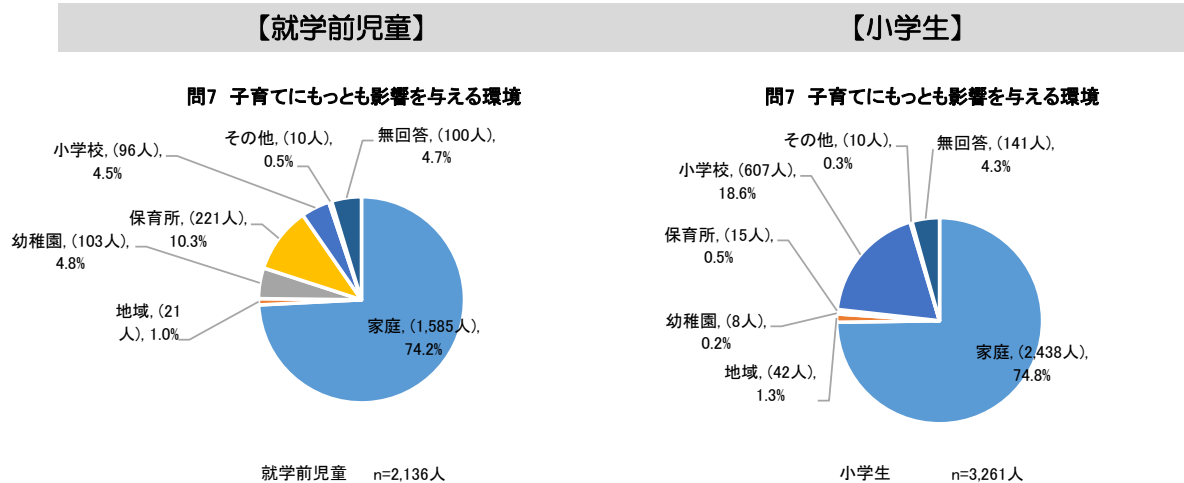


2.2 子どもの育ちをめぐる環境

2.2.1 子育てに最も影響する環境

お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境に○をつけてください。【当てはまる番号１つに○】

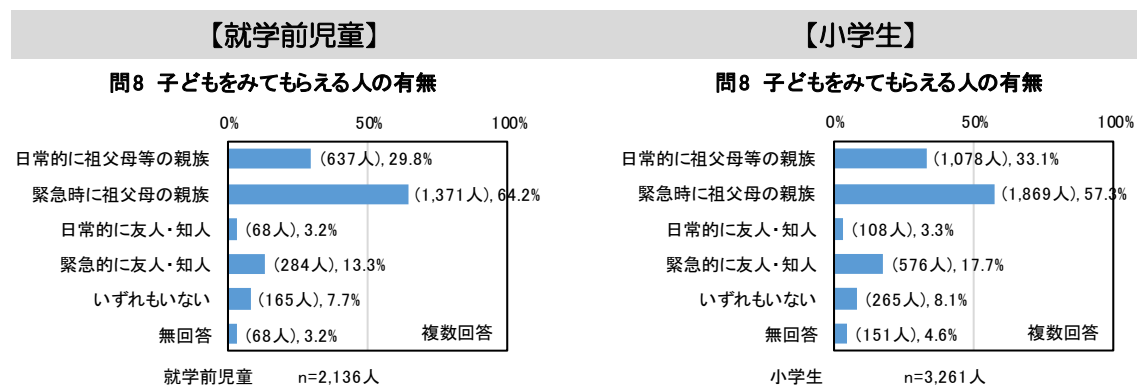
- 子育てに最も影響する環境として、「家庭」の割合が最も高く７割強となっています。



2.2.2 子どもをみてもらえる人の有無

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【当てはまる番号すべてに○】

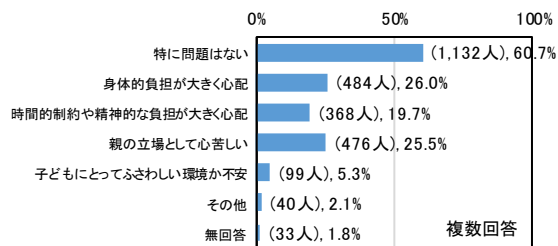
- 祖父母等の親族が日常的に子どもをみてくれる割合は３割程度、緊急時にみてもらえる割合は６割程度となっています。



【就学前児童】

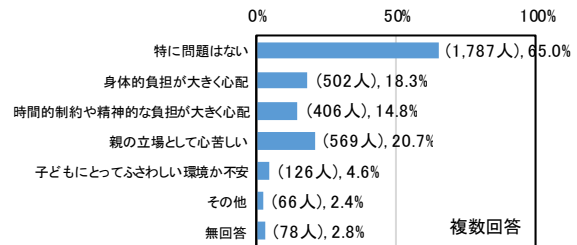
【小学生】

問8-① 祖父母等に預かってもらう状況



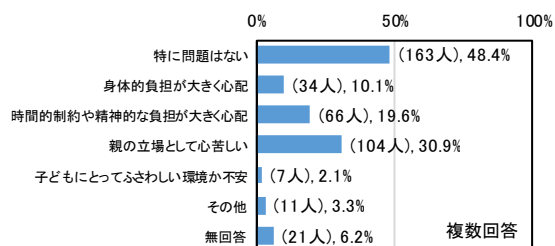
就学前児童 n=1,864人

問8-① 祖父母等に預かってもらう状況



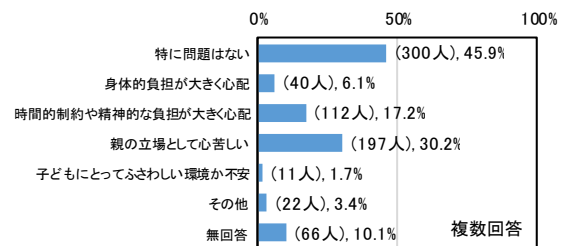
小学生 n=2,749人

問8-② 友人知人に預かってもらう状況



就学前児童 n=337人

問8-② 友人知人に預かってもらう状況



小学生 n=653人

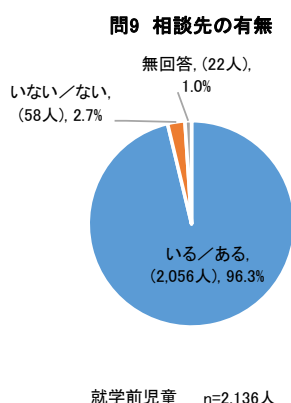
2.2.3 気軽に相談できる人の有無

お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

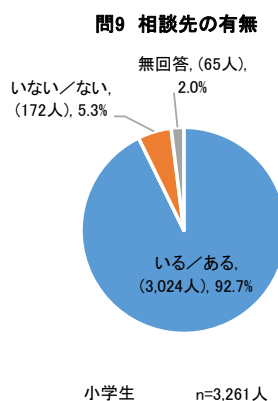
有無：【当てはまる番号 1 つに○】 相談相手：【当てはまる番号すべてに○】

- 子育てについて相談できる人がいない割合は、就学前児童で約 2.7%、小学生で約 5.3%となっています。

【就学前児童】



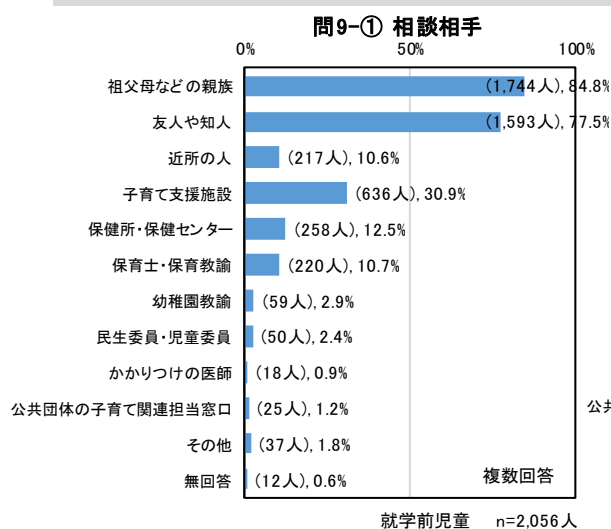
【小学生】



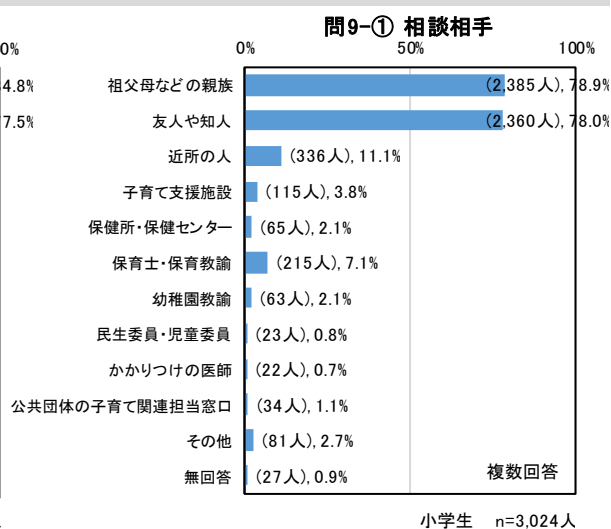
2.2.4 相談相手

- 相談相手がいると回答した人では、祖父母などの親族や友人知人が多く、また就学前児童では子育て支援施設も多くなっています。

【就学前児童】



【小学生】



2.2.5 あればいいと思う子育てサポート

子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。【自由記入】

【就学前児童】

◆就学後

内容	件数
学童保育を4年生以降も受け入れてほしい	8
もっと学童保育を使いやすくしてほしい	5
自分のところにも学童保育を導入してほしい	2
発達障害の子が安心して通える幼稚園、小学校の環境を整えてほしい	1
学童に預けられなかった場合、打つ手がなくなるのでなんとしても受け入れてもらいたい	1
小学校の制服リサイクル品レンタル制度	1
入園、就学前に先生方の人となりを知ることができる機会があるとうれしい	1
年間契約ではなく1日単位での学童保育	1

◆遊び場・公園・居場所

内容	件数
室内で遊べる施設がほしい	7
子どもたちが安心して遊ぶことができる場所	6
サークル活動などの案内があれば知りたい	3
毎日利用できる子育て支援施設などがほしい	2
気軽に集まれる場の提供	2
子供が遊べる遊具がもっとほしい	2
児童館の増設	2
常時開いている支援センターの設置	2
子どもが遊べる施設を増やしてほしい	1
子どもと一緒にできる室内の遊び	1
同世代で安全かつお金のかからない遊べる場所を提案してもらいたい	1
放課後子ども教室の拡充	1
祖父母向けの教室（アレルギーについてなど）があるといい	1
ママ友づくりやBPプログラムは全5回参加できる方というのがプレッシャーだった	1
同じくらいの月齢の子で集まれる機会があるとうれしい	1

公園や施設など、街の環境整備が足りていない	1
学童以外に、放課後に行けるところがほしい	1
子どもだけでできる体験イベントの実施	1
大勢で集まることができる場所	1
幼児が遊べるイベントの開催	1
畳の部屋の開放回数を増やしてほしい	1
第1子以外でもすすくトーク等を利用できるようにしてほしい	1
気軽に行ける遊び場の提供	1
リトミックや絵本読み聞かせなど子どもを連れて出ていける場所	1
未就学児向けの遊び場の確保	1
就学前の子が集まれる場の提供	1
未就園児が集まれる会を開いてほしい	1
話し合いができる場をたくさん開いて交流できればいいのではないか	1
土日祝も開いている室内かつ色々な人と交流できる場所がほしい	1
日曜日も開いている施設が知りたい	1
保育士が常駐している相談施設を作してほしい	1
定期的に他の人と集まれる機会がほしい	1

◆医療・病児保育

内容	件数
病児病後児保育の充実	40
緊急時の送迎サポート	4
兄弟が入院した時のほかの兄弟のサポート	2
小児科の設置	2
任意の予防接種（インフルエンザなど）の助成をお願いしたい	2
検診時の担当保健師を固定してほしい	1
障がいのある子に対して病院だけでなく行政でOTや療育を受けられるようなサービスがあるとうれしい	1
同じ立場の人と相談する場	1
予防接種の案内の周知	1
病気になったら病児保育相当の金額で安く見てほしい	1

◆教育・学習

内容	件数
料金を支払っているのだから保育所は土曜日も見えてほしい	3
習い事、塾などへの送迎サービス	3
近隣の習い事情報の一覧などあればほしい	2
保育料を無料にする	2
自宅でできる勉強や挨拶などの指導	2
幼稚園・保育所への送迎サポート	2
子どもが自閉症だった場合、その子が小学校に行くときには何らかのサポート等あるのでしょうか	1
子どもだけでできる体験イベントの実施	1
子どもたち同士で遊んで学べる環境づくり	1
定期的な子育て情報の提供	1
通う学校を選べるといい	1
学費の全額免除	1
必要な人が制度を受けられず、そこまで必要でなさそうな人が受けられているように見える	1
アレルギーへの理解があるとありがたい	1
家族以外のたくさんの人と接する機会	1
保育所の時間を延ばしてほしい	1
保育料をきっちり取っておやつが少なかったり、けんかを放置したりしている、アンケートより先にそちらを正すべきでは	1
病院、学校毎に臨床心理士の配置	1
子どもにあった遊びを教えてくれる場	1
校区内で習い事ができる場所	1
親子イベント	1
気軽に相談できる雰囲気醸成	1
保育所でも幼稚園のような勉強をしてもらいたい	1
子育てに関わる人は正しい知識と勉強が必要	1

◆保育環境

内容	件数
短時間保育制度の充実	20
緊急時に使いやすい施設がほしい	13
土日等も気軽に預けられる場所がほしい	11

気軽に預けられる施設	11
家事代行	10
安価で預かってくれる託児所	6
自分の体調不良時に気軽に見てもらう方法	6
ひとりになれる時間を作ること	4
話し相手・相談相手	4
時間外でも預けられる施設	3
就業時間に合わせた保育所の開所	2
家族からの理解、協力が必須	2
保育所の入所要件・タイミングをもっと柔軟にしてほしい	2
学級閉鎖時に見てもらうことができる施設	2
普段預けている施設の休みなどに対応できる安価な施設	2
スーパー内に託児施設があれば便利	2
完璧な育児についての講習会	2
仕事が終わるまでの間の居場所の確保	2
託児所の設置	2
短時間みってくれる身近な人がいるといい	2
24 時間 365 日預かってくれるところ	2
発熱時などに代理でお迎えにいき、終業まで面倒を見てくれる制度	1
長期休暇時に預けられる施設	1
行事等で保護者同伴の際に兄弟を預けられる施設・制度	1
年の離れた先輩ママさんなどのアドバイスがあれば	1
放課後に子どもを見てもらえる環境	1
料金を支払えばそれ以外の条件なしで見えてくれる施設	1
育児グッズのレンタル制度	1
無料で預けられるサービス	1
土曜日も一日みてもらいたい	1
地域で子育てするような雰囲気	1
図書館内に子どもを預けられる場所	1
他人には預けづらい	1
気軽に預けられる身近な人	1
気軽に相談できる人	1
専業主婦でも預けられる施設	1
いくら休んでも月額制で徴収されるので、日数次第で日割り制度の導入	1
日常の手助け	1

周りのサポートより自分の体制を整えていきたい	1
------------------------	---

◆行政・サービス

内容	件数
金銭面のサポート	18
気軽に相談できる人・場所があるといい	14
各種制度・施設・イベント等の情報を周知してほしい	7
相談しても市の対応があまりにも悪かった	6
不安なとき、困ったときに相談できる体制	5
訪問型の支援	5
発達障害に関する知識や遊ぶ場の提供	4
気軽に参加できる相談会や勉強会	4
親身になって聞いてくれる相談相手	4
定期的な訪問相談があればいい	3
もっと各種制度を周知してほしい	3
絶対参加の検診等があると同じ状況の人と集まれるのでいいと思う	2
身内に相談しづらい内容を話せる人、機会	2
電話相談・ネット相談等	2
検診の時に相談したら的確に対応して戴けてありがたかった	2
周囲は見守るだけにしてほしい	2
入院中はサポートが手厚かったが退院とともに途絶えたのでその後をフォローする仕組みがほしい	2
子どもが安心して遊べる環境の提供	2
経験に基づいた具体的なアドバイスがあればうれしい	2
助産師さんの訪問	1
自治体の人より助産師さんの方が安心して相談できる	1
発達障害でない子の相談先が保育士さんしかいない	1
強制参加の検診などでは、子育て支援施設が併設されていると便利	1
検診のように定期的に相談できる機会	1
同様の立場の人が集まり、意見を交わして市に意見できるような場の提供	1
各種情報を検診時に教えてもらいたかった	1
気軽に集まれる場の提供	1
「ひまわり相談」はありがたかった 発達に関わらなくても相談できるといい	1
学ぶことのできる施設や場所の提供	1

市から電話が来て相談に乗ってもらった	1
自分の体調不良時の対応策がない	1
産前産後の手厚い支援	1
地域社会の活性化がいつの時代も大事	1
相談員の配置	1
防災・防犯面のサポート	1
安全面、経済面のサポート	1
多胎児に対しての補助をお願いしたい	1
定期的に専門の人に相談できるといい	1
専門的、特殊な内容の情報交換ができる会を開いてほしい	1
全国的に見ても知名度の高い専門家の招致してほしい	1
障がいがあることがわかればそれに関連する情報を小冊子なりで提供してもらいたい	1
病院が近くにない	1
一人目以外でも分け隔てなく支援してもらいたい	1
話を聞いてもらうだけありがたい	1

◆勤務環境

内容	件数
子どもが病気になると母親も休む必要が出てくる	3
職場で実際に休業制度等を使いやすい環境を作してほしい	2
土曜昼まで保育がないため、就職に制限がある	1
家事を手伝ってくれる人が家に来てくれればいい	1
安価で預かってくれる託児所	1
保育所入所前の親の休職期間は6か月はほしい	1
警報等で早期帰宅が必要なときにそれができるように会社に働きかけてほしい	1
仕事場と協力して友達をつくっていききたい	1
市内の企業に子育てしやすい環境づくり推進の義務付け	1
ひとり親に対する支援が少ない	1
経験に基づいた具体的なアドバイスがあればうれしい	1
産休を3歳まで取れる環境がほしい	1

◆その他

内容	件数
特になし	26
現状で十分である	16
地域の声掛け・見守りが大事	8
悩んだり困ったときに対応してくれる仕組みがあればいい	4
他の家の子であっても見て見ぬふりをせず、きちんと注意できるようにできないか	4
周囲のサポートは必要としていない	2
子どもに積極的にかかわる姿勢が大事である	2
近所の人とのコミュニケーションが少ない	2
よくわからない	2
家族の協力があれば大丈夫である	2
より多くの人とのかかわりが子育てを良い方向に導くと思う	2
親が子育ての休日をとれるようにできないものか	1
同年代の子と遊ばせられる場があるといい	1

【小学生】

◆学童保育

内容	件数
学童保育を4年生以降も受け入れてほしい	27
もっと学童保育を使いやすくしてほしい	13
年間契約ではなく1日単位での学童保育	6
自分のところにも学童保育を導入してほしい	6
学童保育の料金が安い	3
土曜日の学童保育の時間延長	1
必要な人が制度を受けられず、そこまで必要でなさそうな人が受けられているように見える	1
学童は就労状況にかかわらず子どもの交流の場として有料で行うべき	1

◆遊び場・公園・居場所

内容	件数
子どもたちが安心して遊ぶことができる場所	12
放課後に集まれる場所がほしい	11
室内で遊べる場所が少ない	8
児童館の増設	7
放課後子ども教室の拡充	6
公園や施設など、街の環境整備が足りていない	6
公民館等を常時開放してもらいたい	3
土日祝も開いている室内かつ色々な人と交流できる場所がほしい	2
子どもだけで集まれる場所	2
気軽に行ける遊び場の提供	1
相談員の配置	1
子どもの居場所づくり事業はありがたかった	1

◆医療・病児保育

内容	件数
病児病後児保育の充実	18
予防接種の案内をしてほしい	2
兄弟が入院した時のほかの兄弟のサポート	2

◆教育・学習

内容	件数
勉強が分からない時や勉強が遅れがちな子向けに、無料で教えてくれたり する場がほしい	12
習い事、塾などへの送迎サービス	11
通学路や街灯の整備が必要	7
登下校のサポート（送迎バスの導入など）	6
学校の勉強でわからないところを教えてくれる塾が増えてほしい	6
放課後に学習する機会の拡充	4
子どもが困ったときに子ども自身から相談可能な窓口	3
近隣の習い事情報の一覧などあればほしい	3
地域の子向けの学習教室の整備	3
低価格でかつ子ども一人で行ける勉強を教えてくれる場所	2
小学校に専門家を招いて講習会を行ってほしい	2
いじめが起きないようにする人権教育の指導	2
子どもだけで参加できるイベント	2
集団スポーツで体力向上	2
不登校時の各種サポート	2
病院、学校毎に臨床心理士やカウンセラーの配置	2
和歌山に大学を誘致してほしい	1
地域の学力向上を図ってほしい	1
父親の参加できるイベント・講習会	1
子ども自身が他校と情報の共有する機会	1
長期休暇時に見てもらえる制度が少ない	1
通う前に先生方の人となりを知ることができる機会があるとうれしい	1
学校・担任との連絡を密にしてほしい	1
子どもが生まれたときからずっと知っているような人なら相談しやすい	1
現場の先生方へのフォローがもっとあってほしい	1
困ってそうな親を見かけたら積極的に話しかけてきてほしい	1
子どもも親も一緒に遊べる場	1
土曜日に集団で勉強や体験をさせてくれる機会づくり	1
事業にかかわる人に質に問題がある	1
小学生の間は放課後も学校で面倒を見てほしい	1
校区内で習い事ができる場所	1

◆行政・サービス

内容	件数
緊急時に使いやすい施設がほしい	29
各種制度・施設・イベント等の情報を周知してほしい	15
金銭面のサポート	11
気軽に預けられる施設	9
不安なとき、困ったときに相談できる体制	8
長期休暇時に見てもらえる制度が少ない	8
訪問型の支援	7
短時間保育制度の充実	7
土日等も気軽に預けられる場所がほしい	6
気軽に相談できるメールやアプリがあるといい	6
イベントや体験会の開催	5
無料で預けられるサービス	5
緊急時の送迎のサポート	5
カウンセリングを受けられる場・環境	4
ひとり親に対する支援が少ない	4
定期的に専門の人に相談できるといい	4
子ども一人一人に合わせた対応がとれる体制	4
医療費を高校卒業まで無料にしてほしい	4
自分の体調不良時に気軽に見てもらう方法	3
人・施設がしっかりしているかわからないと預けられない	3
職場で実際に休業制度等を使いやすい環境を作ってほしい	3
気軽に相談できる人・場所があるといい	3
学級閉鎖に対応できる預かり制度、施設	3
専門的な知識を持った人のアドバイス	3
分野をまたぐ相談でもまとめて対応してくれる窓口	3
保育料の無償化	3
気軽に預けられる身近な人	3
親身になって聞いてくれる相談相手	2
同じ立場の人と相談する場がほしい	2
子育て経験者のアドバイス	2
周囲のサポートは必要としていない	2
防犯面のサポート	2
行事等で保護者同伴の際に兄弟を預けられる施設・制度	2

定期的に他の人と集まれる機会がほしい	1
保育士が常駐している相談施設を作ってほしい	1
支援は状況にかかわらず一律にしてもらいたい	1
障がいがある子でも見てもらえる施設	1
就学後も預けられる施設	1
学校で使うもののリサイクルシステム	1
時間に余裕のある高齢者による放課後のイベント	1
客観的な事実に基づいた対応策を提示してくれる相談機関	1
保育施設の増設	1
保育所の入所要件・タイミングをもっと柔軟にしてほしい	1
保育料をきっちり取っておやつが少なかったりけんかを放置したりしてるアンケートより先にそちらを正すべきでは	1
産後の子育て支援の充実	1
気軽に参加できる相談会や勉強会	1
様々な申請手続きの簡略化	1
スポーツ環境の活性化	1
学童以外に、放課後に行けるところがほしい	1
相談員を固定してほしい	1
情報を集められるサイトをつくる	1
病院が近くにない	1
サポートが手厚いと安心する	1
高齢者が入所する施設の増設	1
多くの支援を必要としている家庭には行政側から積極的に支援を	1
子育て中の家庭には肯定的な考えで接してほしい	1
検診を受けられてありがたかった	1
定期的な訪問相談があればいい	1
安心して預けられる施設がほしい	1
安価で預かってくれる託児所	1
受け入れ可能時間や休みの日といった制限のない完全な保育が欲しい	1
親を支援するサポート	1
何が必要か行政、学校と一緒に話したい	1
地域とのかかわりが大事であることを教える機会があるといい	1
相談しても市の対応があまりにも悪かった	1
親が放置している子は行政から積極的にかかわってほしい	1
秘密を守ってくれる相談先	1

困ったときに本当に動いてくれる施設	1
市の相談は時間がかかる	1
今までサポートしてもらったことなどないので、実際に動いてほしい	1
行政には期待していない	1

◆勤務環境

急に帰らなくてはいけないことがあることを企業は理解してほしい	1
--------------------------------	---

◆その他

内容	件数
地域の声掛け・見守りが大事	27
特になし	22
他の家の子であっても見て見ぬふりをせず、きちんと注意できるようにできないか	9
家事代行	5
現状で十分である	4
わからない	3
親が休憩できる環境も必要と思う	2
サポートを必要としている人が声をあげられる環境	2
1つの方向から物事を見ず、何かをするにしてもする側、される側のこと気持ちを考えて対応してほしい	2
一人ひとりの状況が大きく違うのでサポートする側も難しい	2
転居してきた家族が孤立しないサポート	2
会社勤め以外の人に対する内容にはみえない	2
身近な大人が見本になれるようにすべきである	1
親の意見が合わないときに間に立てる立場の人	1
近所の人とのコミュニケーションが少ない	1
良いことも悪いことも気を使わずいえる環境づくり	1
運動や文化系のイベントの開催	1
忙しくて子どもと向き合う時間がない	1
親の教育が必要	1
検診時の声掛け	1
子育てする側もサポートを受けるだけでなくサポートできるようにしていくべき	1
子育てに関するイベント	1
特に期待していない	1

2.3 保護者の就労状況

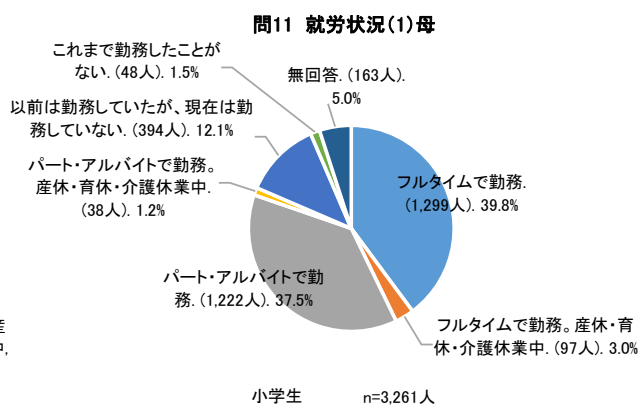
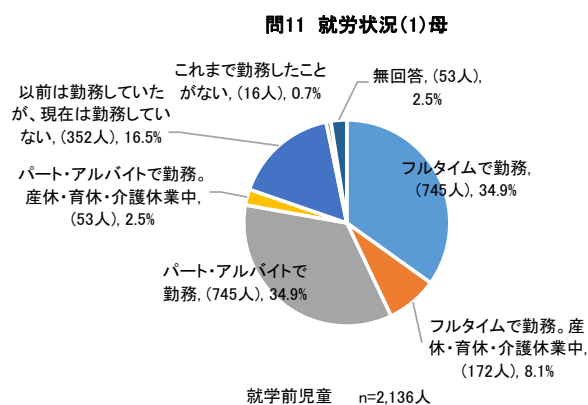
2.3.1 保護者の就労状況（母）

お子さんのご両親のそれぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、該当する欄に○をつけてください。【当てはまる番号 1 つに○】

- 就学前児童・小学生ともに約 8 割の母親が有職です。
- フルタイムの割合は、就学前児童では 43%、小学生では 42.8%となっており、ほぼ同じとなっています。
- パート・アルバイトの割合は、就学前児童では 37.4%、小学生では 38.7%となっています。

【就学前児童】

【小学生】

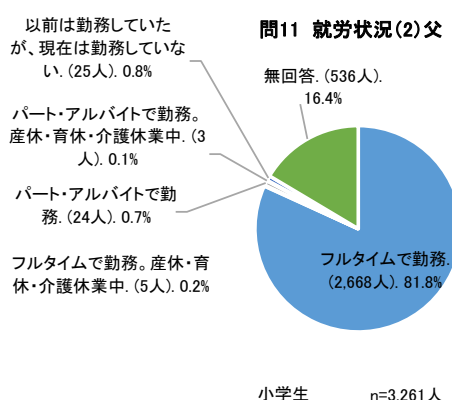
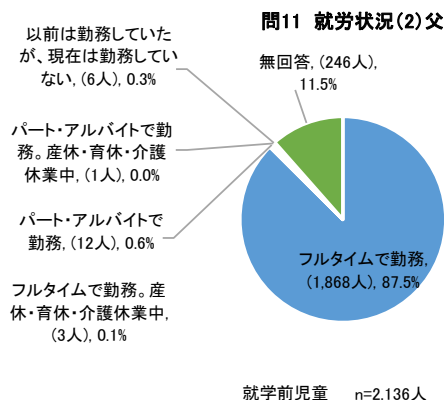


2.3.2 保護者の就労状況（父）

- 8割以上がフルタイムで勤務しています。

【就学前児童】

【小学生】



2.3.3 保護者の就労日数・就労時間（母）

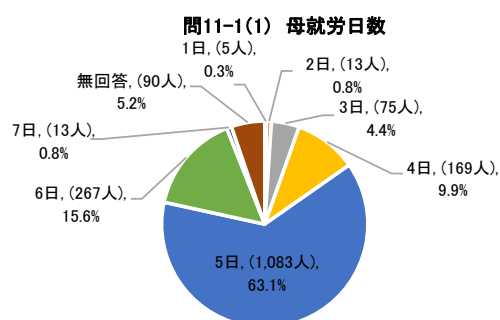
就労されている場合は、就労日数や就労時間、家を出る時刻と、帰宅時刻について、最も多いパターンでお答え下さい。【自由記入】

また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合には、該当する番号に○を付けてください。【当てはまる番号 1 つに○】

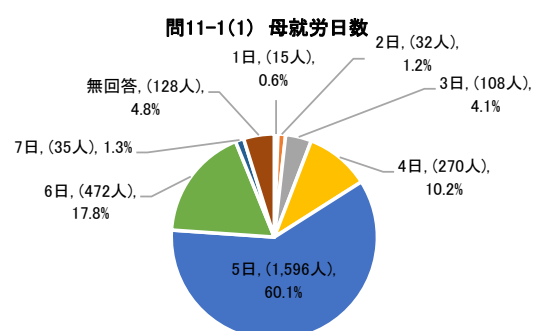
- 働いている母親の6割強が、週5日の就労となっています。
- 働いている母親の半数以上が、7時間以上の就労時間となっています。

【就学前児童】

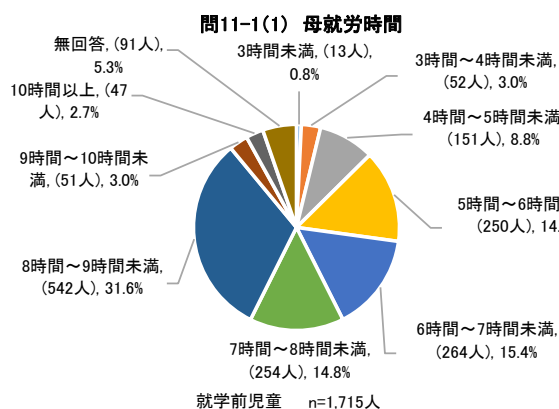
【小学生】



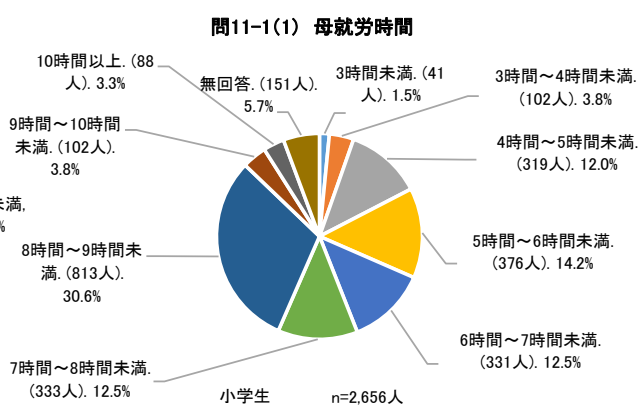
就学前児童 n=1,715人



小学生 n=2,656人



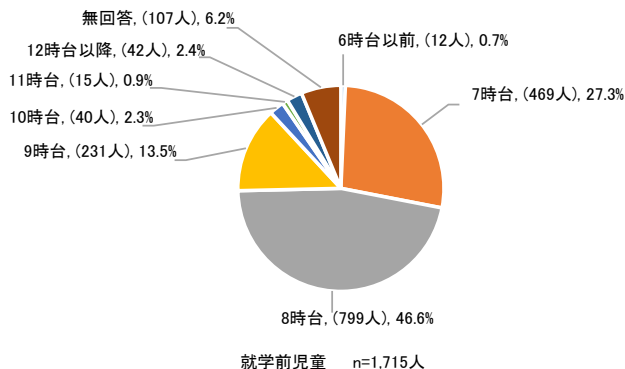
就学前児童 n=1,715人



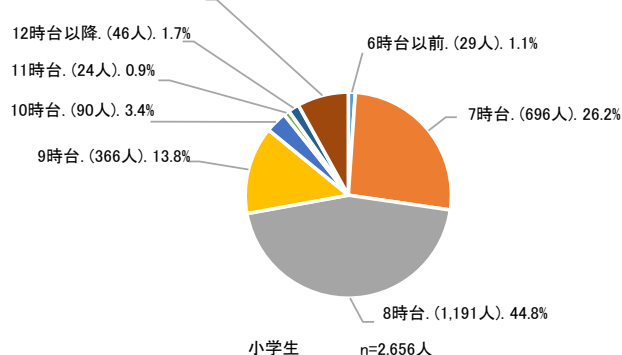
小学生 n=2,656人

- 働いている母親の7割程度が7時台～8時台に、家を出ています。
- 働いている母親の過半数が16時台～18時台に帰宅しています。
- 土曜日に就労している母親は4割程度、日曜日に就労している母親は2割程度となっています。

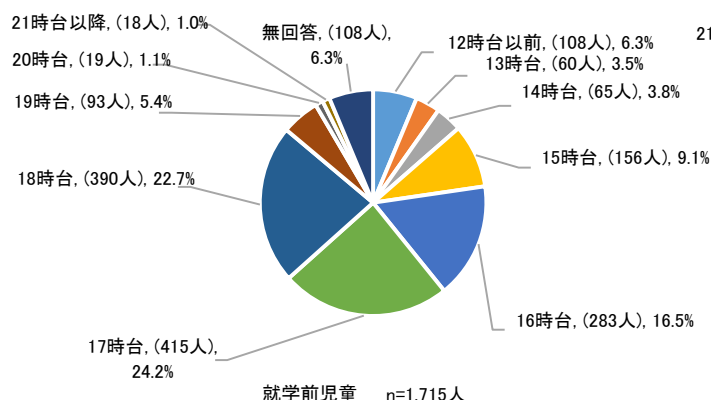
問11-1(1) 母家を出る時刻



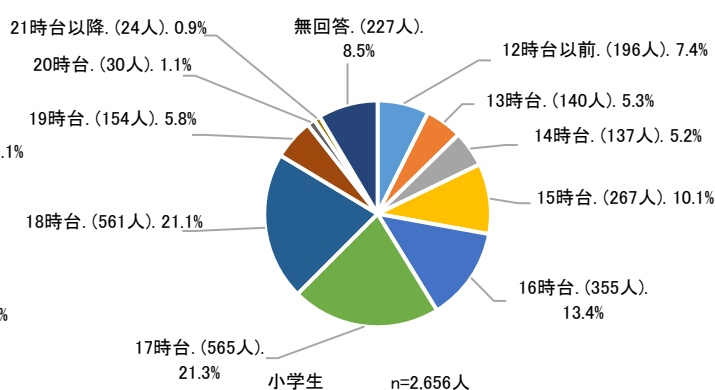
問11-1(1) 母家を出る時刻



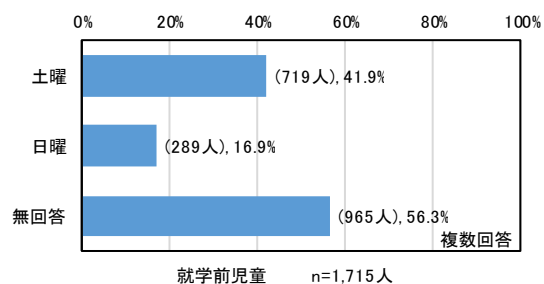
問11-1(1) 母帰宅時刻



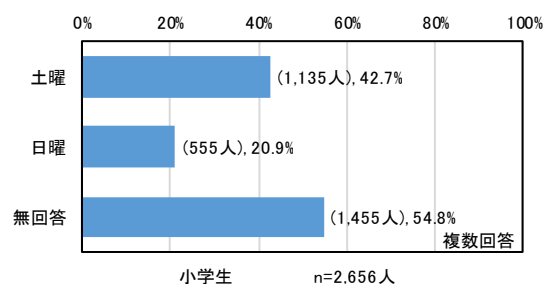
問11-1(1) 母帰宅時刻



問11-1(1) 母土曜・日曜の就労の有無



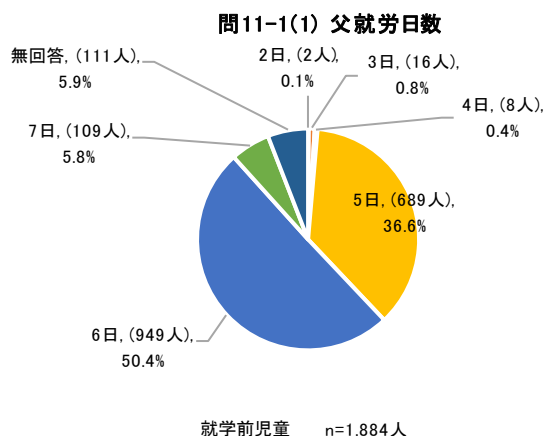
問11-1(1) 母土曜・日曜の就労の有無



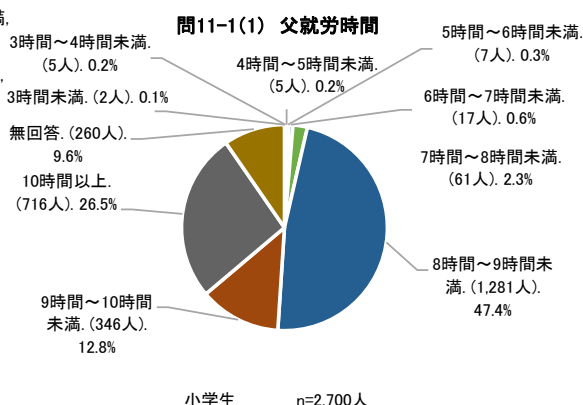
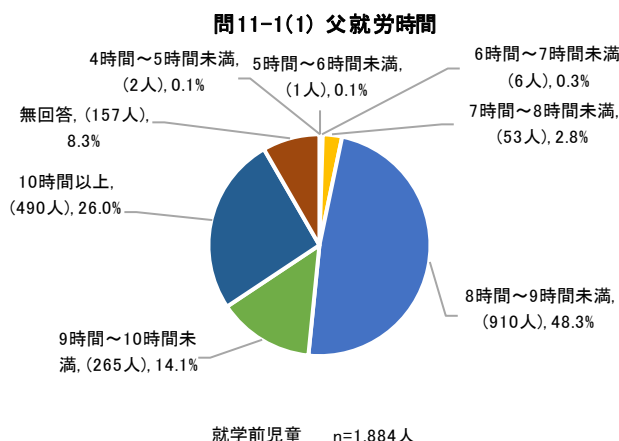
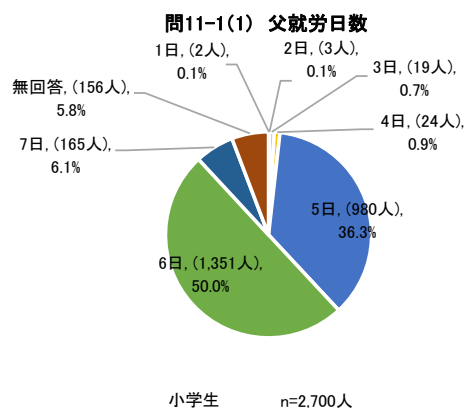
2.3.4 保護者の就労日数・就労時間（父）

- 働いている父親の約5割が、週6日の就労となっています。
- 働いている父親の約5割が8時間～9時間未満、約4割が9時間以上の勤務時間となっています。

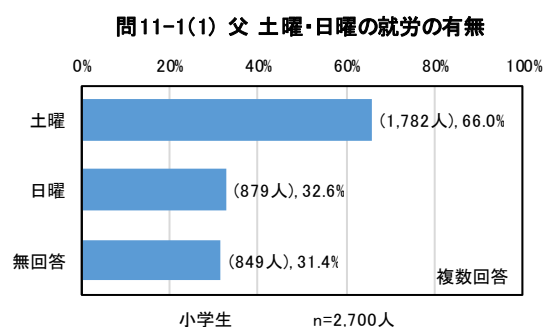
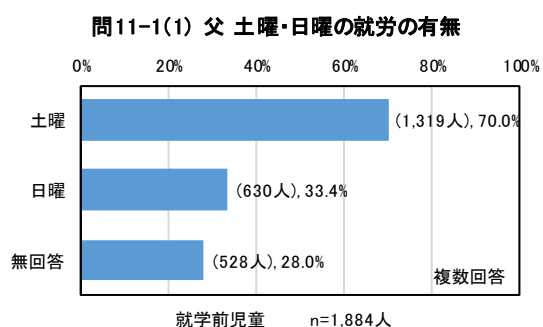
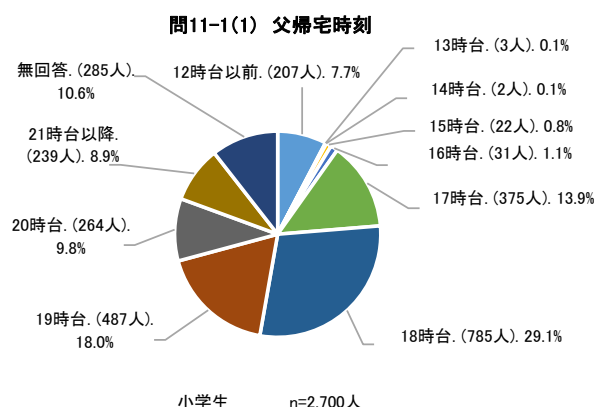
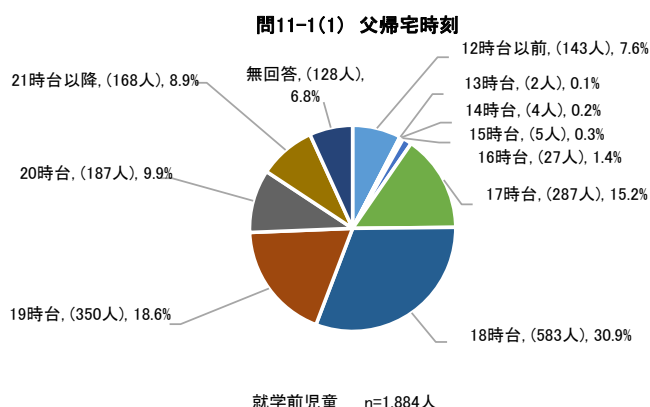
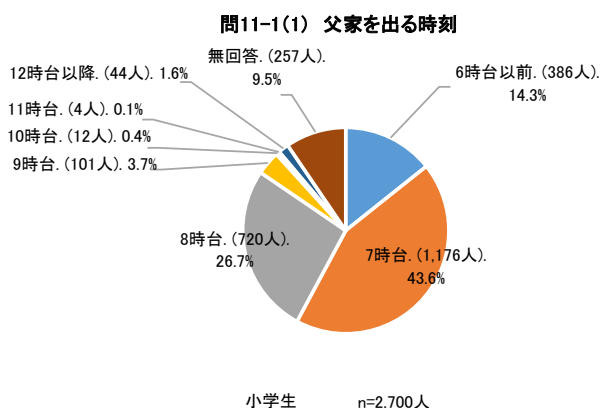
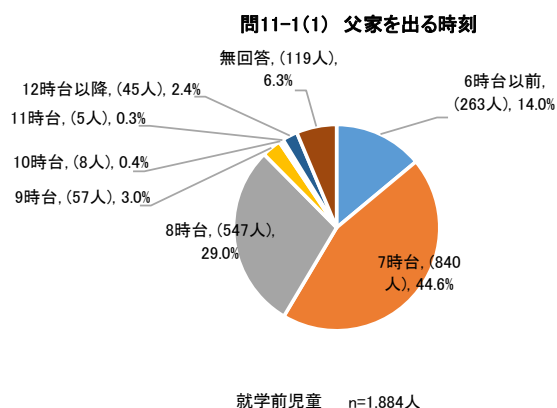
【就学前児童】



【小学生】



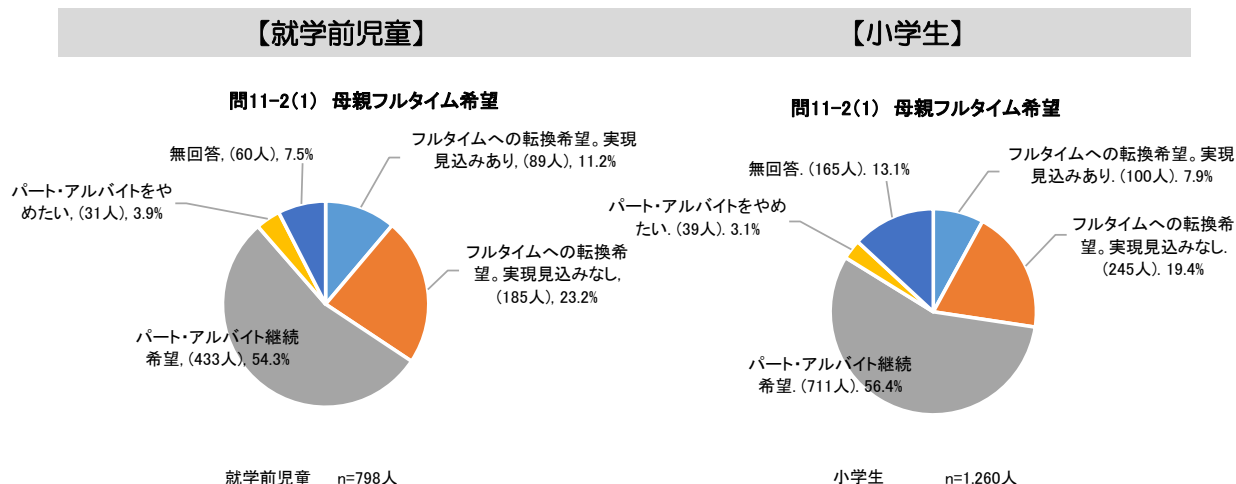
- 働いている父親の約7割が7時台～8時台に家を出ています。
- 働いている父親の6割以上が17時台～19時台に帰宅しています。
- 土曜日に就労している父親は約7割、日曜日に就労している父親は3割強となっています。



2.3.5 パート・アルバイトからフルタイムへの転換希望（母）

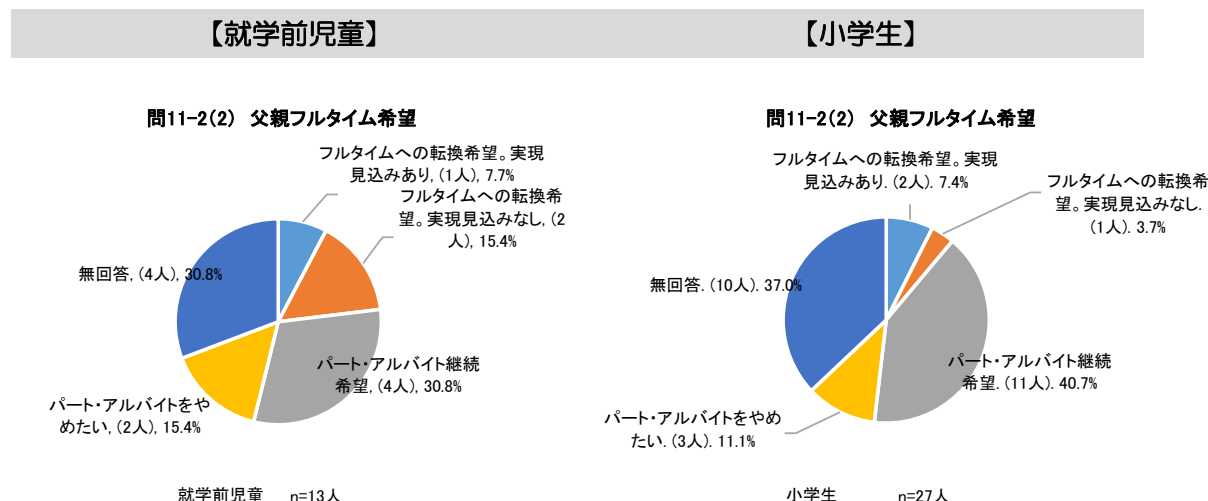
フルタイム以外で就労されている場合は、フルタイムへの転職希望等について、該当する欄に○を付けてください。【当てはまる番号 1 つに○】

- パート・アルバイトの継続希望が最も多く、就学前児童で 54.3%、小学生で 56.4%となっています。



2.3.6 パート・アルバイトからフルタイムへの転換希望（父）

- パート・アルバイトの継続希望が最も多く、就学前児童で 30.8%、小学生で 40.7%となっています。



2.3.7 無職からの就労希望（母）

保護者の就労状況で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○がついた方についてうかがいます。今後就労希望はありますか。希望する場合は希望する就労日数や就労時間をお書きください。

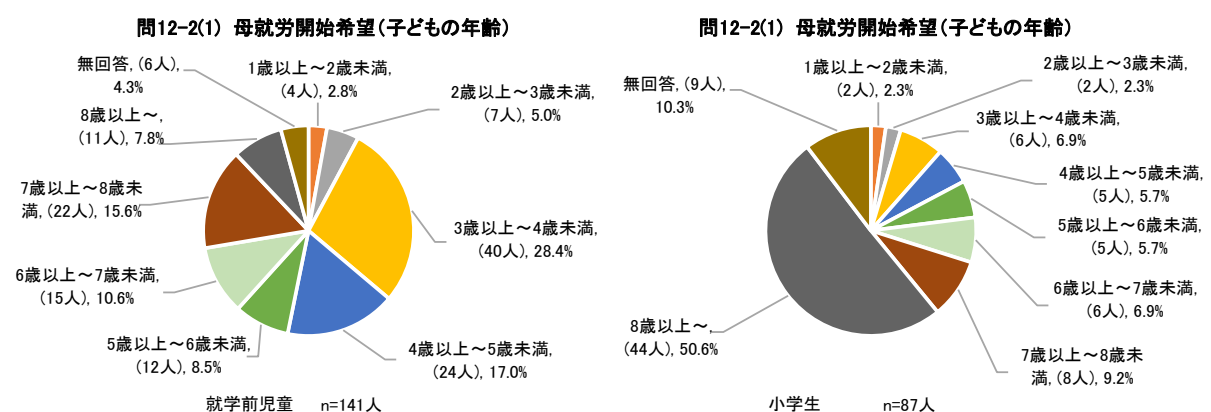
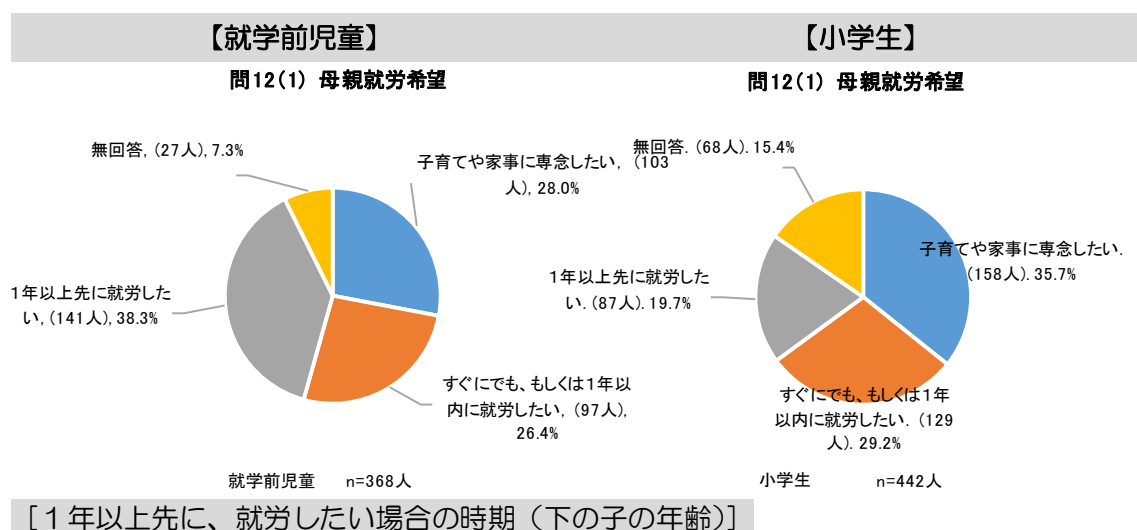
就労意向：【当てはまる番号 1 つに○】 時間帯：【自由記入】

土曜日、日曜日の就労を希望する場合には、該当する番号に○を付けてください。

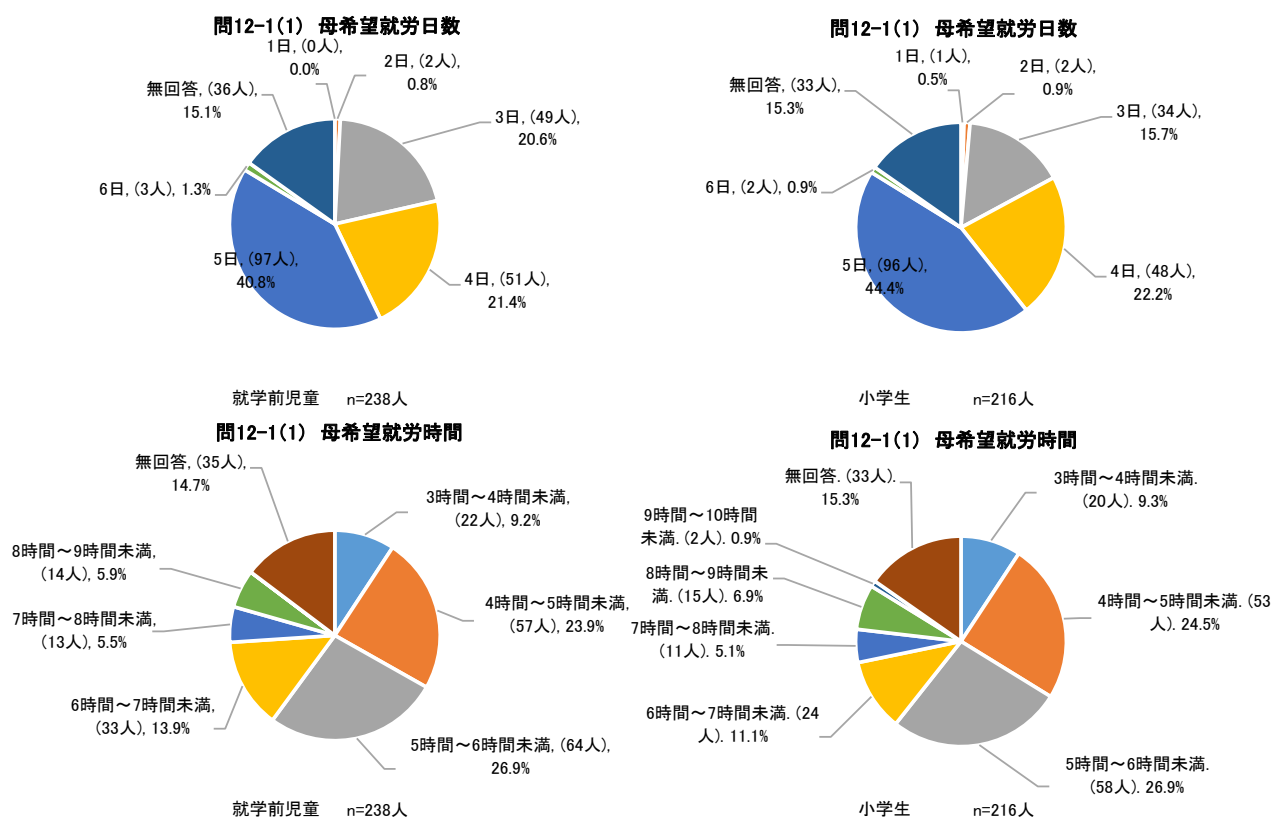
【当てはまる番号 1 つに○】

また、「1 年以上先に、就労したい」に○が付いた方にうかがいます。就労を始めるのは、一番小さい子供が何歳になった頃をお考えですか。【自由記入】

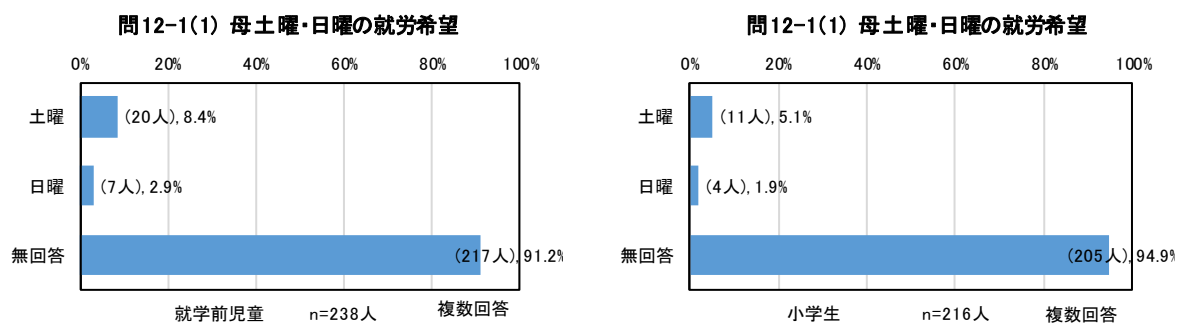
- 母親の就労希望として、就学前児童では、「1 年以上先に、就労したい」が最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい」が多くなっています。小学生では、「子育てや家事に専念したい」が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が多くなっています。「1 年以上先に、就労したい」場合の子どもの年齢は、就学前児童では 3 歳以上～4 歳未満、小学生では 8 歳以上になってから就労したいが最も多くなっています。
- 就労日数は週 5 日が最も多く、就学前児童で 40.8%、小学生で 44.4%となっています。就労時間は、1 日あたり 5 時間～6 時間未満が最も多く、就学前児童、小学生ともに 26.9%となっています。



[すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい場合の希望する就労日数・就労時間]

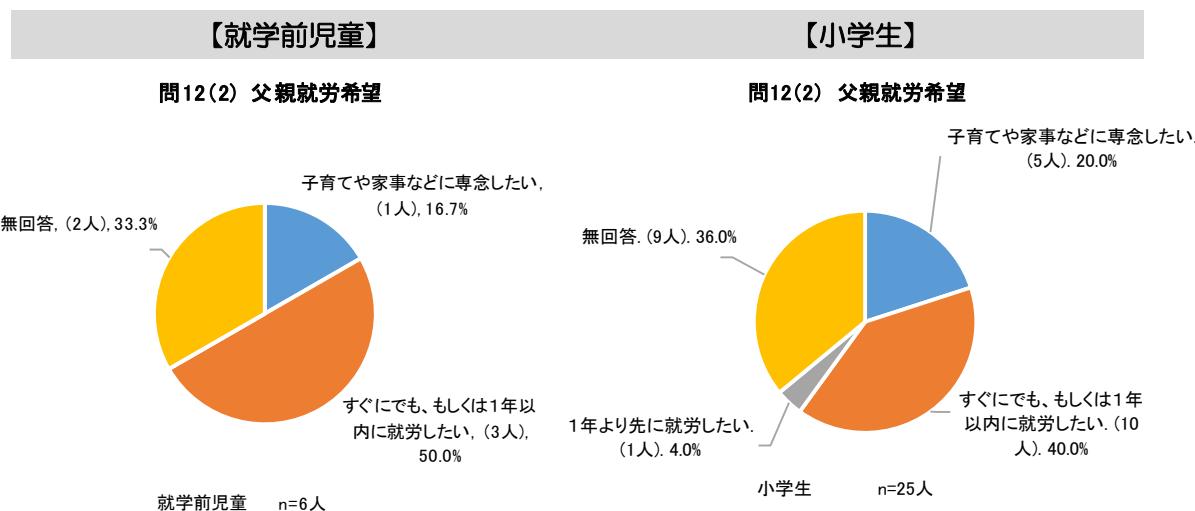


- 土曜・日曜の就労希望は、就学前、小学生のどちらも土曜・日曜ともに1割以下となっています。



2.3.8 無職からの就労希望（父）

- 父親の就労希望として、就学前児童、小学生とも、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多くなっています。
- 希望する就労日数は週5日が最も多く、就学前児童で66.7%、小学生で70.0%となっています。就労時間は、1日あたり8時間～9時間未満が最も多く、就学前児童で100.0%、小学生で90.0%となっています。



[1年以上先に、就労したい場合の時期（下の子の年齢）]

問12-2(1) 父就労開始希望(子どもの年齢)

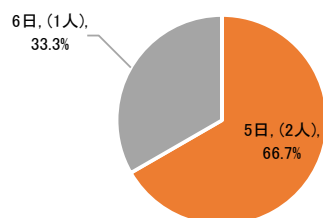


【就学前児童】

【小学生】

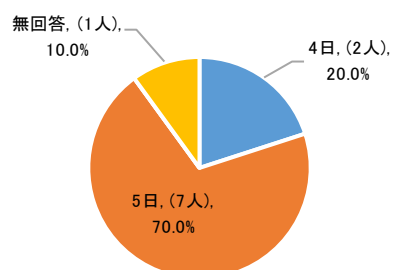
[すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい場合の希望する就労日数・就労時間]

問12-1(1) 父希望就労日数



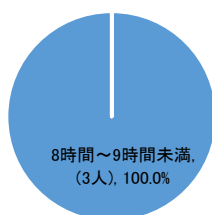
就学前児童 n=3人

問12-1(1) 父希望就労日数



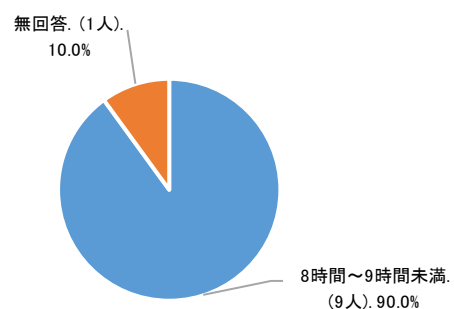
小学生 n=10人

問12-1(1) 父希望就労時間



就学前児童 n=3人

問12-1(1) 父希望就労時間



小学生 n=10人

2.4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

2.4.1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。

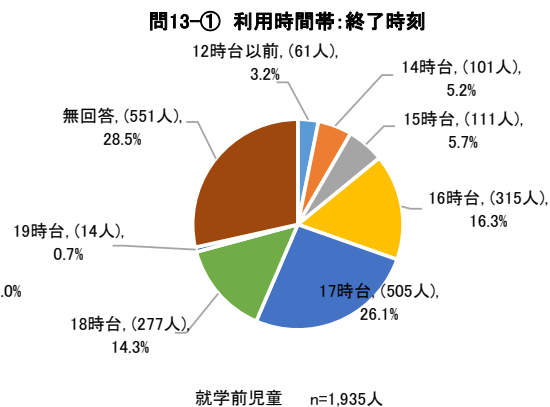
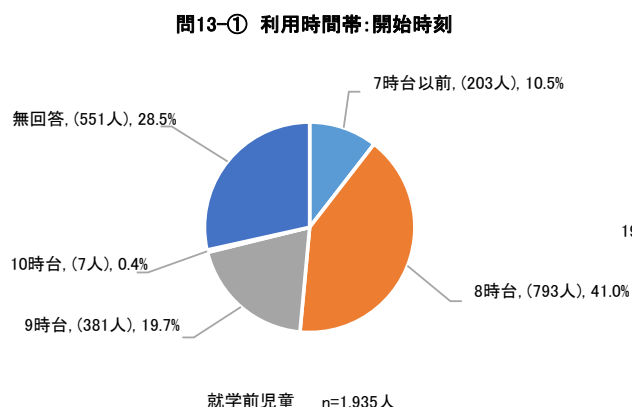
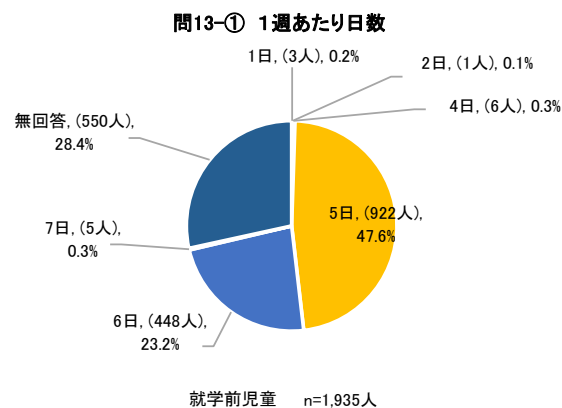
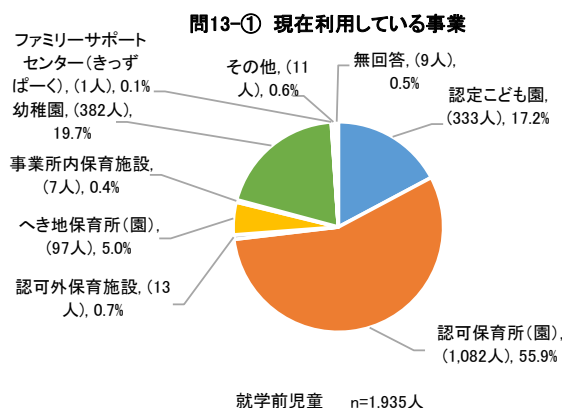
利用している方は「現在の利用状況」、現状から変更希望がある場合は「今後の利用希望」を、利用希望はあるが利用していない方は、「今後の利用希望」をお答えください。

有無、利用状況：【当てはまる番号 1 つに○】 利用日数、時間帯：【自由記入】

- 就学前児童では、認可保育所（園）が最も多く、ついで認定こども園と幼稚園がほぼ同等の割合となっています。
- 1週あたりの利用日数は5日が最も多くなっています。
- 利用開始時刻は、8時台が41.0%と最も多く、利用終了時刻は、16時台～18時台が多くなっています。

【就学前児童】

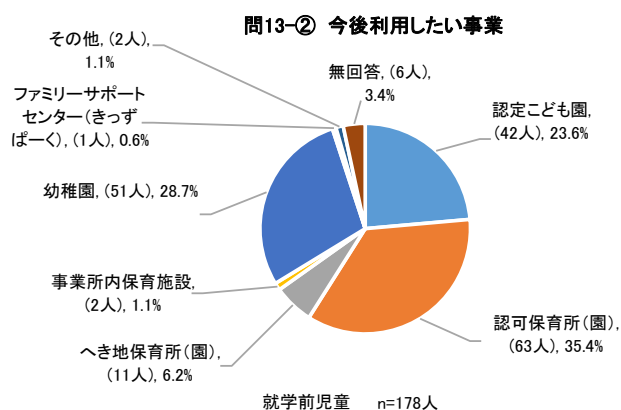
[利用日数・利用時間]



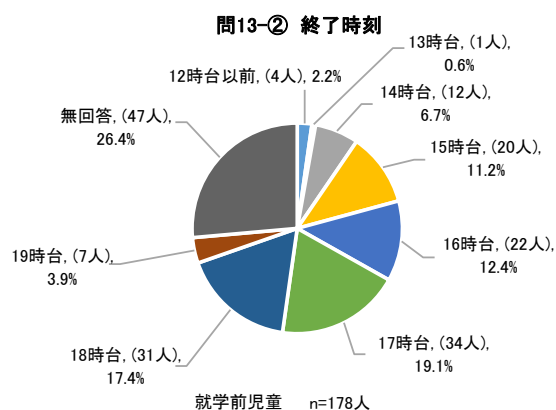
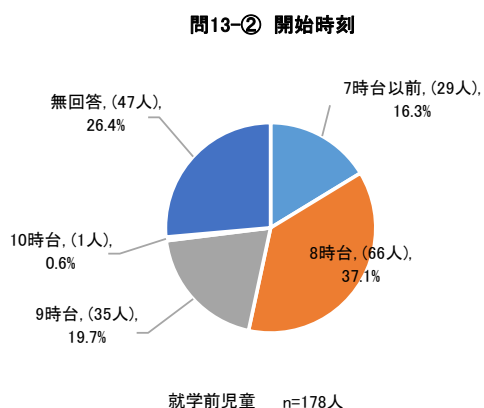
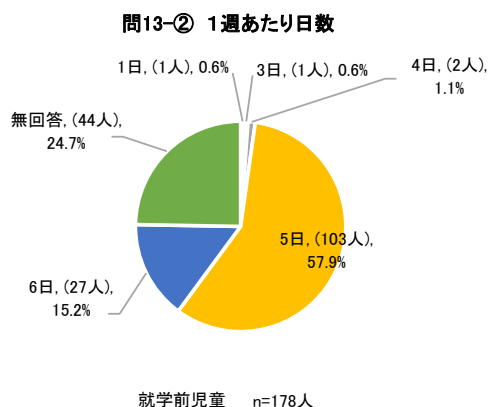
2.4.2 今後利用したい事業

- 現在幼稚園や保育所を利用していいない人、および現状からの変更希望がある人の今後利用したい事業としては、許可保育所（園）が最も多く、ついで幼稚園となっています。
- 1週あたりの利用日数は5日が最も多くなっています。
- 利用開始時刻は、8時台～9時台を希望する人が多く、利用終了時刻は、15時台～18時台を希望する人が多くなっています。

【就学前児童】



[利用日数・利用時間]



2.4.3 預かり保育の利用意向

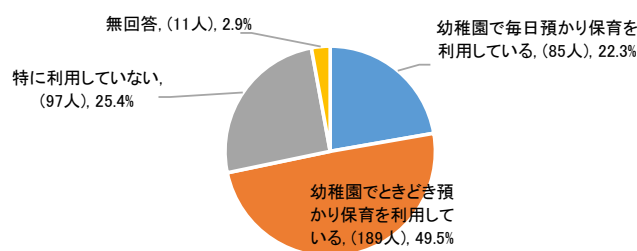
現在幼稚園を利用されている方にうかがいます。幼稚園における「預かり保育」（通常の就園時間を延長して預かる事業）の利用について、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。【当てはまる番号1つに○】

利用されている方については、週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」の最も多いパターンをお答えください。【自由記入】

- 幼稚園の預かり保育は「ときどき利用している」が最も多く49.5%となっています。
- 利用日数は、週1日と週5日が多くなっています。
- 利用時間は、「2時間～3時間未満」が45.6%と最も多く、次いで「3～4時間未満」が26.3%となっています。

【就学前児童】

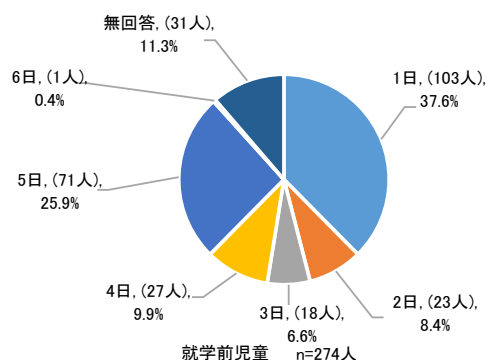
問13-1 幼稚園の預かり保育の利用



就学前児童 n=382人

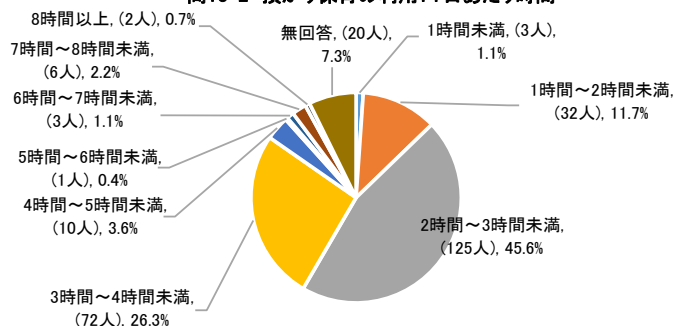
【利用日数・利用時間】

問13-① 1週あたり日数



就学前児童 n=274人

問13-2 預かり保育の利用：1日あたり時間



就学前児童 n=274人

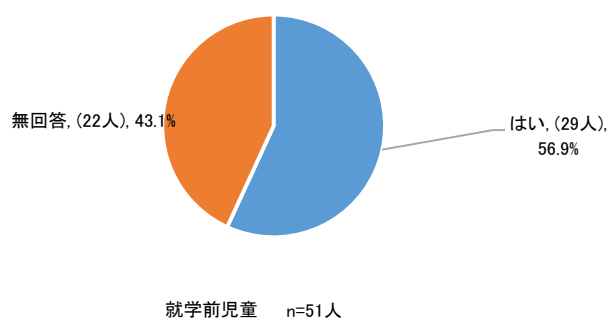
2.4.4 幼稚園の利用意向

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況の「今後の利用希望」で、「幼稚園」に○をつけ、かつ、その他の事業にも○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【当てはまる番号 1 つに○】

- 幼稚園の利用を強く希望する人は 56.9%となっています。

【就学前児童】

問13-3 幼稚園の利用を強く希望するか



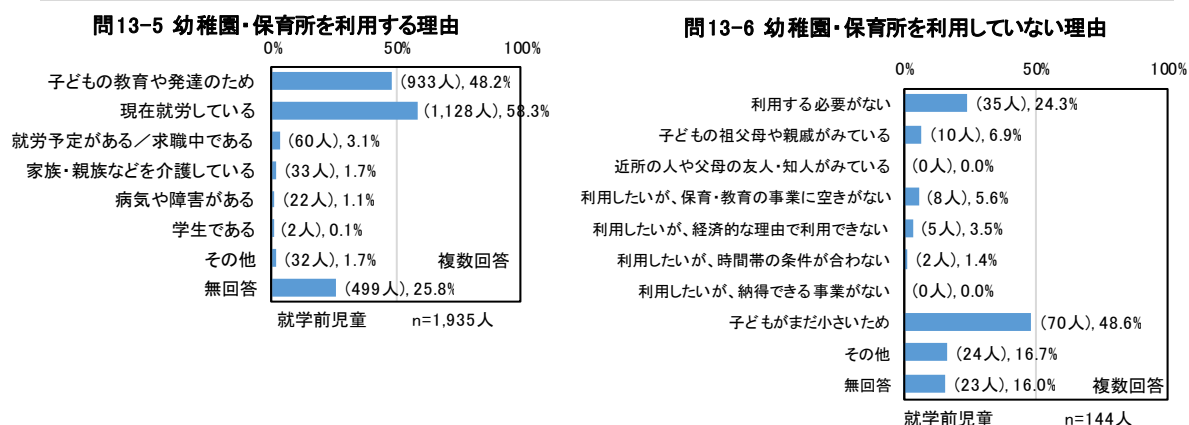
2.4.5 幼稚園・保育所を利用する理由・利用していない理由

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に幼稚園・保育所などを利用されている理由について、あてはまるものに○をつけてください。【当てはまる番号すべてに○】

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況で、「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に幼稚園・保育所などを利用されていない理由について、あてはまるものに○をつけてください。【当てはまる番号すべてに○】

- 幼稚園・保育園を、現在就労しているため、子どもの教育や発達のために利用している人が多くなっています。
- 幼稚園・保育園を利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」が最も多くなっています。

【就学前児童】



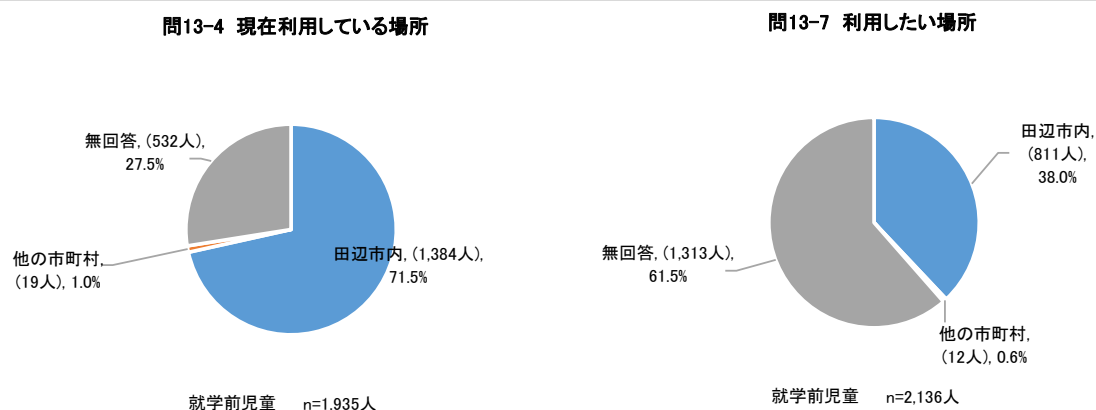
2.4.6 現在利用している場所・利用したい場所

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している幼稚園・保育所などの実施場所はどこですか。【当てはまる番号1つに○】

幼稚園・保育所などを利用したい場所はどこですか。【当てはまる番号1つに○】

- 現在利用している場所、利用したい場所は共に、田辺市内が最も多くなっています。

【就学前児童】



2.5 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

2.5.1 地域子育て支援センターの利用状況

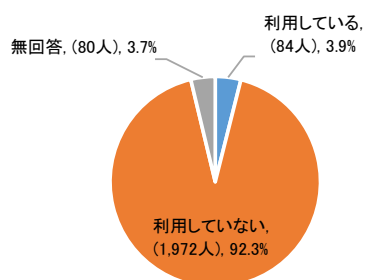
お子さんは、現在、地域子育て支援センター（「愛・あい」、「ちかの」）の事業「青空広場」、「つどいの広場」、「つどいのおへや」、「あいあい広場」などを利用していますか。
利用されている場合、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

有無：【当てはまる番号 1 つに○】 利用回数：【自由記入】

- 地域子育て支援センターを利用していない人は、92.3%となっています。
- 地域子育て支援センターを利用している人の利用回数は、週に 1 回未満が最も多く 67.9%となっています。

【就学前児童】

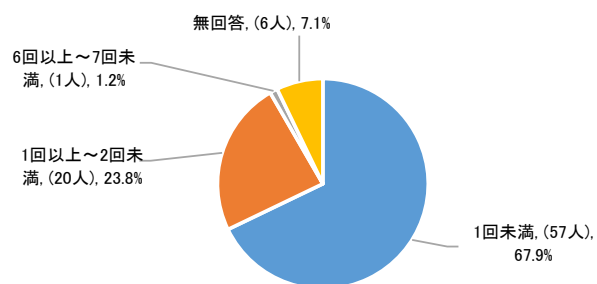
問14 地域子育て支援センター利用



就学前児童 n=2,136人

【利用回数】

問14 週当たり利用回数



就学前児童 n=84人

2.5.2 地域子育て支援センターの利用希望

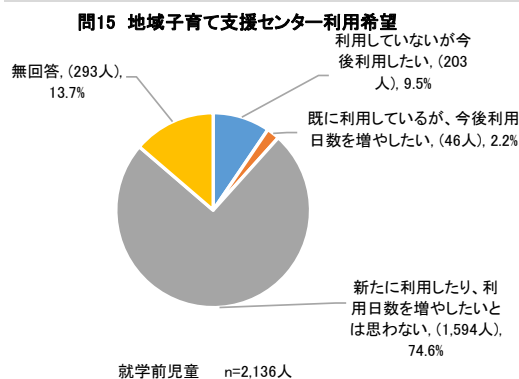
地域子育て支援センター（「愛・あい」、「ちかの」）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

当てはまる番号一つに○を付けて、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

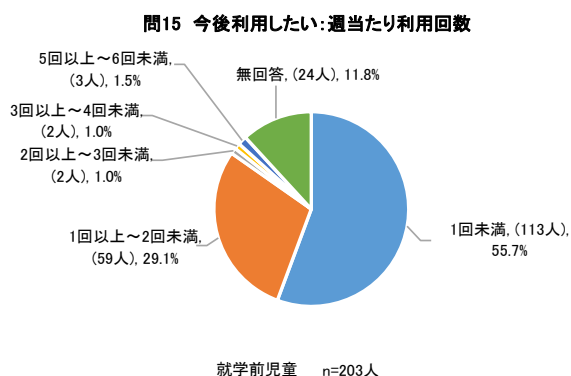
利用希望：【当てはまる番号 1 つに○】 利用回数：【自由記入】

- 地域子育て支援センターの利用希望を見ると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が74.6%となっています。
- 「利用していないが今後利用したい」と答えた人の利用したい回数は、週に「1回未満」が55.7%と最も多く、次いで週に「1回以上～2回未満」となっています。
- 利用を増やしたいと答えた人の利用したい回数は、週に「1回未満」が37.0%と最も多く、次いで週に「1回以上～2回未満」となっています。

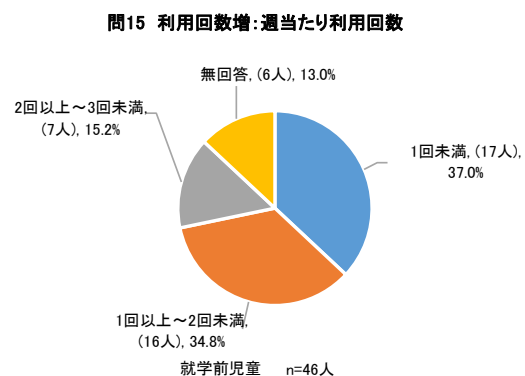
【就学前児童】



[新たに利用したい回数]



[利用を増やしたい回数]



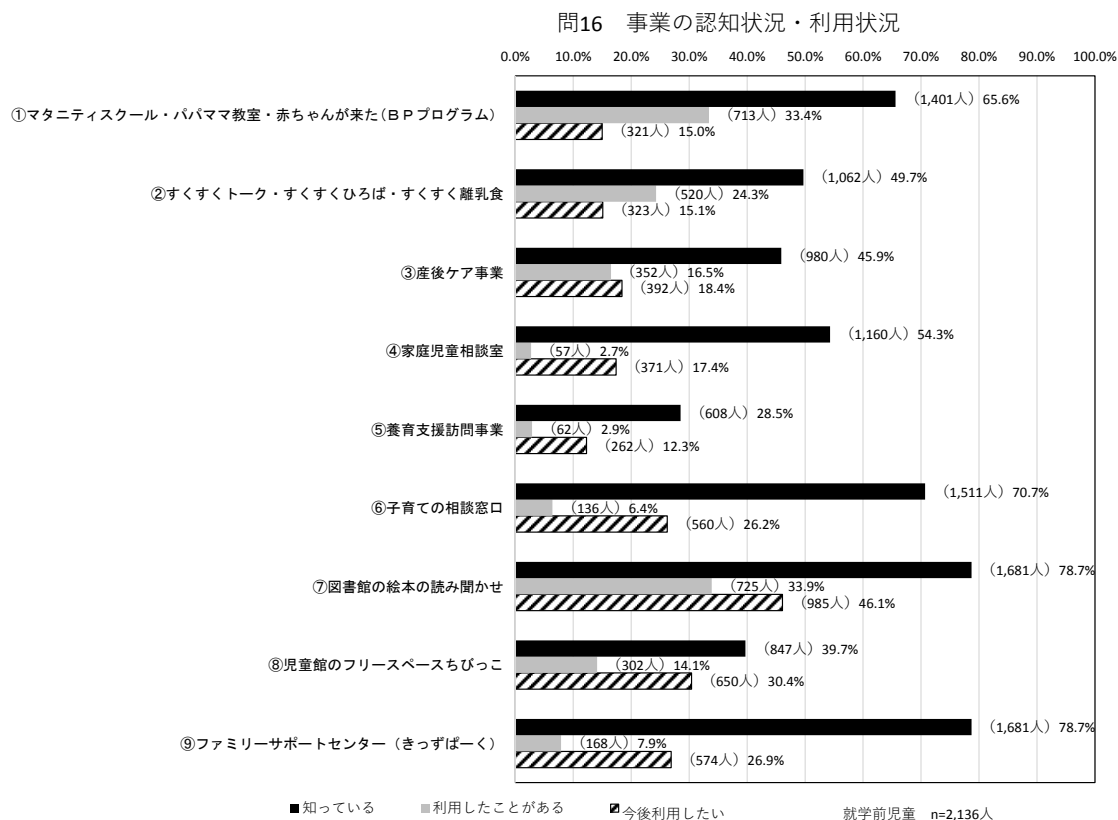
2.5.3 各事業の認知状況・利用状況

①～⑨の事業ごとに、「知っている」、「これまでに利用したことがある」、「今後利用したい」のそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【当てはまる番号 1 つに○】

- 図書館の絵本の読み聞かせ、ファミリーサポートセンターは、「知っている」と答えた人が多くともに78.7%となっていました。
- マタニティスクール・パパママ教室・赤ちゃんが来た、図書館の絵本読み聞かせは、「利用したことがある」と答えた人が3割強と多くなっています。
- 図書館の絵本の読み聞かせは「今後利用したい」が46.1%と最も多くなっています。

【就学前児童】



2.6 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用状況

2.6.1 土曜の教育・保育事業の利用状況

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

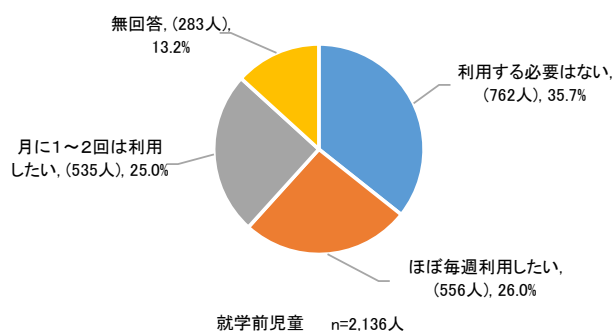
希望がある場合は、利用したい時間帯を、ご記入ください。

利用意向：【当てはまる番号 1 つに○】 希望する時間帯：【自由記入】

- 土曜の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」と答えた人が 35.7%と最も多く、次いで、「ほぼ毎週利用したい」、「月 1～2 回は利用したい」と答えた人が、3 割程度となっています。
- 利用開始時刻は、8 時台～9 時台が最も多く、利用終了時刻は、17 時台～18 時台が最も多く、過半数を超えています。

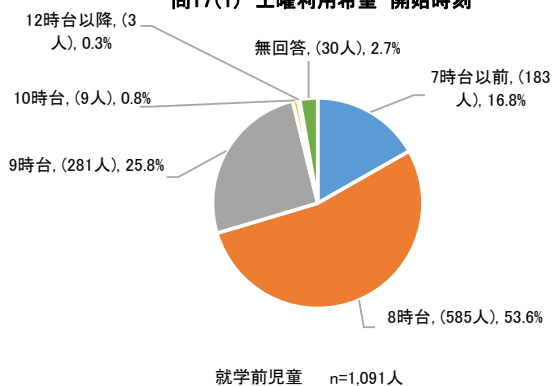
【就学前児童】

問17(1) 土曜利用希望

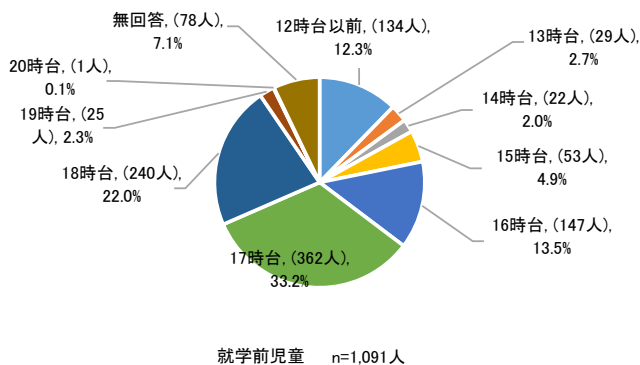


[利用時刻]

問17(1) 土曜利用希望 開始時刻



問17(1) 土曜利用希望 終了時刻

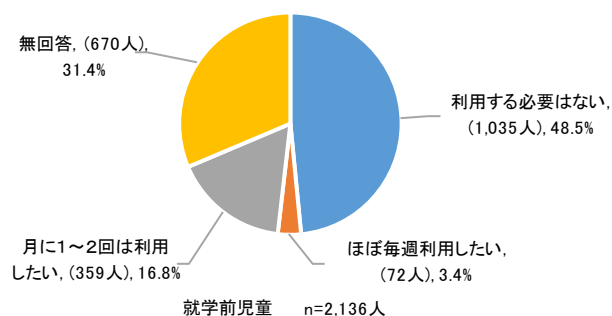


2.6.2 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用状況

- 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」と答えた人が48.5%と最も多く、次いで、「月に1～2回は利用したい」と答えた人が、16.8%となっています。
- 利用開始時刻は、8時台～9時台が最も多く、利用終了時刻は、17時台～18時台が最も多く、過半数を超えています。

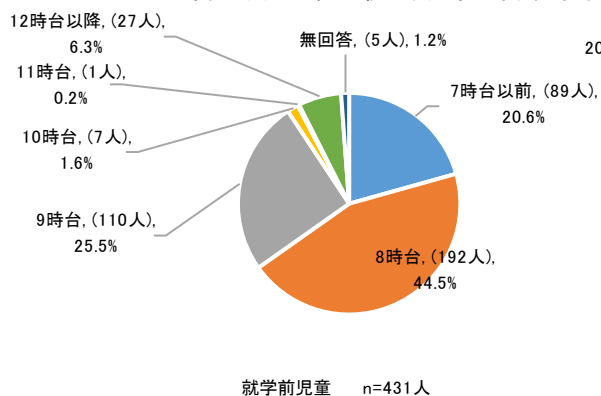
【就学前児童】

問17(2) 日曜日・祝日利用希望

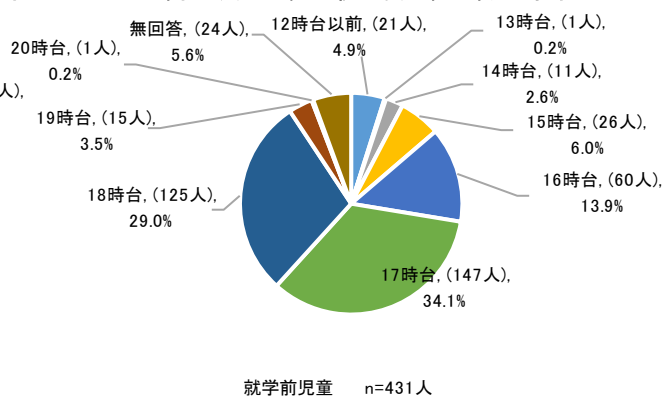


[利用時刻]

問17(2) 日曜日・祝日利用希望 開始時刻



問17(2) 日曜日・祝日利用希望 終了時刻



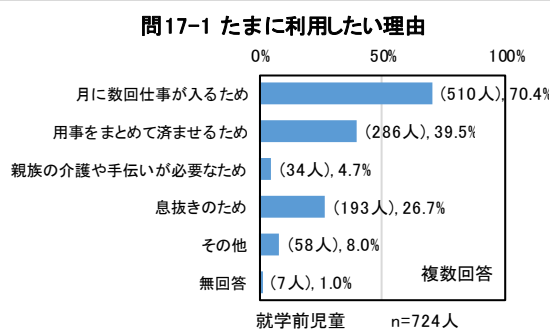
2.6.3 土曜・日曜・祝日でたまに利用したい理由

土曜・日曜・祝日の幼稚園・保育所などの利用希望で「月に1～2回は利用したい」に○を付けた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【当てはまる番号すべてに○】

- 土曜・日曜・祝日でたまに利用したい理由として、「月に数回仕事が入るため」が最も多く、70.4%となっています。

【就学前児童】



※土曜日と日曜日・祝日いずれも「たまに利用したい」と答えている方がいるため、回答者数は問17(1)(2)の合計と一致しない

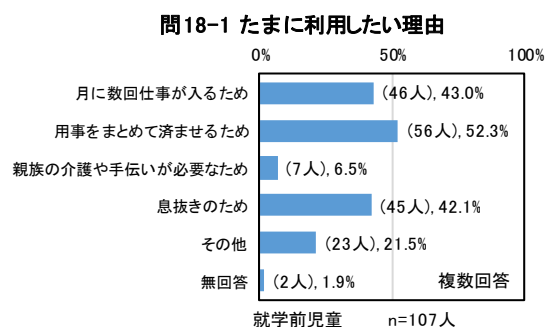
2.6.5 長期休暇中でたまに利用したい理由

長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望で「週に数日利用したい」に○を付けた方にうかがいます。

毎日ではなく、数日利用したい理由は何ですか。【当てはまる番号すべてに○】

- 長期休暇中に週に数日だけ利用したい理由は、「用事をまとめて済ませるため」が過半数を超えており、「月に数回仕事が入るため」と「息抜きのため」が4割強となっています。

【就学前児童】



2.7 子どもの病気の際の対応

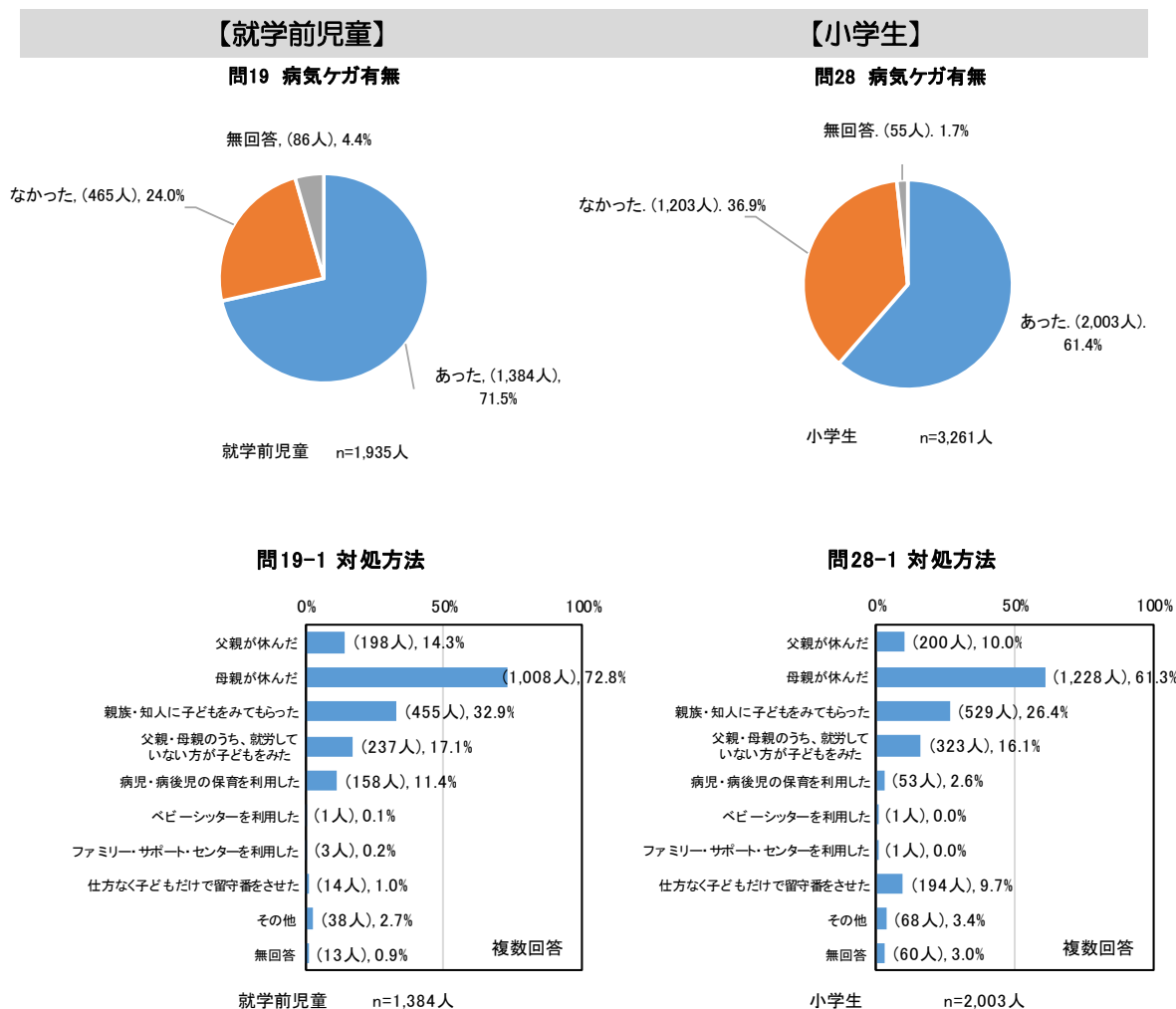
2.7.1 病気やケガで幼稚園・保育所・学校等へ行けなかったことの有無

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。【当てはまる番号1つに○】

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法に○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

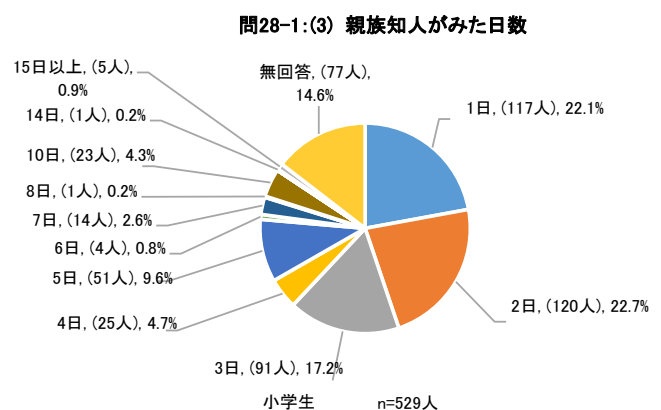
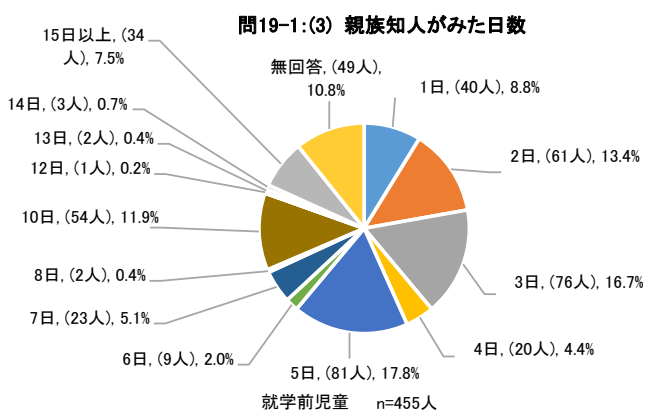
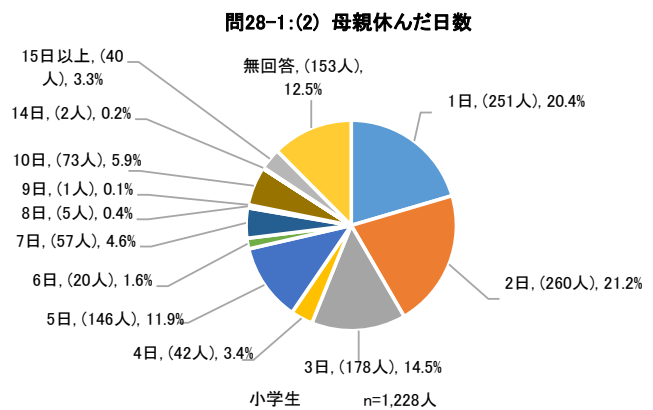
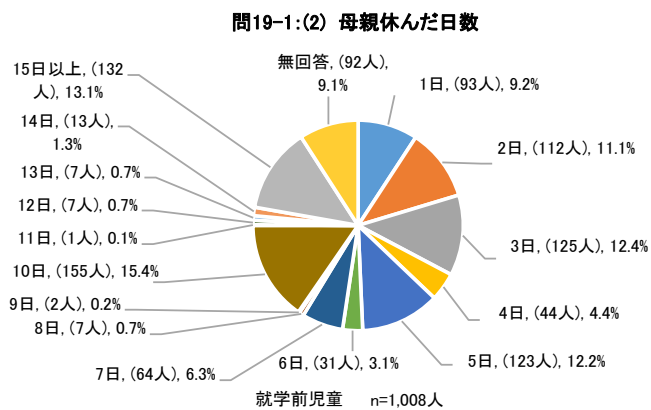
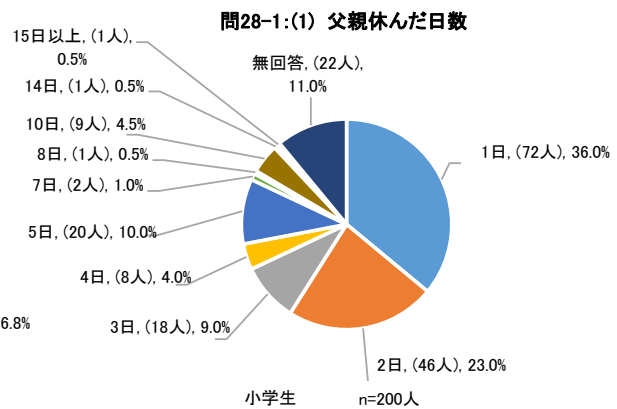
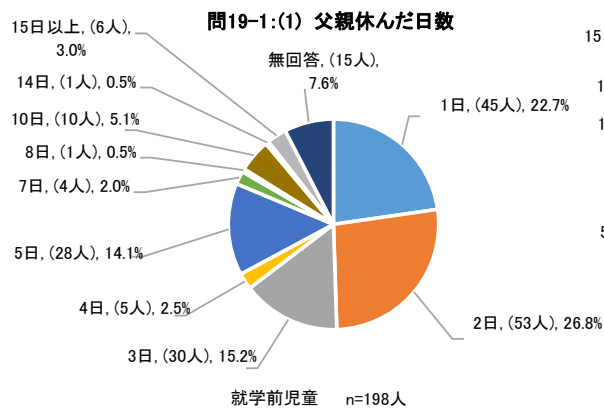
方法：【当てはまる番号すべてに○】 日数：【自由記入】

- 病気やケガで幼稚園・保育所・学校等に行けなかったときの対処方法として、「母親が休んだ」が最も多く就学前児童で72.8%、小学生で61.3%となっています。



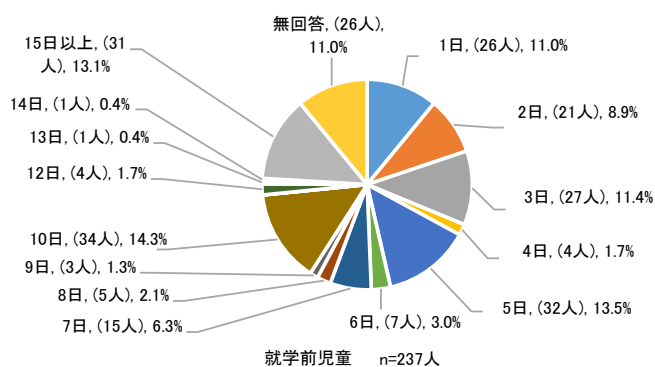
【就学前児童】

【小学生】



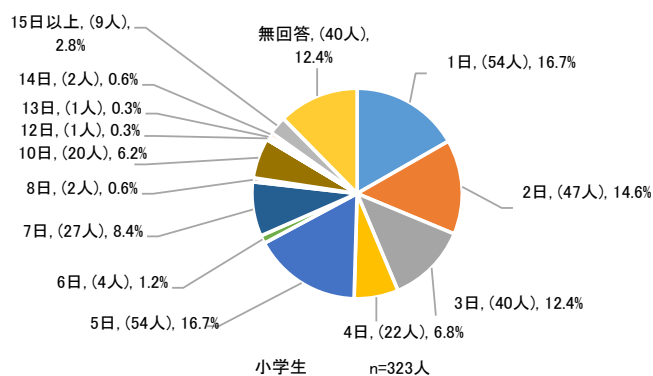
【就学前児童】

問19-1:(4) 母または父日数

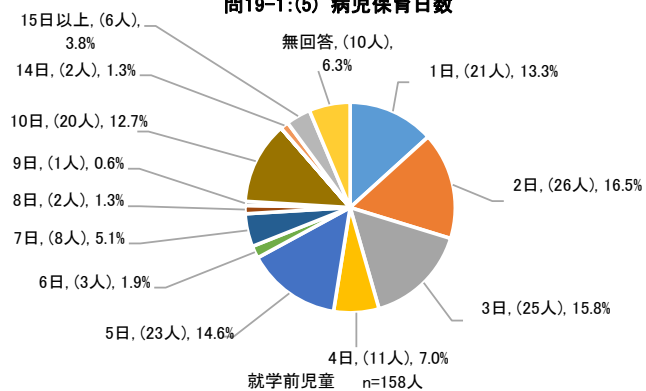


【小学生】

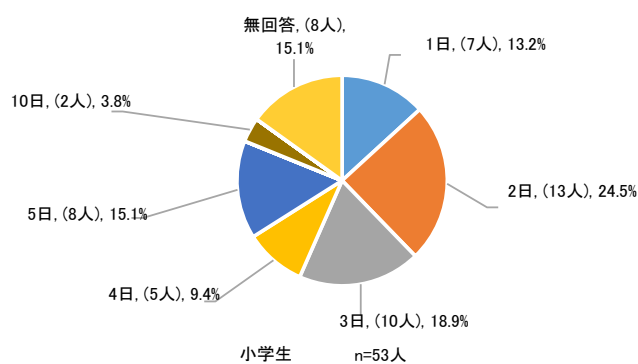
問28-1:(4) 母または父日数



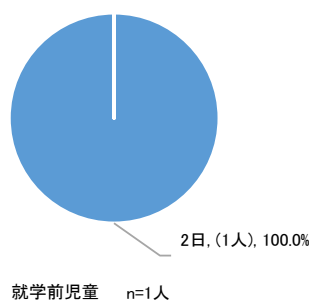
問19-1:(5) 病児保育日数



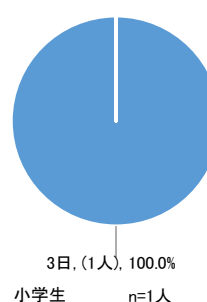
問28-1:(5) 病児保育日数



問19-1:(6) シッター日数

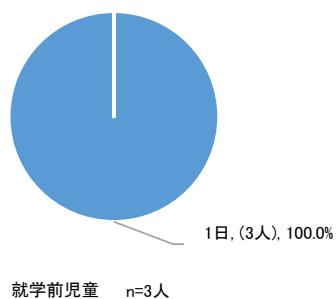


問28-1:(6) シッター日数



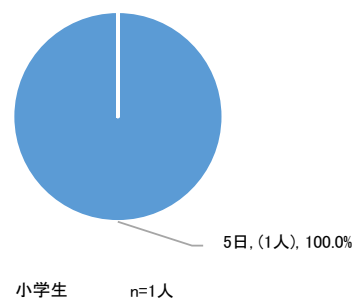
【就学前児童】

問19-1:(7) ファミサポ日数

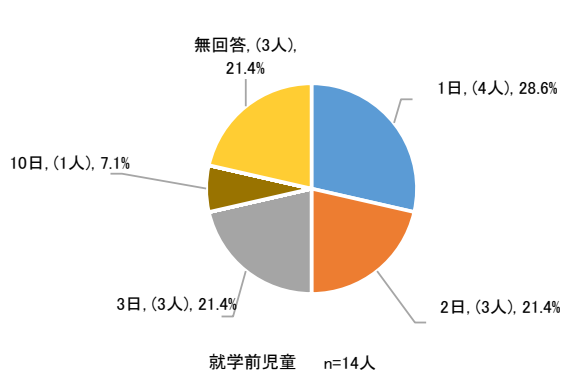


【小学生】

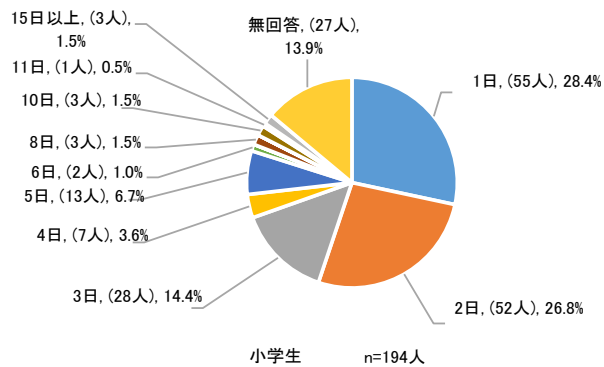
問28-1:(7) ファミサポ日数



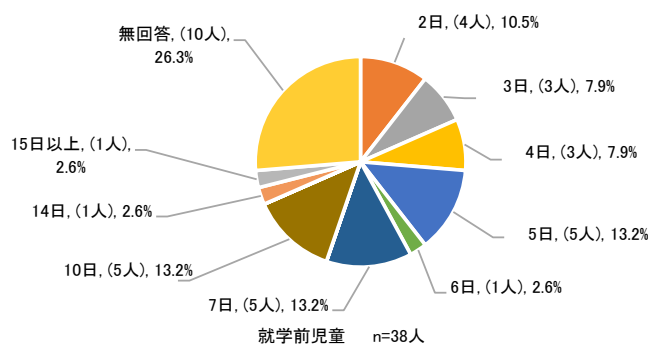
問19-1:(8) 留守番日数



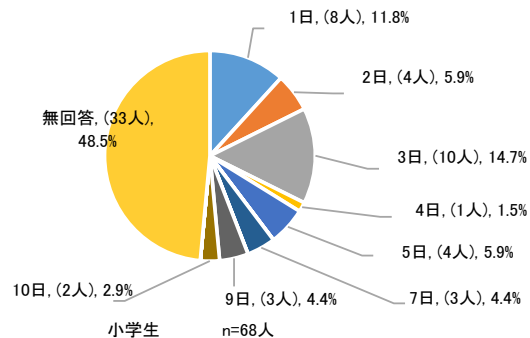
問28-1:(8) 留守番日数



問19-1:(9) その他日数



問28-1:(9) その他日数



2.7.2 病児・病後児保育施設などの利用希望

この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあり、かつ「父親が仕事を休んだ」、「母親が仕事を休んだ」のどちらかに○を付けた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、日数についてもご記入ください。

利用意向：【当てはまる番号 1 つに○】 日数：【自由記入】

この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあり、かつ「親族・知人に看てもらった」から「その他」のどれかに○を付けた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

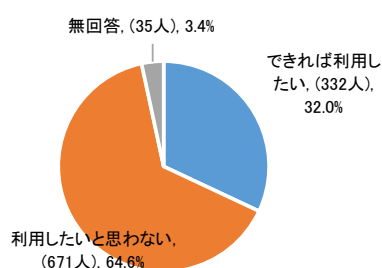
利用意向：【当てはまる番号 1 つに○】 日数：【自由記入】

前問で「休んで看ることは非常に難しい」に○を付けた方にうかがいます。そう思われる理由について○を付けてください。【当てはまる番号全てに○】

- 子どもが病気やケガで登校できなかったとき、父親、母親が仕事を休んだと答えた人のうち、「病児・病後保育施設を利用したい」と答えた人は、就学前児童が32.0%、小学生が20.4%となっています。
- 利用したい日数は、就学前児童が2日、3日、5日の割合がそれぞれ約15%となっており、小学生は2日が21.3%、3日が17.9%、1日が15.2%となっています。

【就学前児童】

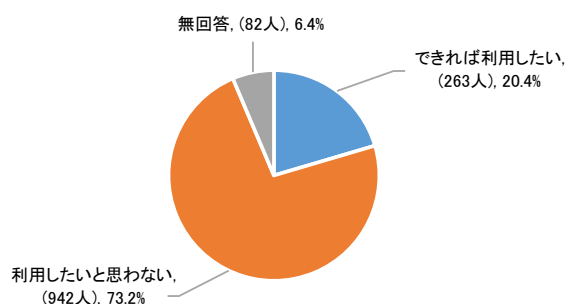
問19-2 病児保育利用希望



就学前児童 n=1,038人

【小学生】

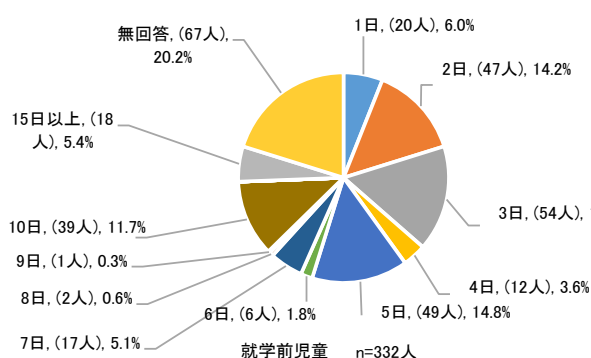
問28-2 病児保育利用希望



小学生 n=1,287人

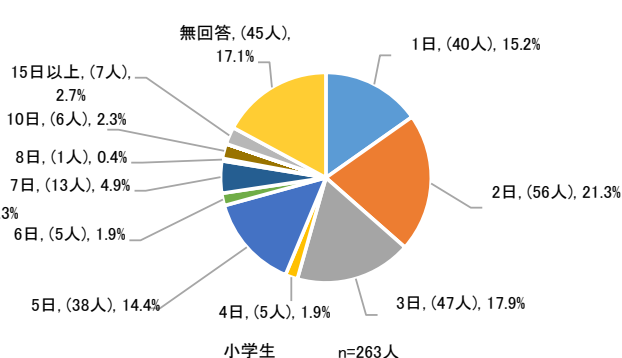
【利用日数】

問19-2: 利用したい日数



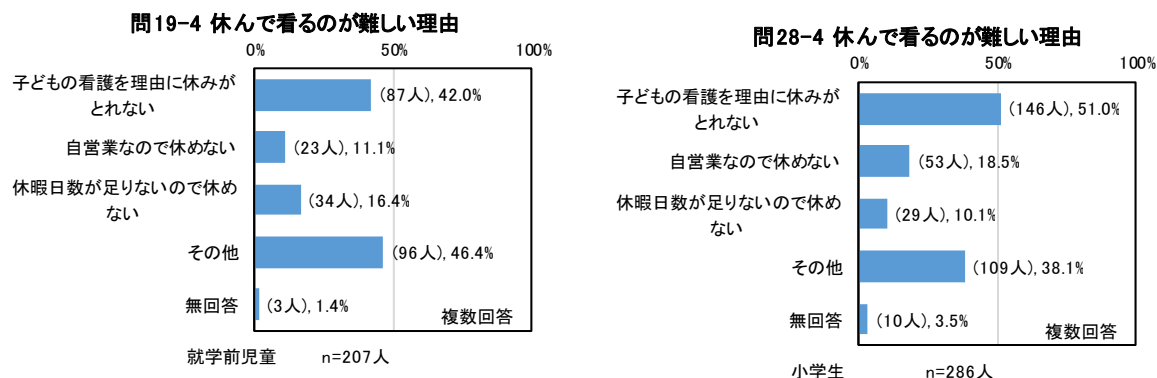
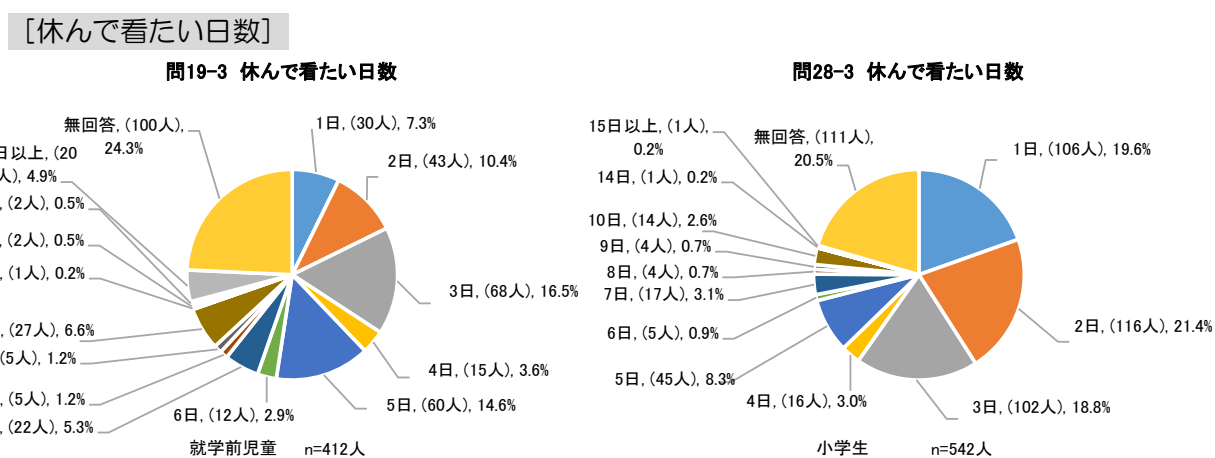
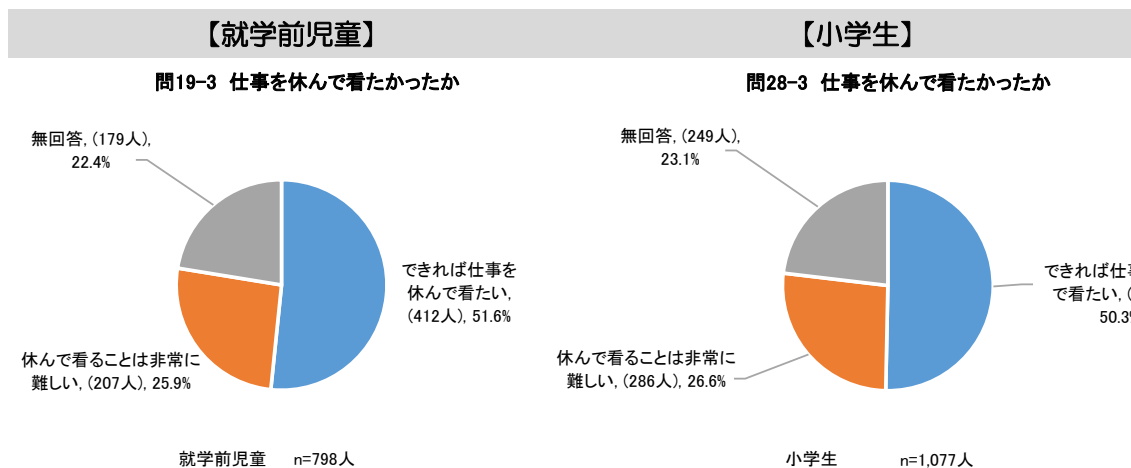
就学前児童 n=332人

問28-2: 利用したい日数



小学生 n=263人

- 子どもが病気やケガの際、約 5 割の人が父親、母親のいずれかが仕事を休んで看たいと答え、休んで看することは非常に難しいと約 3 割の人が答えています。
- 休んで看たい日数は、5 日未満が最も多くなっています。
- 休んで看るのが難しい理由としては、「子供の看護を理由に休みがとれない」が最も多くなっています。



2.8 一時預かりなどの利用

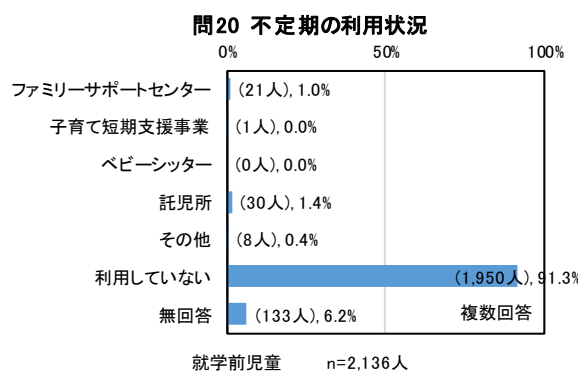
2.8.1 不定期の一時預かりなどの利用状況

お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。

利用意向：【当てはまる番号すべてに○】 日数：【自由記入】

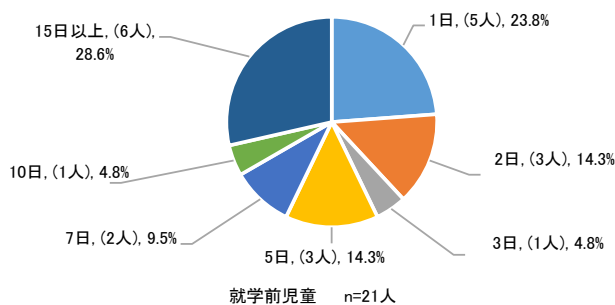
- 不定期の一時預かりなどの利用状況として、「利用していない」が最も多く 91.3%となっています。

【就学前児童】

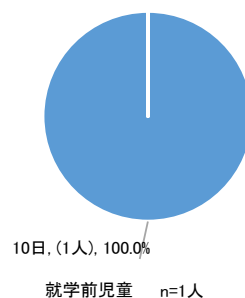


利用日数

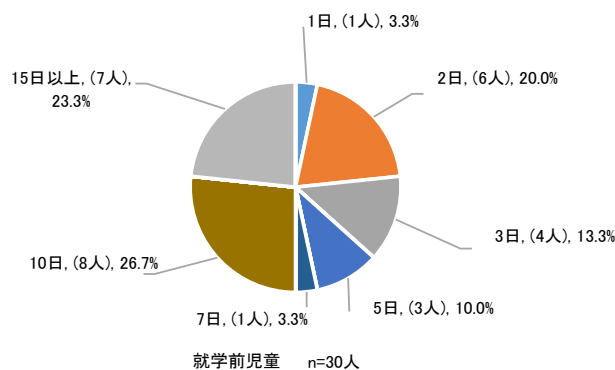
1 ファミリーサポートセンター日数



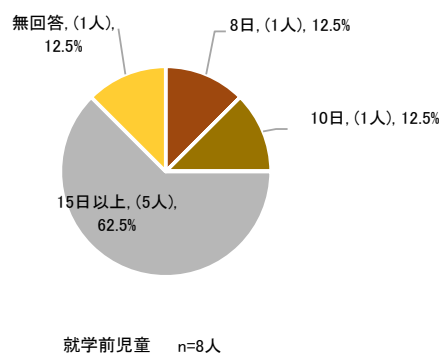
2 子育て短期支援事業日数



4 託児所日数



5 その他日数



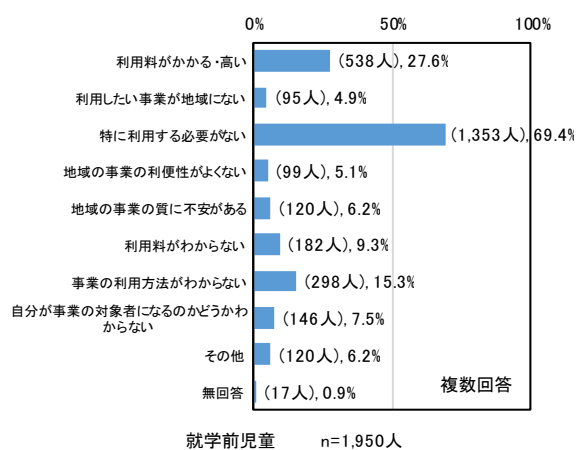
2.8.2 不定期の一時預かりなどを利用していない理由

不定期の一時預かりなどについて「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。【当てはまる番号すべてに○】

- 不定期の一時預かりなどを利用していない理由として、「特に利用する必要がない」が最も多く 69.4%、次に「利用料がかかる・高い」が 27.6%となっています。

【就学前児童】

問20-1 利用していない理由



2.8.3 不定期の一時預かりなどの利用希望

お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について○をつけ、必要な日数をご記入ください。

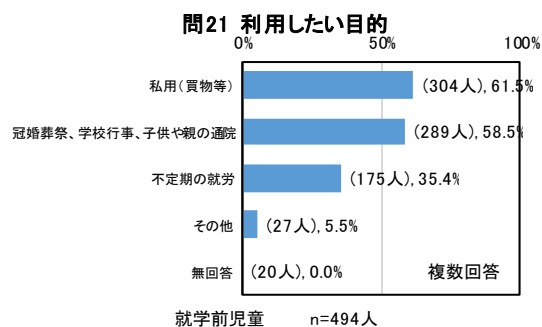
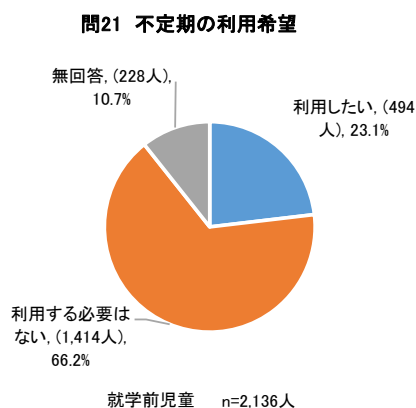
希望の有無：【当てはまる番号すべてに○】 必要な日数：【自由記入】

不定期の一時預かりなどの利用希望で「利用したい」に○を付けた方にうかがいます。この目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

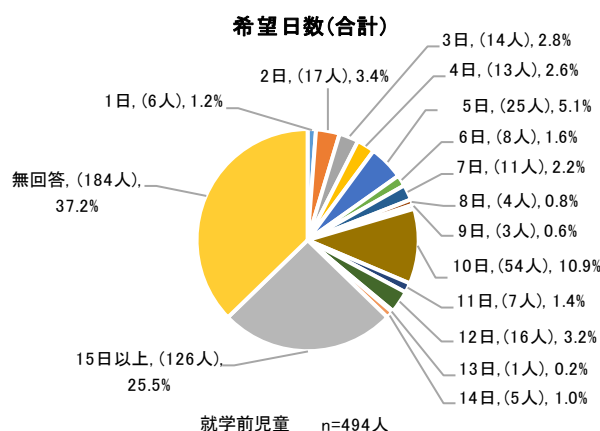
【当てはまる番号すべてに○】

- 不定期の一時預かりなどの利用希望は、「利用する必要はない」が最も多く、66.2%となっています。
- 利用したい目的は、「私用」が61.5%、「冠婚葬祭」、「学校行事」、「子供や親の通院」が58.5%となっています。
- 大規模施設で子どもを保育する事業を過半数以上の人が望んでいます。

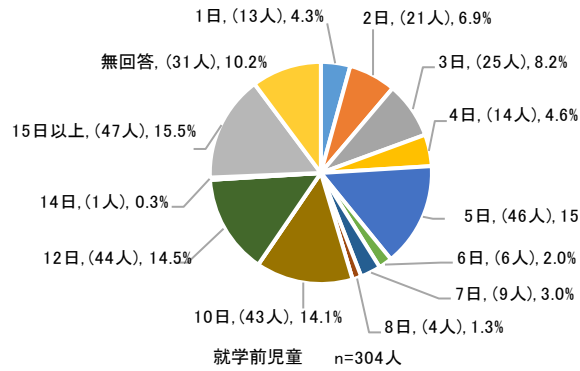
【就学前児童】



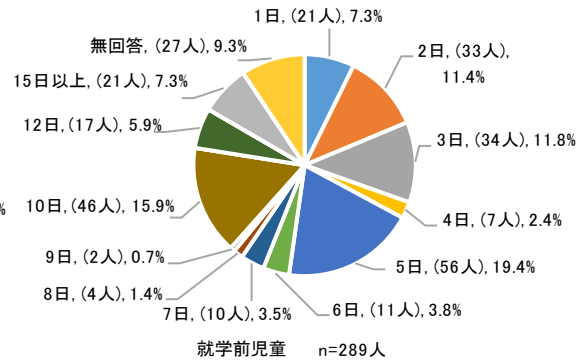
利用日数



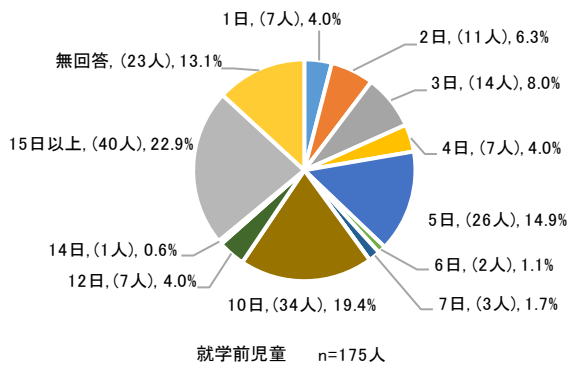
ア 私用日数



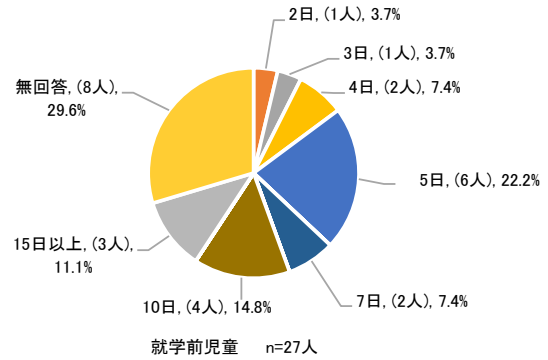
イ 冠婚葬祭日数



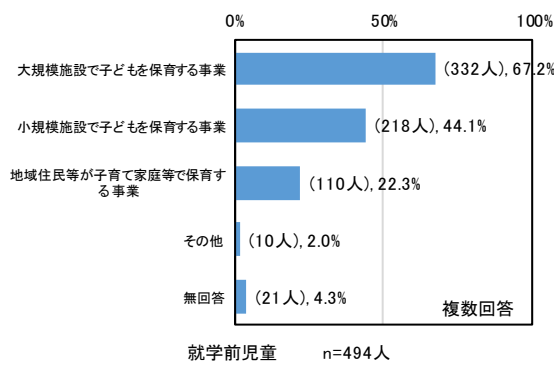
ウ 不定期就労日数



エ その他日数



問21-1 望ましい事業形態



2.8.4 泊りがけで子どもをみてもらったことの有無

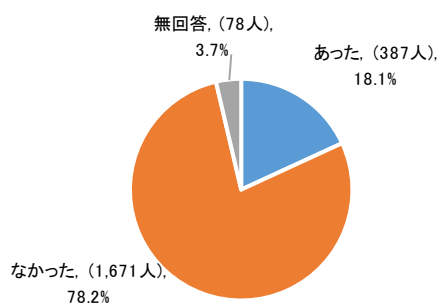
この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法に○をつけ、それぞれの日数をご記入ください。

有無：【当てはまる番号1つに○】 方法：【当てはまる番号全てに○】 日数：【自由記入】

- 泊りがけで子どもをみてもらったことが「あった」と答えた人は18.1%で、「なかった」と答えた人は78.2%となっています。
- 対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が86.6%と最も多くなっています。
- 利用日数としては、1日が最も多く、次いで2日、5日、3日、10日となっています。

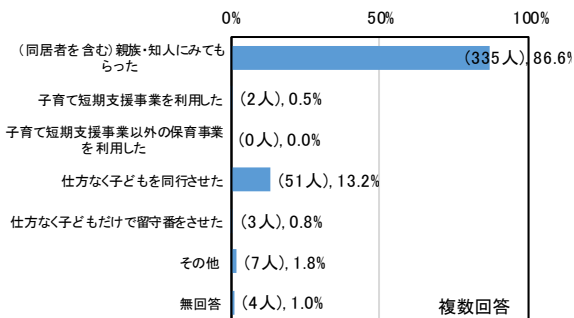
【就学前児童】

問22 泊りがけの有無



就学前児童 n=2,136人

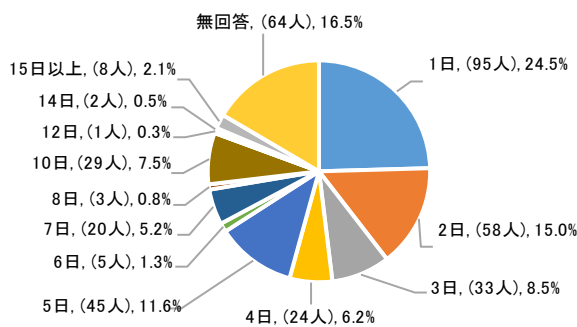
問22 対処方法



就学前児童 n=387人

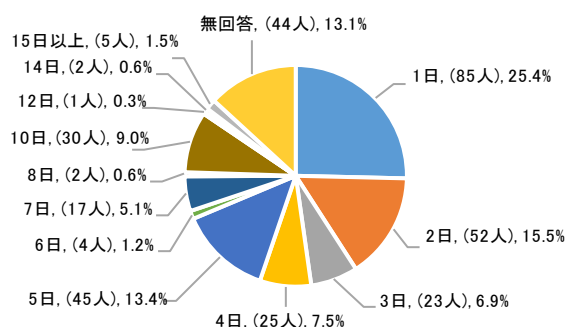
利用日数

合計日数



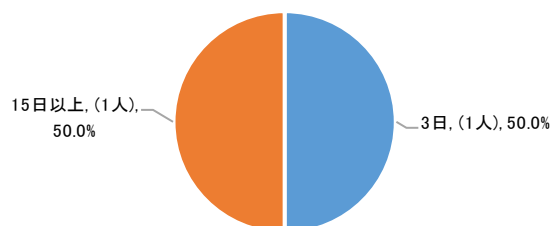
就学前児童 n=387人

ア. 親族・知人日数



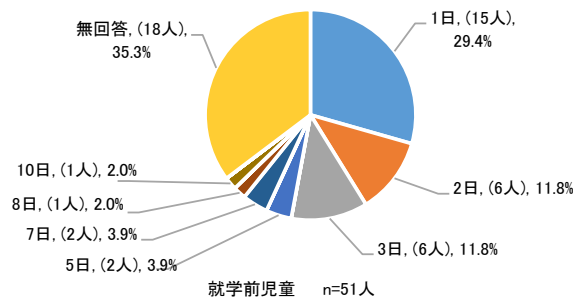
就学前児童 n=335人

イ. ショートステイ日数



就学前児童 n=2人

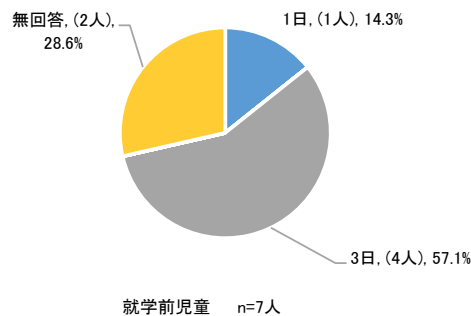
エ. 同行日数



オ. 留守番日数



カ. その他日数



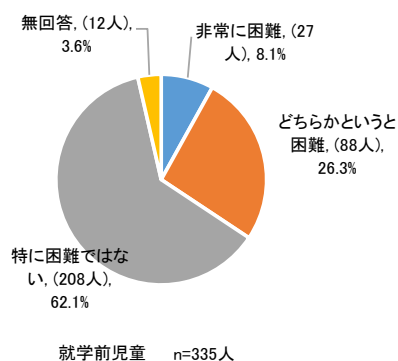
2.8.5 親族等に子どもを見てもらうときの困難度

この1年間に、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあり、「親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。【当てはまる番号1つに○】

- 親族等に子どもを見てもらうことは、「特に困難ではない」が62.1%で最も多く、次いで、「どちらかというと困難」が26.3%となっています。

【就学前児童】

問22-1 困難度



2.9 就学後の放課後の過ごし方

2.9.1 低学年の時期の放課後の過ごし方

お子様が5歳以上の方にうかがいます。小学校低学年では放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「6. 学童保育」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。

場所：【当てはまる番号すべてに○】

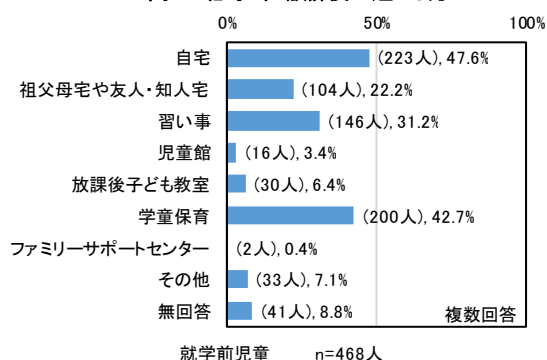
日数・時間：【自由記入】

- 低学年の時期の放課後の過ごし方は、就学前児童で、学童保育、自宅が4割強と多くっており、小学生では、自宅が5割弱、習い事が4割弱と多くなっています。
- 学童保育は、週5日の利用希望が多く、放課後から17時台、18時台までの利用希望が多くなっています。また、44.9%の人が小学3年生まで、26.4%の人が小学6年生まで学童の利用を希望しています。

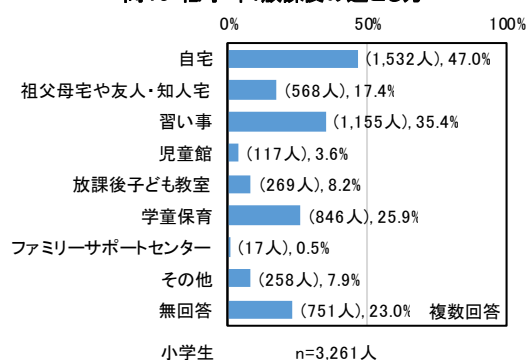
【就学前児童】

【小学生】

問23 低学年：放課後の過ごし方

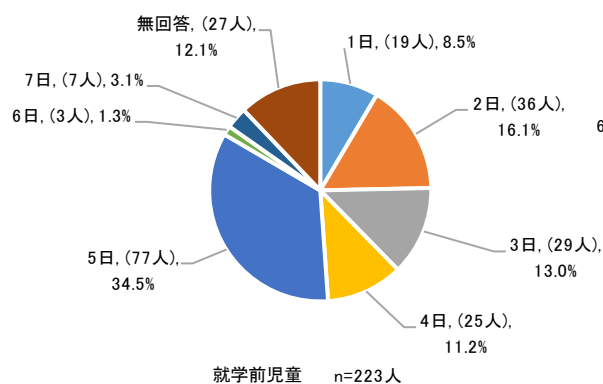


問13 低学年：放課後の過ごし方

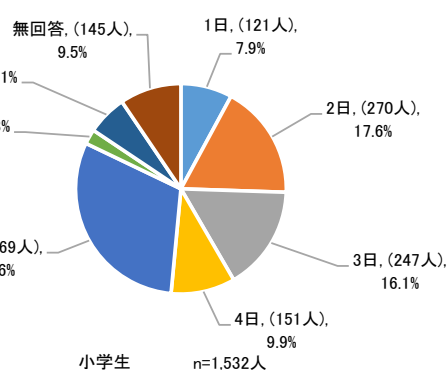


利用日数

1 自宅日数

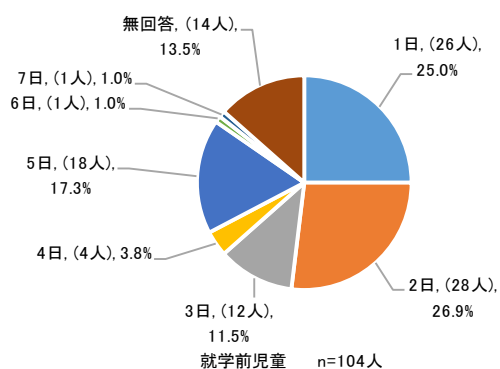


1 自宅日数

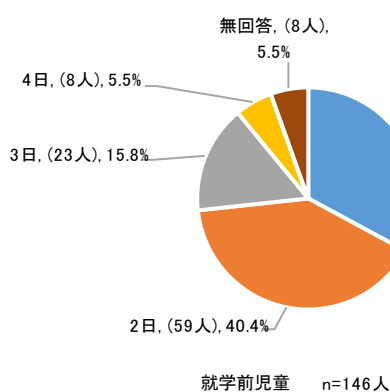


【就学前児童】

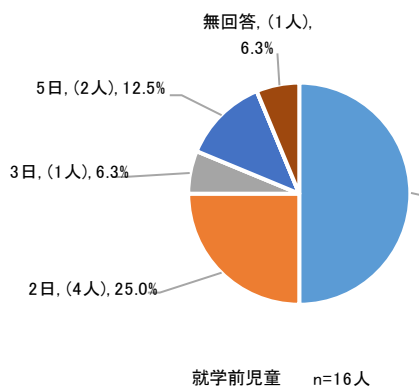
2 祖父母宅・友人宅日数



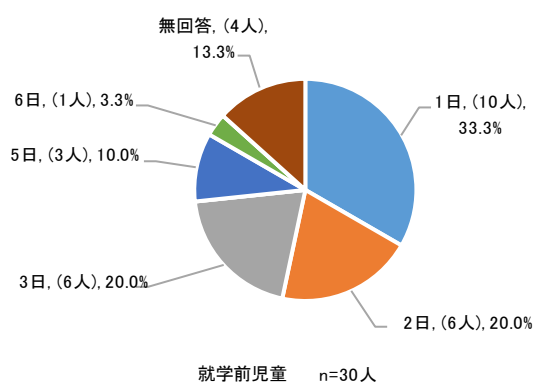
3 習い事日数



4 児童館日数

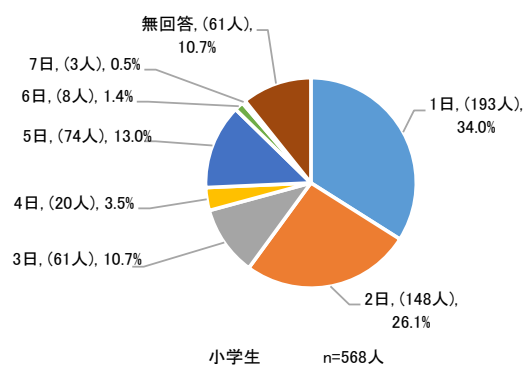


5 放課後子ども教室日数

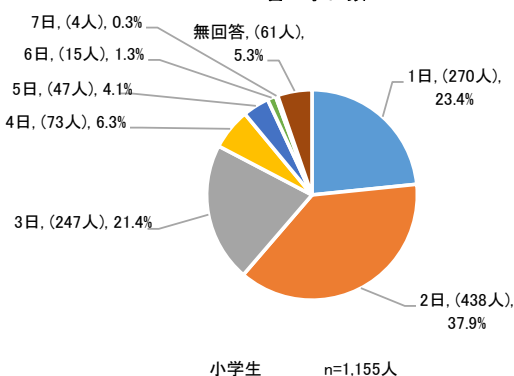


【小学生】

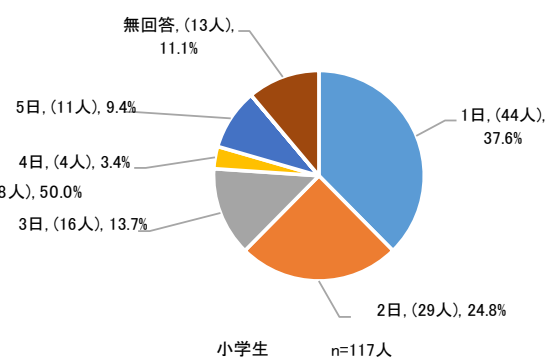
2 祖父母宅・友人宅日数



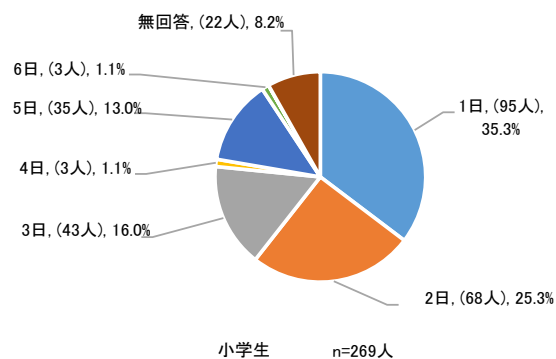
3 習い事日数



4 児童館日数

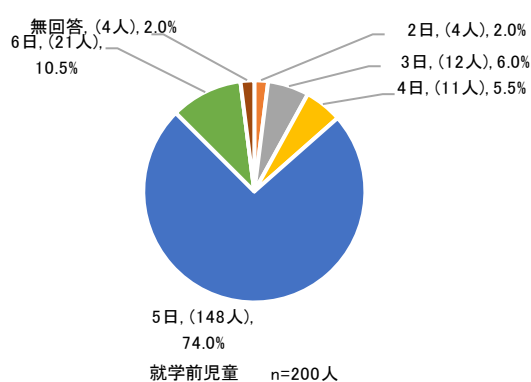


5 放課後子ども教室日数



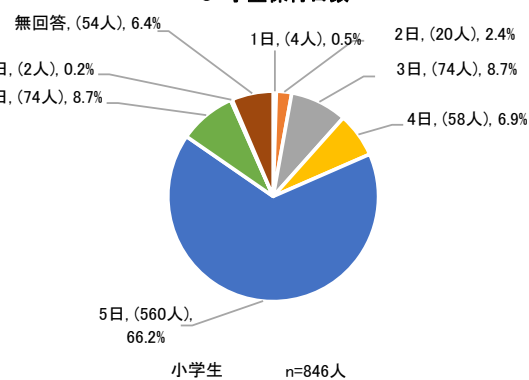
【就学前児童】

6 学童保育日数



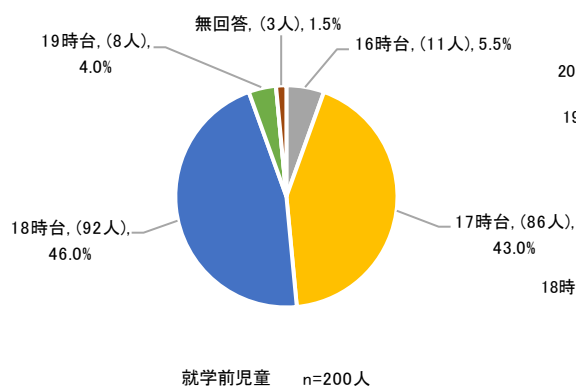
【小学生】

6 学童保育日数

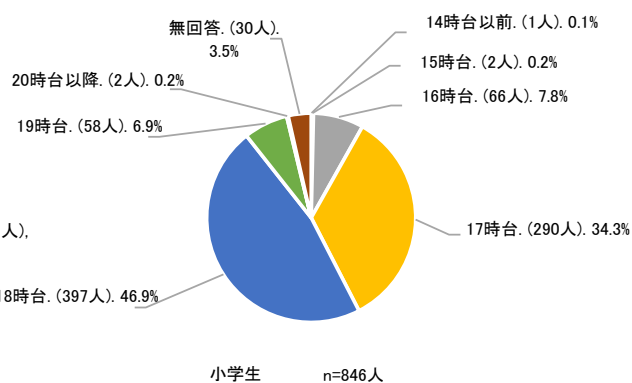


学童の利用時間

6 学童保育:終了時刻

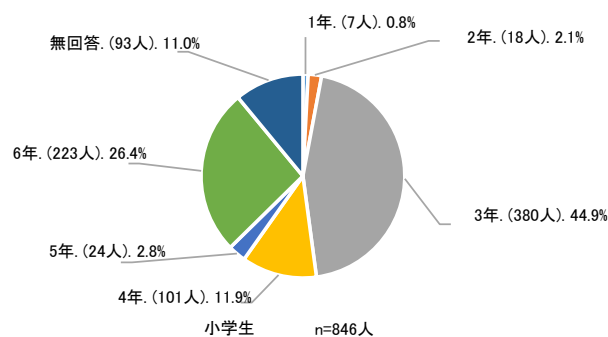


6 学童保育:終了時刻



学童を利用したい学年

6 学童保育を利用したい学年

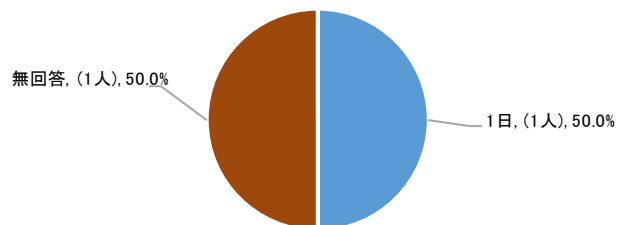


【就学前児童】

【小学生】

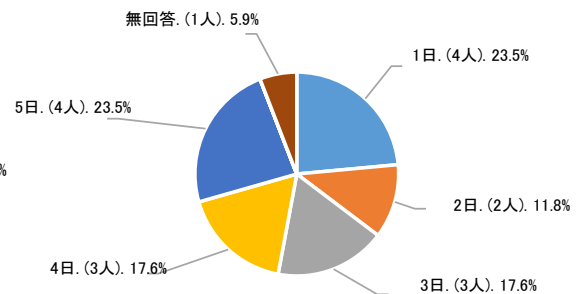
利用日数

7 ファミリーサポートセンター日数



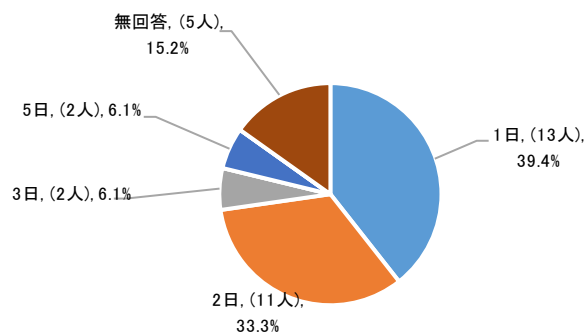
就学前児童 n=2人

7 ファミリーサポートセンター日数



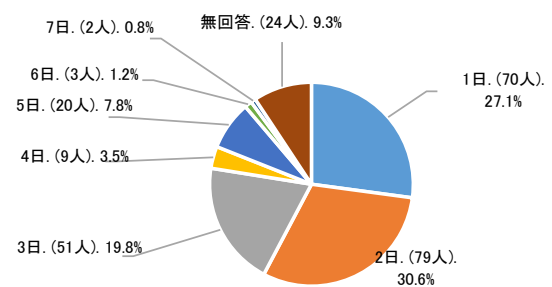
小学生 n=17人

8 その他日数



就学前児童 n=33人

8 その他日数



小学生 n=258人

2.9.2 高学年の時期の放課後の過ごし方

お子様が5歳以上の方にかがいます。小学校高学年では放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「6. 学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

場所：【当てはまる番号すべてに○】

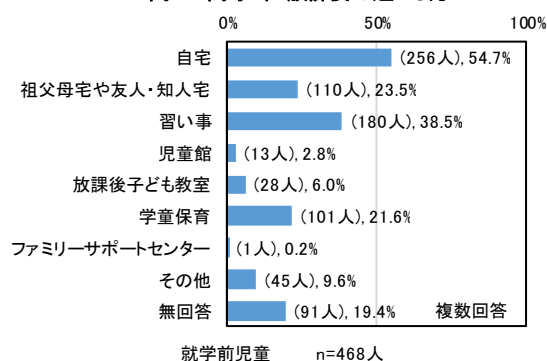
日数・時間：【自由記入】

- 高学年の時期の放課後の過ごし方は、就学前児童と小学生ともに、「自宅」が最も多く、次いで「習い事」が多くなっています。
- 学童保育は、週5日の利用希望が多く、放課後から17時台、18時台までの利用希望が多くなっています。また、高学年でも学童を希望している人の約7割が小学6年生まで学童の利用を希望しています。

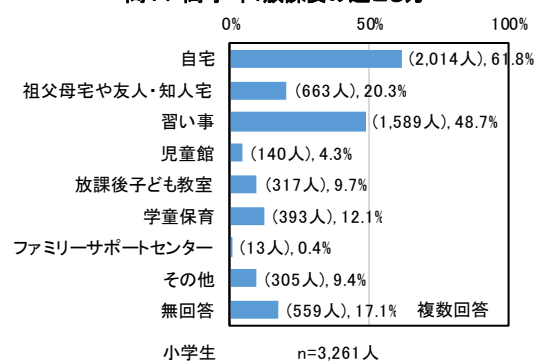
【就学前児童】

【小学生】

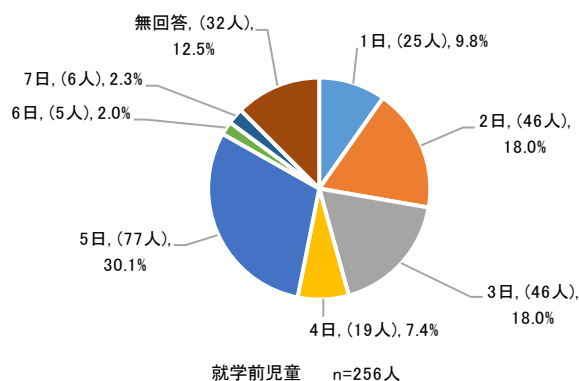
問24 高学年：放課後の過ごし方



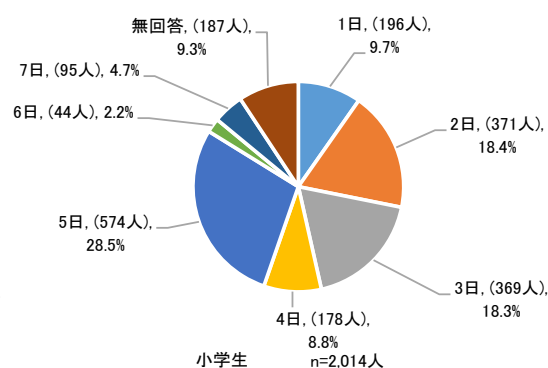
問14 高学年：放課後の過ごし方



1 自宅日数

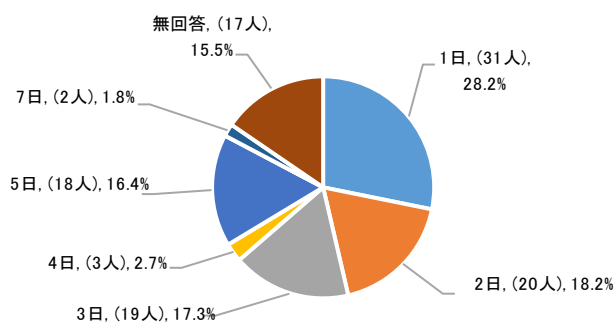


1 自宅日数



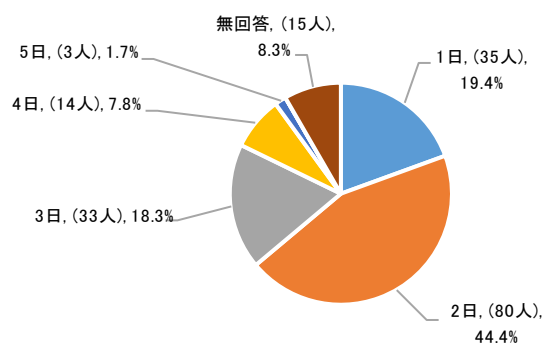
【就学前児童】

2 祖父母宅・友人宅日数



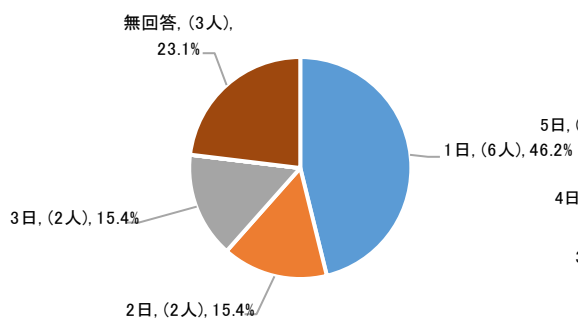
就学前児童 n=110人

3 習い事日数



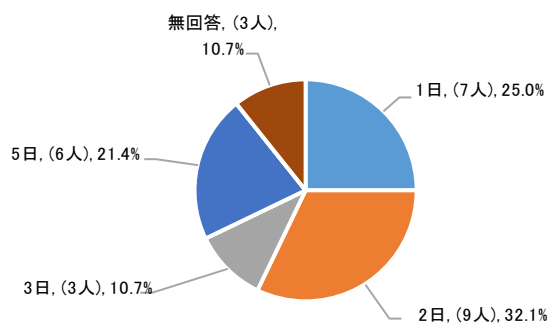
就学前児童 n=180人

4 児童館日数



就学前児童 n=13人

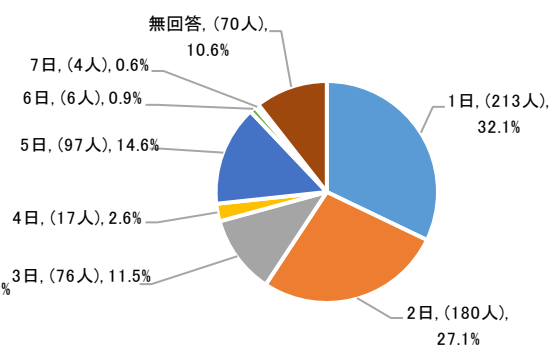
5 放課後子ども教室日数



就学前児童 n=28人

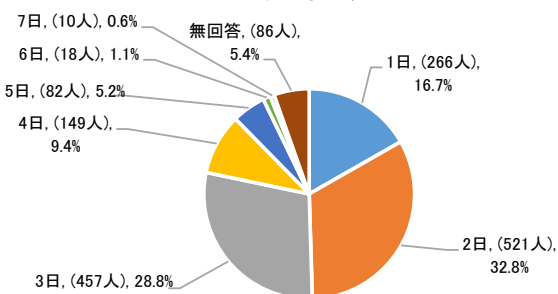
【小学生】

2 祖父母宅・友人宅日数



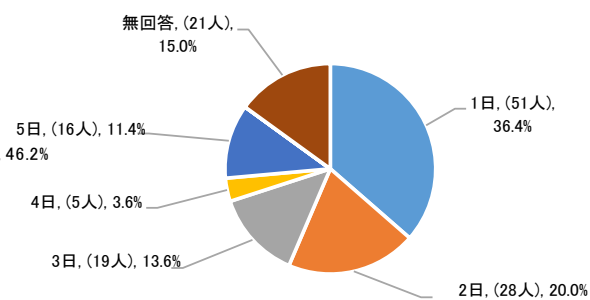
小学生 n=663人

3 習い事日数



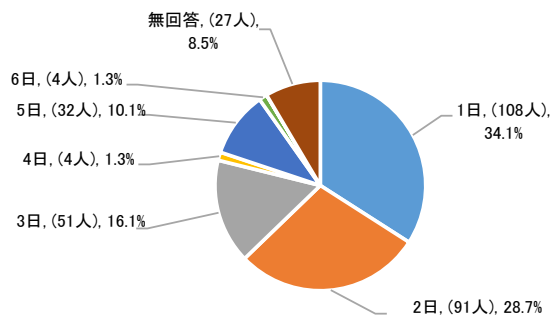
小学生 n=1,589人

4 児童館日数



小学生 n=140人

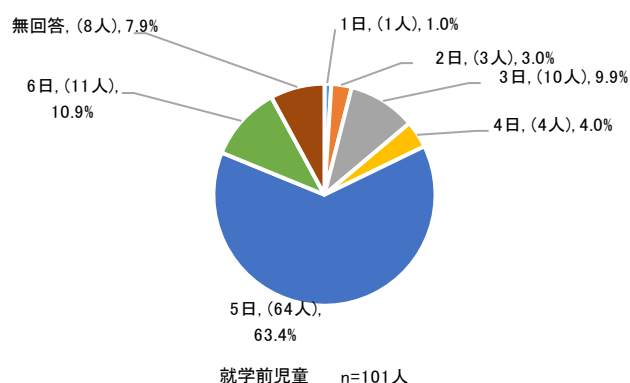
5 放課後子ども教室日数



小学生 n=317人

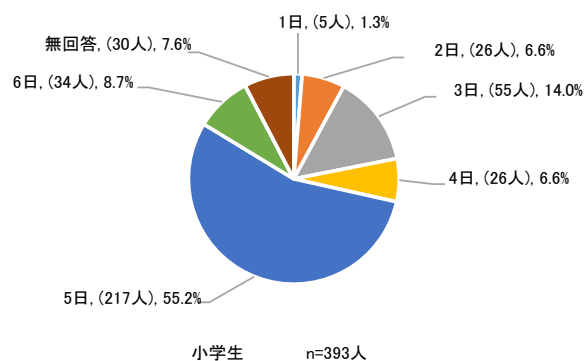
【就学前児童】

6 学童保育日数



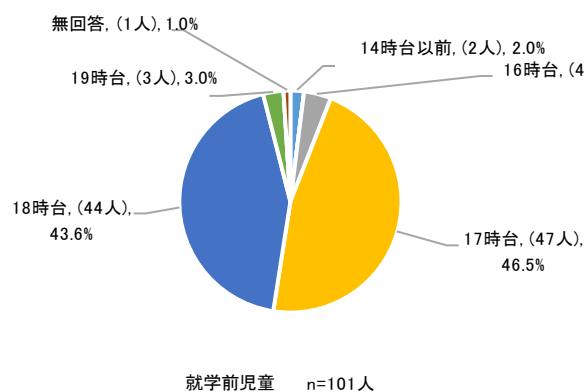
【小学生】

6 学童保育日数

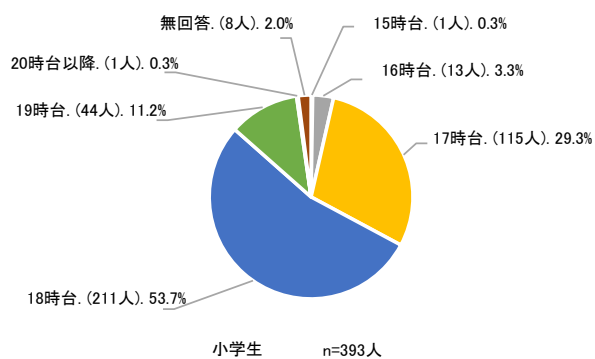


学童の利用時間

6 学童保育：終了時間

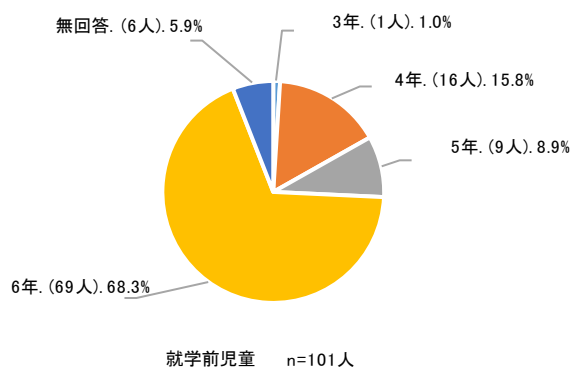


6 学童保育：終了時間

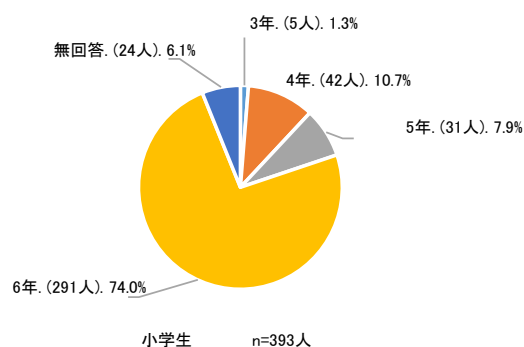


学童を利用したい学年

6 学童保育を利用したい学年

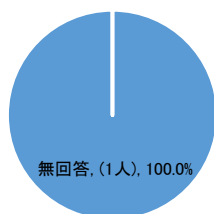


6 学童保育を利用したい学年



【就学前児童】

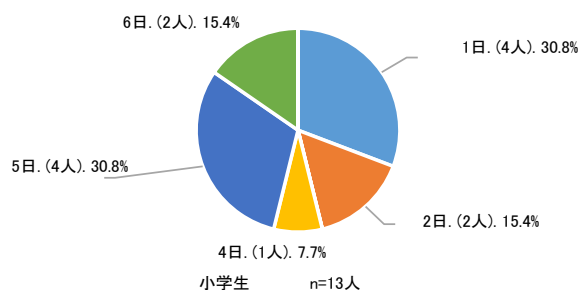
7 ファミリーサポートセンター日数



就学前児童 n=1人

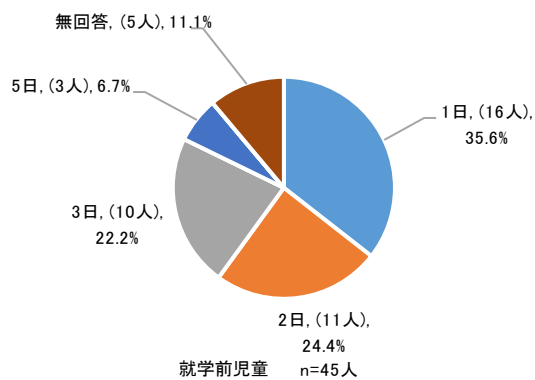
【小学生】

7 ファミリーサポートセンター日数



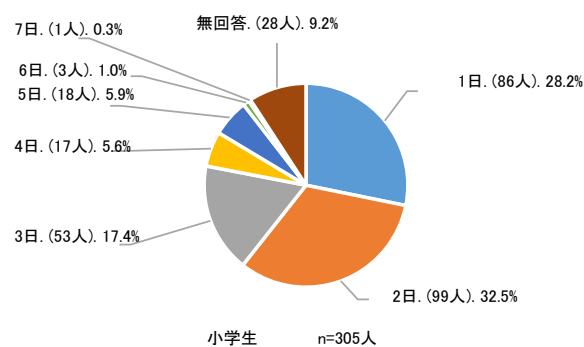
小学生 n=13人

8 その他日数



就学前児童 n=45人

8 その他日数

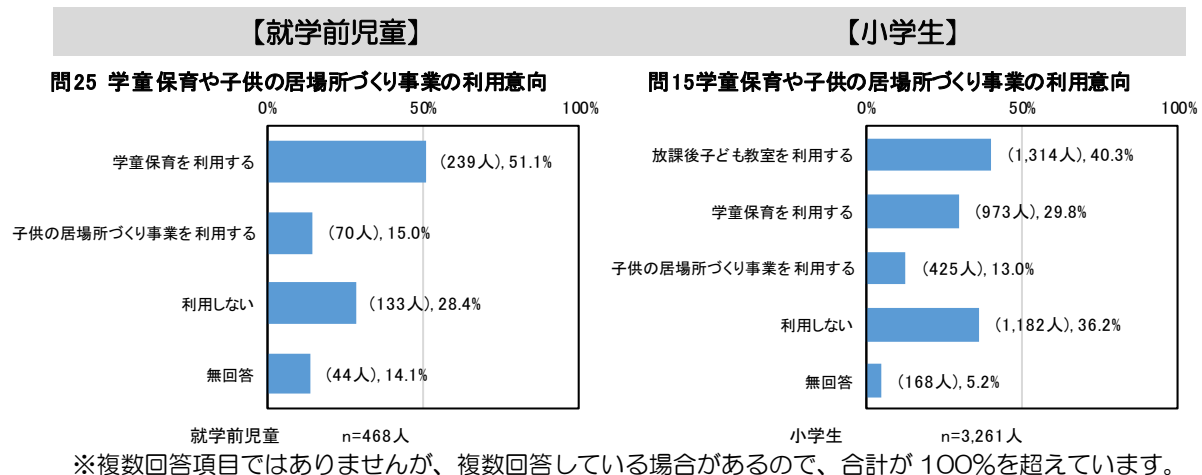


小学生 n=305人

2.9.3 学童保育や子供の居場所づくり事業の利用意向

お子様が5歳以上の方にかがいます。お子さんの学校に「学童保育」や「子供の居場所づくり事業」があれば利用しますか。

- 学童保育や子どもの居場所づくり事業の利用意向は、就学前児童では、「学童保育」が最も多くを占めていますが、小学生では、「放課後子ども教室」、「学童保育」の順に多くなっています。

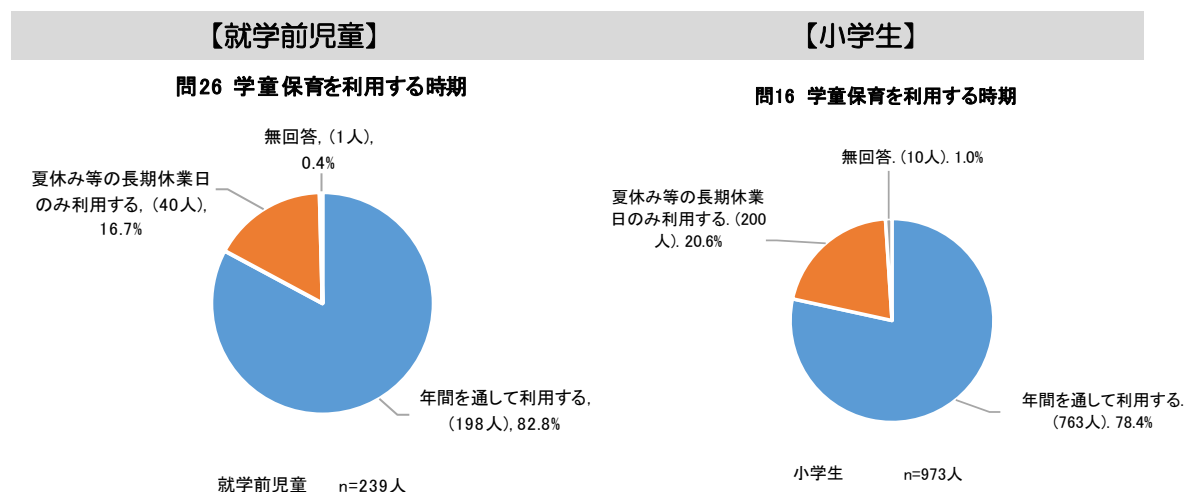


※複数回答項目ではありませんが、複数回答している場合があるので、合計が100%を超えています。

2.9.4 学童保育を利用する時期

学童保育や子供の居場所づくり事業の利用意向で、「学童保育を利用する」に○を付けた方にうかがいます。学童保育を利用する時期はいつですか。【当てはまる番号1つに○】

- 利用する時期は、年間を通して利用するが約8割となっており、長期休業中のみ利用する人は約2割となっています。



2.9.5 小学生における現在までの学童保育の利用状況

お子さんについて、学童保育を利用した事がありますか。【当てはまる番号 1 つに○】

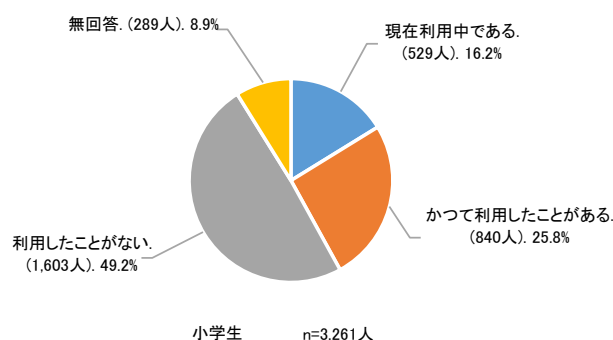
学童保育について、「現在利用中である」に○を付けた方にうかがいます。利用時間について、「平日の放課後」、「土曜日」、「長期休暇中」のそれぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用している時間帯をご記入ください。

利用状況：【当てはまる番号 1 つに○】 時間帯：【自由記入】

- 学童保育の利用状況として、「利用したことがない」が最も多くなっています。
- 利用状況としては、平日が 95.8%、土曜日が 19.1%、長期休暇中が 90.7%となっています。
- 利用時間は、平日が放課後から 17 時台、18 時台が最も多く、土曜日と長期休暇中の利用開始時刻は 8 時が最も多く、終了時刻は 17 時台、18 時台が多くなっています。

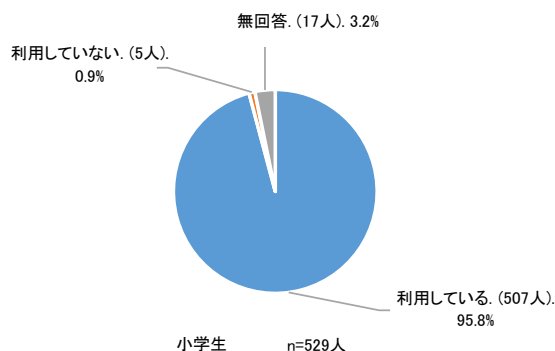
【小学生】

問17 学童保育の利用

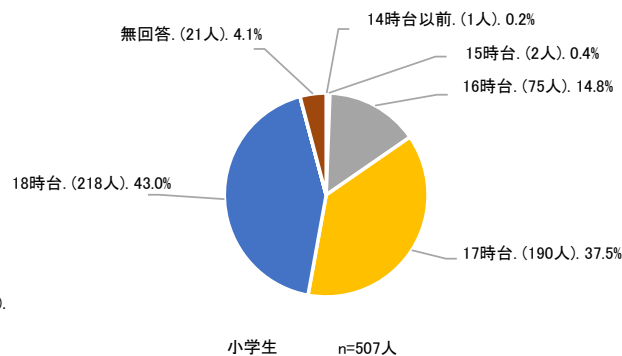


[平日の利用状況と利用時刻]

問18-1(1) 平日の放課後の利用

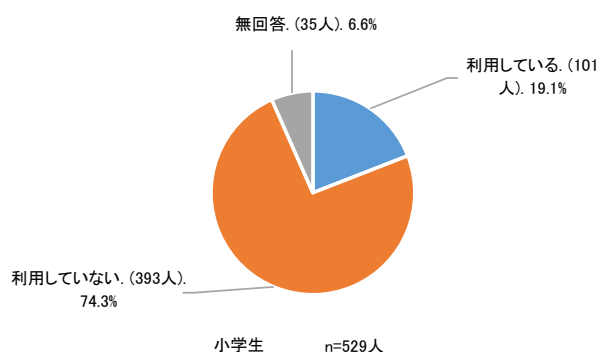


問18-1(1) 平日の放課後の利用時間帯:終了時刻

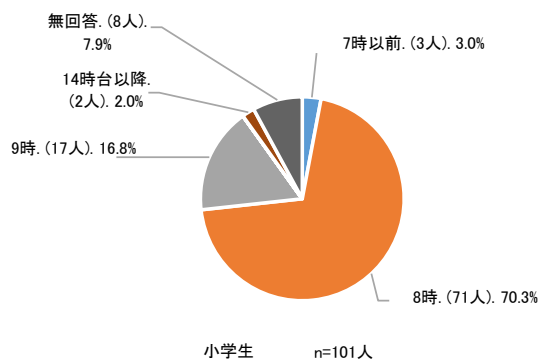


[土曜日の利用状況と利用時刻]

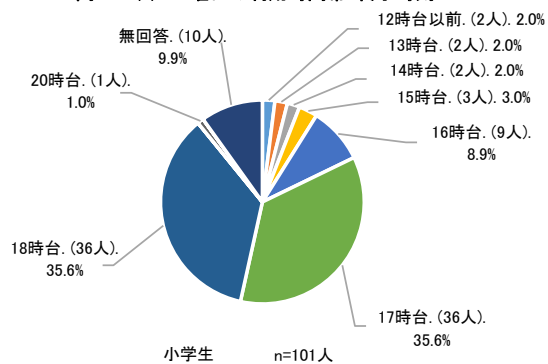
問18-1(2) 土曜日の利用



問18-1(2) 土曜日の利用時間帯:開始時刻

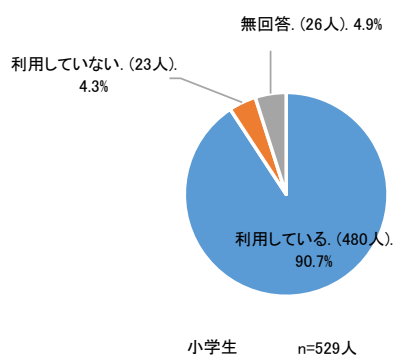


問18-1(2) 土曜日の利用時間帯:終了時刻

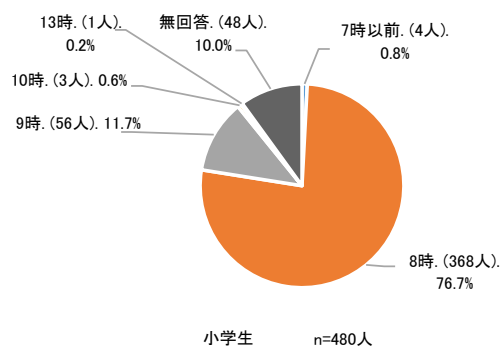


[長期休暇中の利用状況と利用時刻]

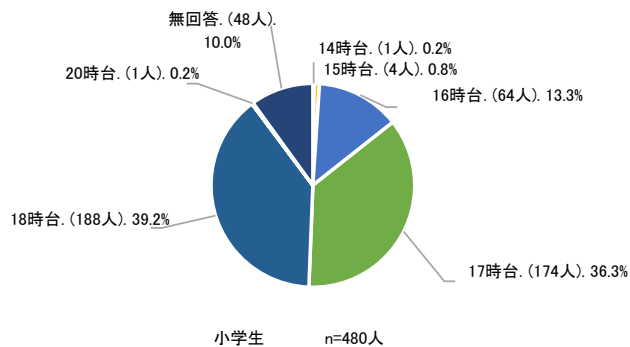
問18-1(3) 長期休暇中の利用



問18-1(3) 長期休暇中の利用時間帯:開始時刻



問18-1(3) 長期休暇中の利用時間帯:終了時刻



2.9.6 利用料金について

学童保育や子供の居場所づくり事業を利用する場合の利用料について当てはまる番号に○をつけてください。【当てはまる番号 1 つに○】

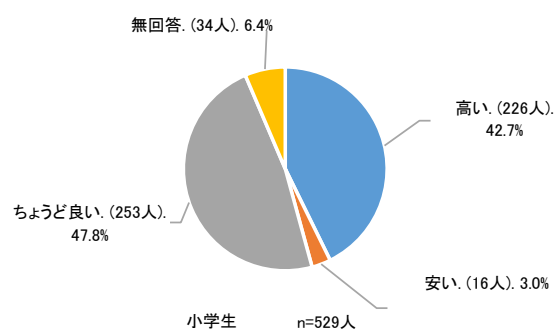
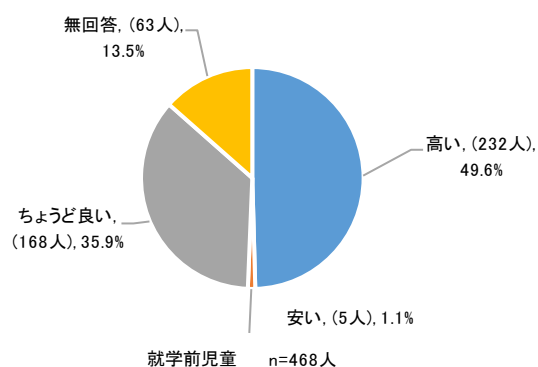
- 利用料金は、就学前児童では「高い」が最も多く、次いで「ちょうど良い」が多くなっており、小学生では、「ちょうど良い」と「高い」が同等の割合となっています。

【就学前児童】

【小学生】

問27 学童保育や子供の居場所づくり事業の利用料金

問19 学童保育の利用料金



2.9.7 小学生における学童保育の満足度

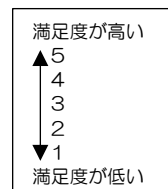
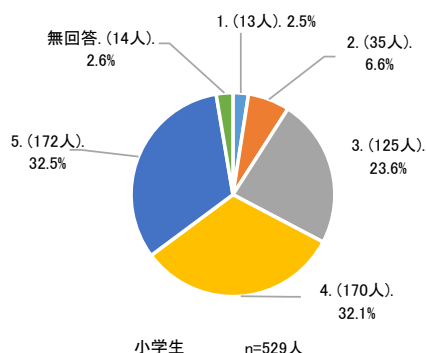
学童保育について、「現在利用中である」に○を付けた方にうかがいます。利用している学童保育の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

【当てはまる番号 1 つに○】

- 学童保育の満足度は、満足度 5 と満足度 4 が多くなっています。

【小学生】

問20 学童保育の満足度



2.9.8 学童保育の良い点と不満な点

学童保育について、「現在利用中である」に○を付けた方にうかがいます。利用している学童保育について良いと感じている点があれば該当するものに○をつけてください。

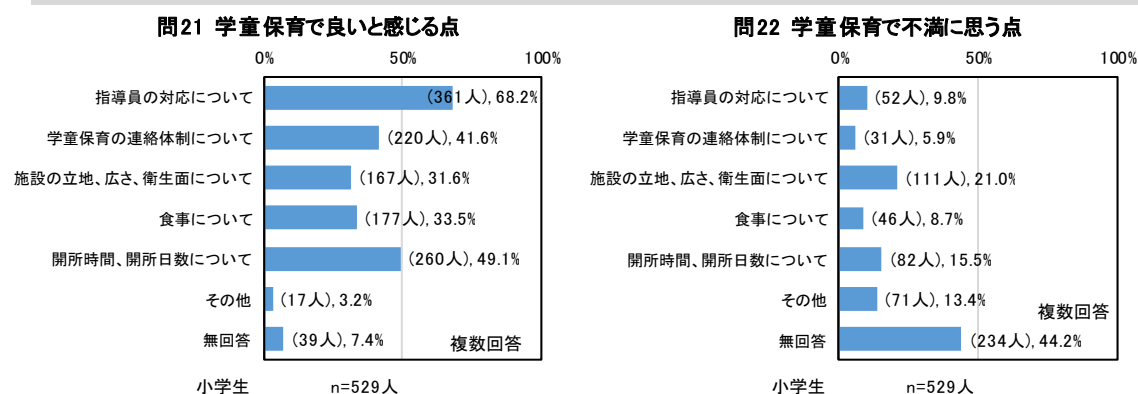
【当てはまる番号すべてに○】

学童保育について、「現在利用中である」に○を付けた方にうかがいます。利用している学童保育について不満に思う点があれば該当するものに○をつけてください。

【当てはまる番号すべてに○】

- 「指導員の対応について」や「開所時間、開所日数について」良いと感じると答えた割合が多くなっています。
- 施設の立地、広さ、衛生面について不満に思うと答えた割合が多くなっています。

【小学生】



2.9.9 学童保育をかつて利用していて、やめた理由

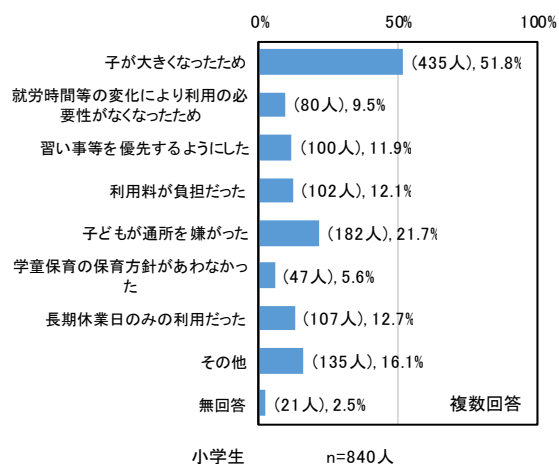
学童保育について、「かつて利用したことがある」に○を付けた方にうかがいます。利用をやめた理由について当てはまる番号に○をつけてください。

【当てはまる番号すべてに○】

- 学童保育をかつて利用していて、やめた理由は「子が大きくなったため」が最も多く、次いで「子どもが通所を嫌がった」が多くなっています。

【小学生】

問23 利用をやめた理由



2.9.10 学童保育を利用したことがない理由

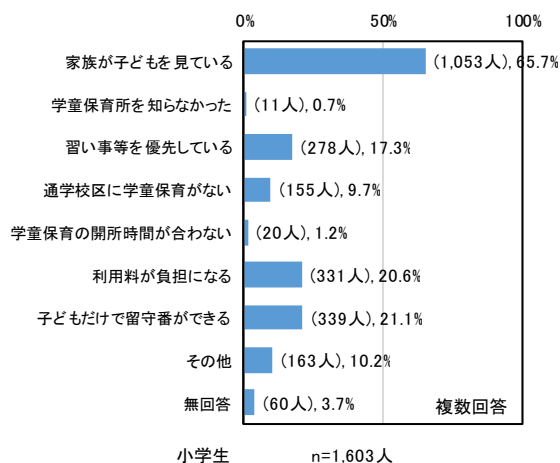
学童保育について、「利用したことがない」に○を付けた方にうかがいます。学童保育を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【当てはまる番号すべてに○】

- 学童保育を利用したことがない理由として、「家族が子どもを見ている」が最も多くなっています。

【小学生】

問24 学童保育を利用していない理由



2.9.11 今後の学童保育の利用希望

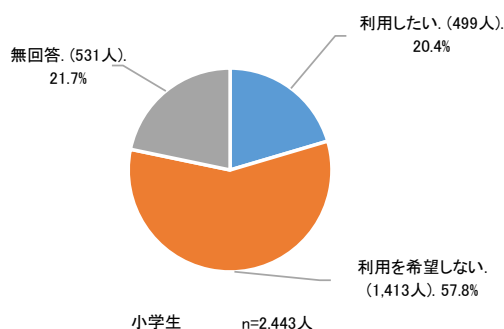
学童保育について、かつて利用したことがある、または「利用したことがない」に○を付けた方にうかがいます。今後、学童保育を利用したいとお考えですか。

【当てはまる番号 1 つに○】

- 今後の学童保育を利用したい人は 20.4%、利用を希望しない人は 57.8%となっています。

【小学生】

問25 今後の学童保育利用希望



2.9.12 学童保育の通年での利用希望

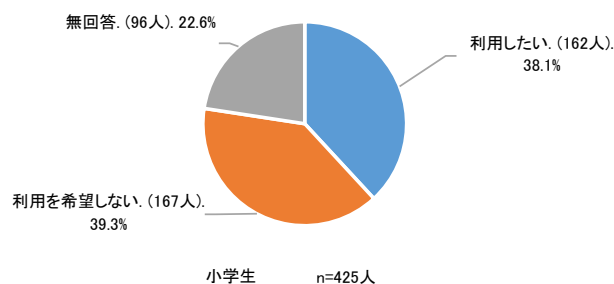
学童保育や子供の居場所づくり事業の利用意向で「子供の居場所づくり事業を利用する」を含む選択肢に○を付けた方にうかがいます。お住まいの小学校区に学童保育があれば通年で利用しますか。

【当てはまる番号 1 つに○】

- 学童保育を通年で利用したい人は 38.1%、利用を希望しないが 39.3%となっています。

【小学生】

問26 学童保育の通年利用希望



2.9.13 日曜日・祝日の学童保育の利用希望

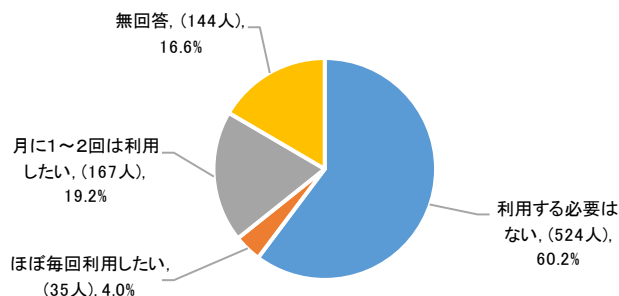
お子さんについて、もし学童保育が日曜日・祝日にも通所が可能となった場合、日曜日・祝日の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯もご記入ください。

利用意向：【当てはまる番号 1 つに○】 時間帯：【自由記入】

- 日曜日・祝日の学童保育は、「利用する必要がない」が最も多く、次いで、「月に1～2回は利用したい」が多くなっています。
- 利用したい開始時刻は、8時が最も多くなっており、終了時刻は、17時台、18時台が多くなっています。

【就学前児童】

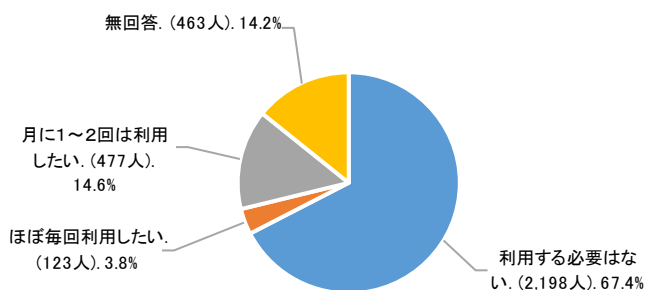
問28 日曜日・祝日の学童保育利用希望



就学前児童 n=870人

【小学生】

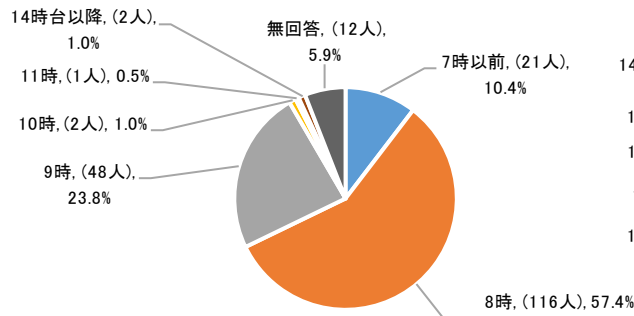
問27 日曜日・祝日の学童保育の利用希望



小学生 n=3,261人

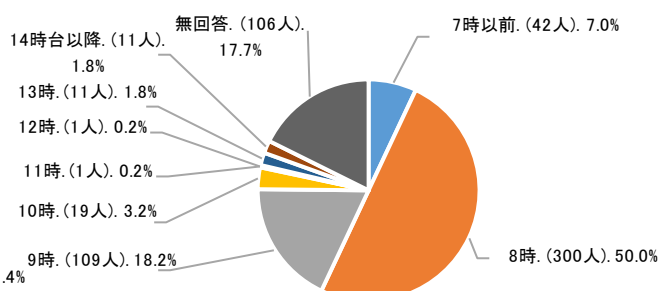
【利用時刻】

問28 日曜日・祝日に利用したい時間帯: 開始時刻



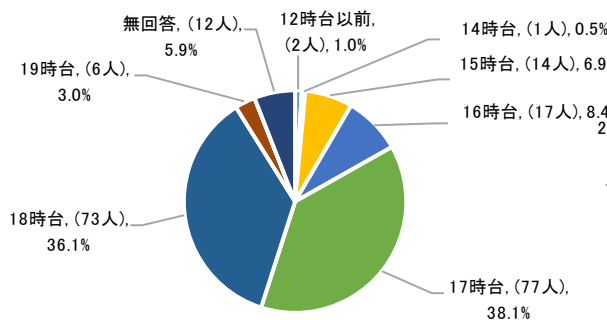
就学前児童 n=202人

問27 日曜日・祝日に利用したい時間帯: 開始時刻



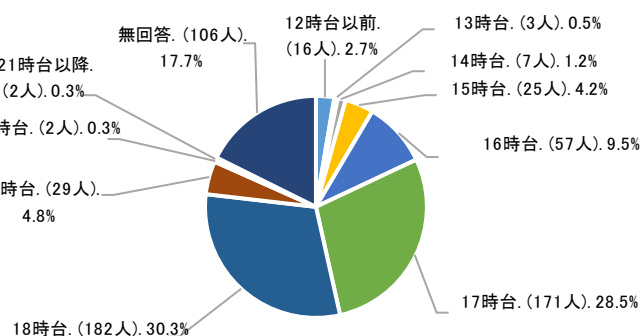
小学生 n=600人

問28 日曜日・祝日に利用したい時間帯: 終了時刻



就学前児童 n=202人

問27 日曜日・祝日に利用したい時間帯: 終了時刻



小学生 n=600人

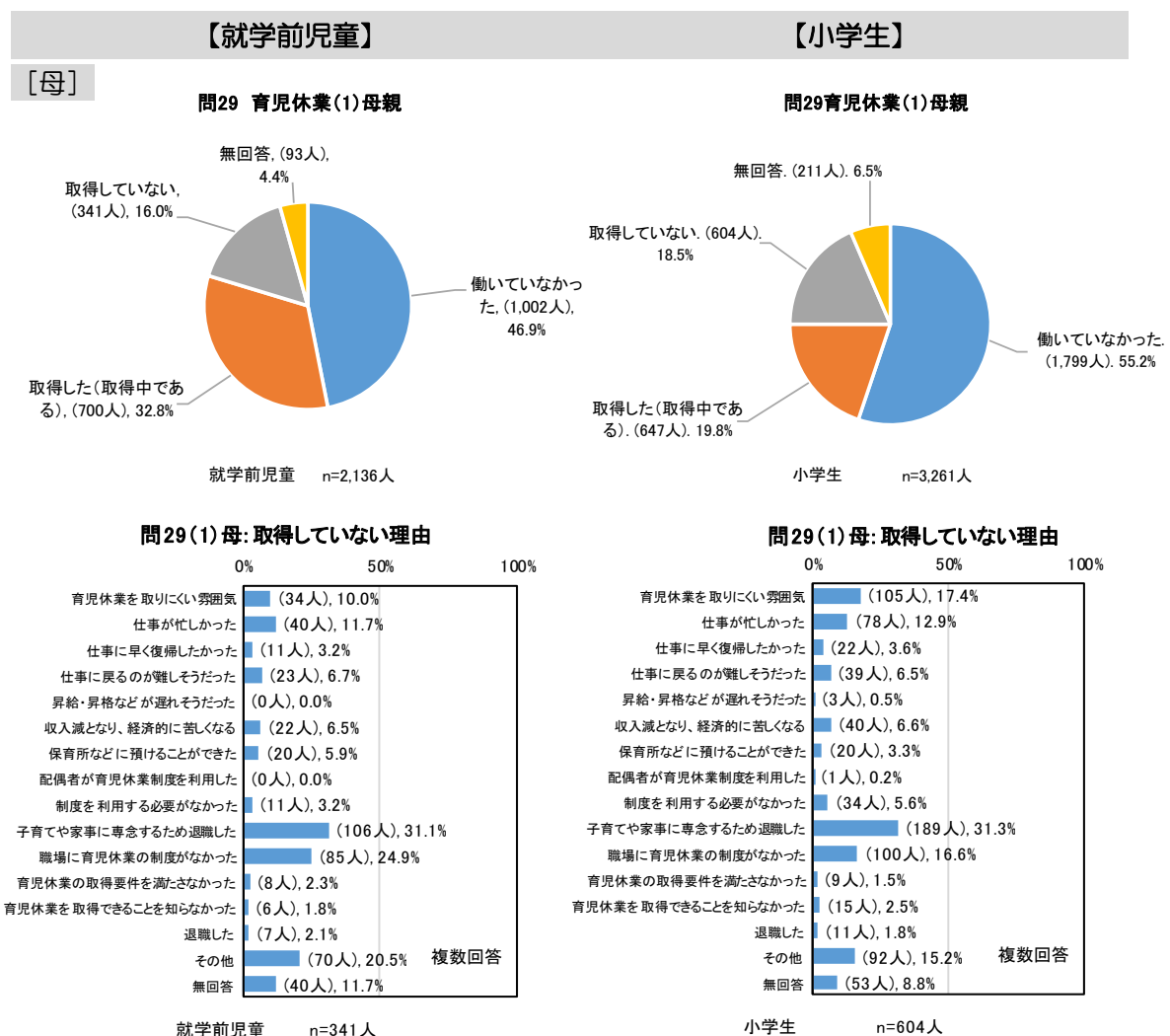
2.10 育児休業や短時間勤務制度などの利用

2.10.1 育児休業の取得状況

お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また「3. 取得していない」方はその理由をご記入ください。

取得状況：【当てはまる番号1つに○】 理由：【当てはまる番号全てに○】

- 就学前児童の母親で育児休業を取得した人は、32.8%、取得していない人は、16.0%となっており、小学生の母親で育児休業を取得した人は、19.8%、取得していない人は18.5%となっています。
- 育児休業を取得していない理由として、「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多く、次いで、就学前児童では、「職場に育児休業の制度がなかった」が多くなっており、小学生では、「育児休業を取りにくい雰囲気」も多くなっています。
- 父親では、就学前児童、小学生とも育児休業を取得していない理由として、「制度を利用する必要がなかった」が最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が多くなっています。

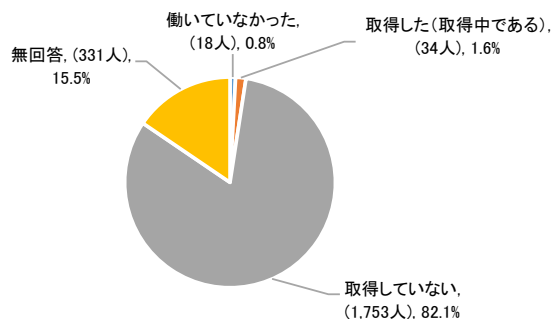


【就学前児童】

【小学生】

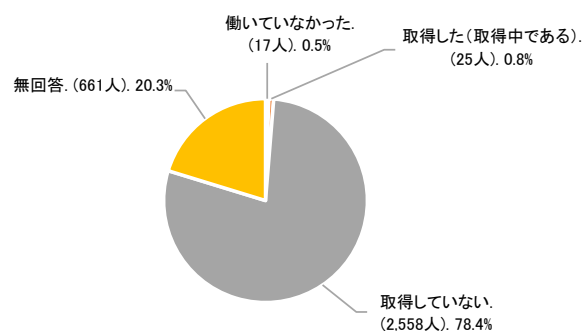
〔父〕

問29 育児休業(2)父親



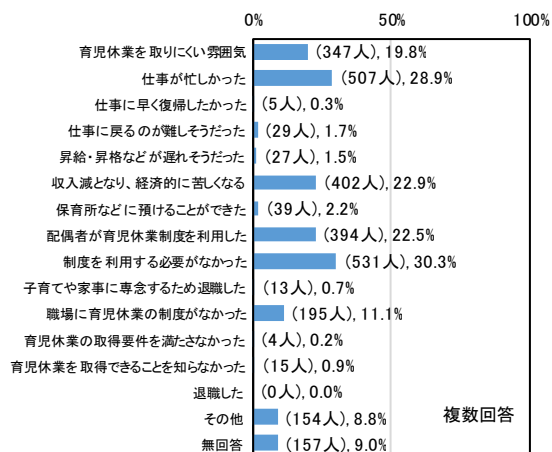
就学前児童 n=2,136人

問29 育児休業(2)父親



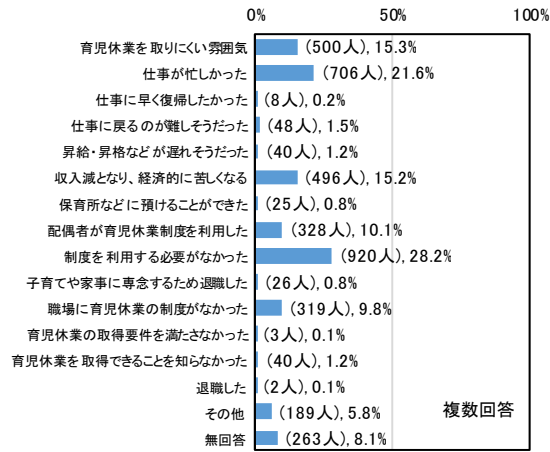
小学生 n=3,261人

問29(2) 父：取得していない理由



就学前児童 n=1,753人

問29(2) 父：取得していない理由



小学生 n=2,558人

2. 10. 2 育児休業給付・保険料免除制度

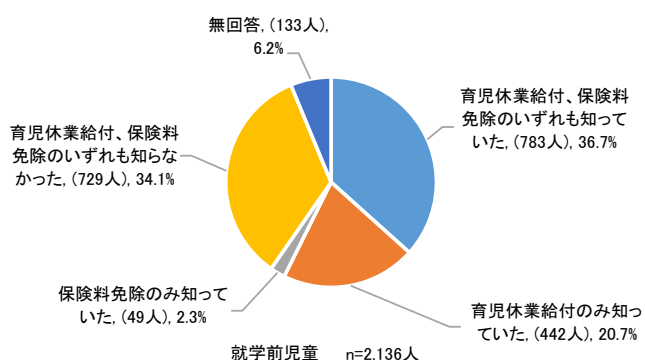
子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。【当てはまる番号1つに○】

- 就学前児童について、育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた、いずれも知らなかった人は同等の割合となっています。小学生では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が最も多くなっています。

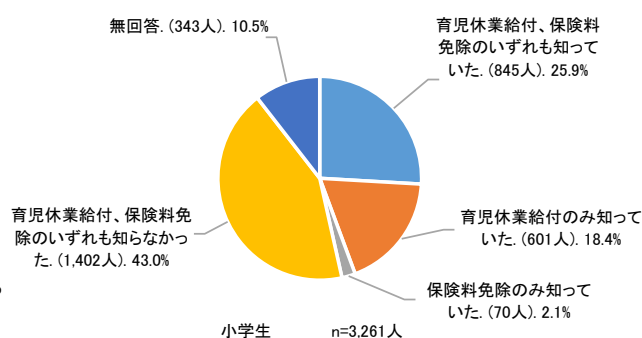
【就学前児童】

【小学生】

問29-1 育児休業給付・保険料免除を知っていたか



問29-1 育児休業給付・保険料免除を知っていたか



2. 10. 3 育児休業取得後の職場復帰

育児休業について、「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【当てはまる番号 1 つに○】

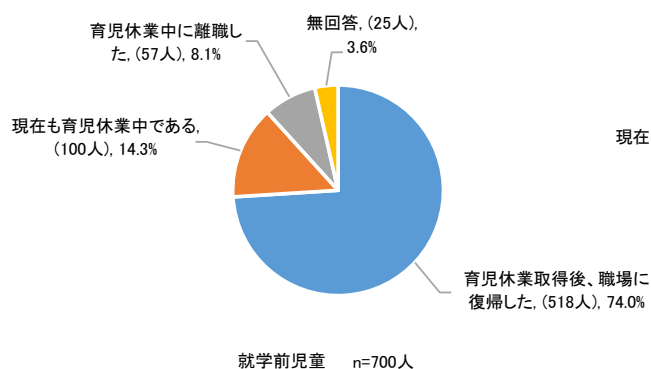
- 育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多くなっています。

【就学前児童】

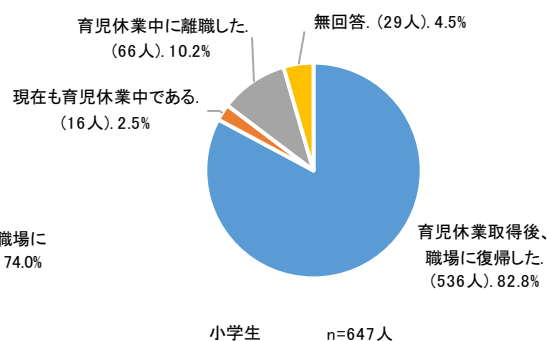
【小学生】

[母]

問29-2 職場復帰の有無(1)母

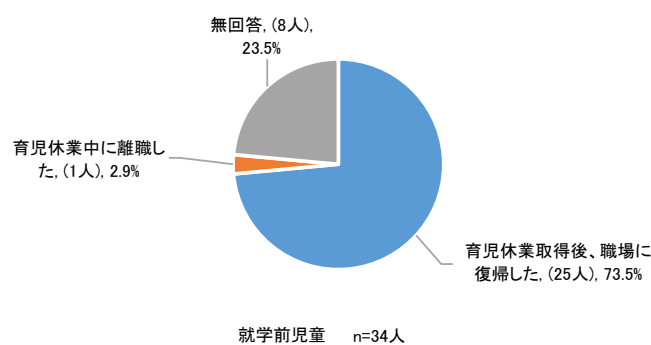


問29-2 職場復帰の有無(1)母

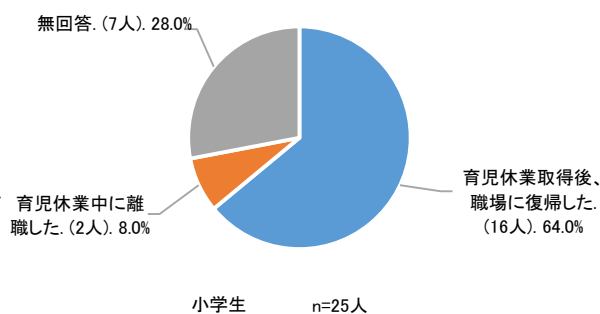


[父]

問29-2 職場復帰の有無(2)父



問29-2 職場復帰の有無(2)父



2. 10. 4 職場復帰のタイミング

育児休業を取得し、かつ「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【当てはまる番号 1 つに○】

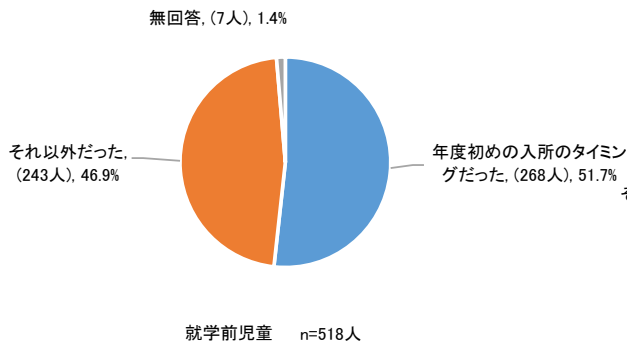
- 母親の職場復帰のタイミングは、「年度初めの入所のタイミングだった」と答えた人と、「それ以外だった」答えた人が同等の割合となっています。
- 父親の職場復帰のタイミングは、「それ以外だった」答えた人が多くなっています。

【就学前児童】

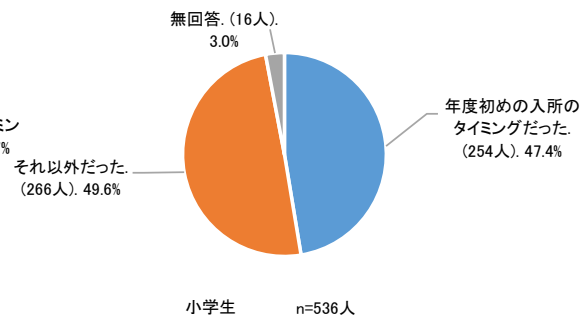
【小学生】

[母]

問29-3 職場復帰タイミング(1)母

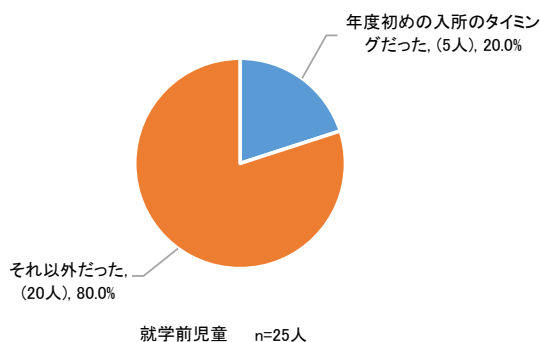


問29-3 職場復帰タイミング(1)母

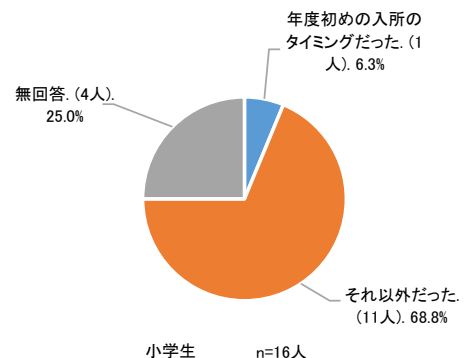


[父]

問29-3 職場復帰タイミング(2)父



問29-3 職場復帰タイミング(2)父



2.10.5 育児休業取得期間：母

育児休業を取得し、かつ「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【自由記入】

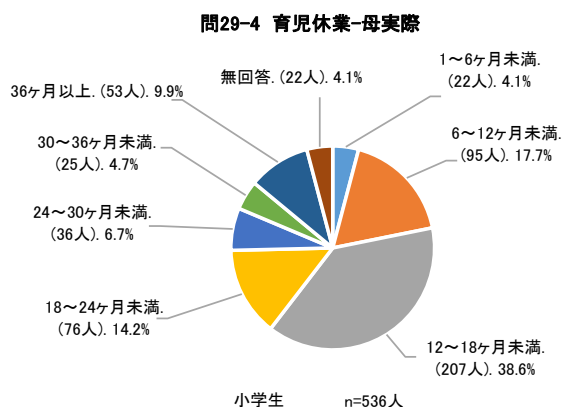
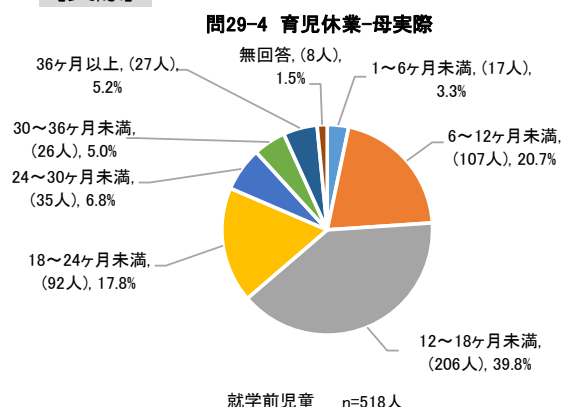
育児休業を取得し、かつ「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。【自由記入】

- 実際の育児休業取得期間は、12～18 か月未満が最も多く、次いで、6～12 か月未満と 18～24 か月未満が同等の割合となっています。
- 希望の育児休業取得期間は、実際の取得期間と比較して 12～18 か月未満の割合が減少し、24 か月～36 か月以上の割合が多くなっています。
- 3歳まで育児休業を取得できる場合の希望としては、36か月以上が最も多くなっています。

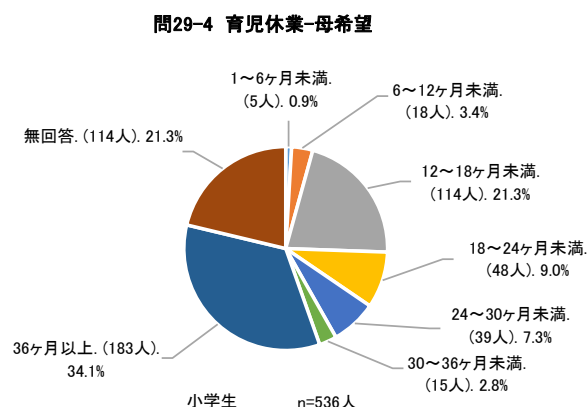
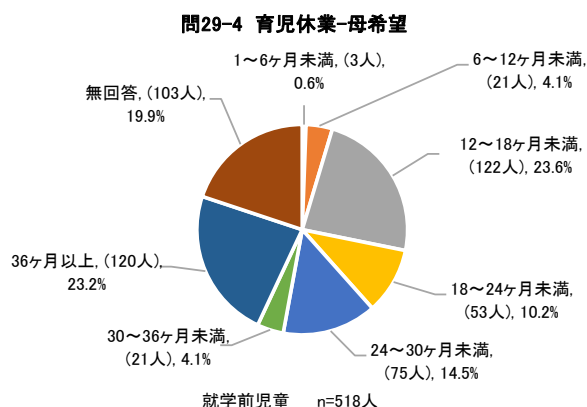
【就学前児童】

【小学生】

【実際】



【希望】

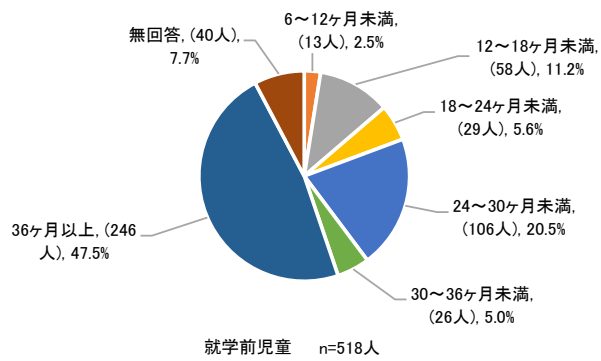


【就学前児童】

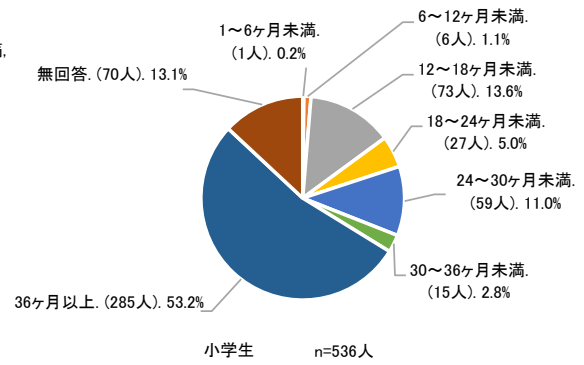
【小学生】

[3歳まで育児休業を取得できる場合の希望]

問29-5 3歳までの希望-母



問29-5 3歳までの希望-母



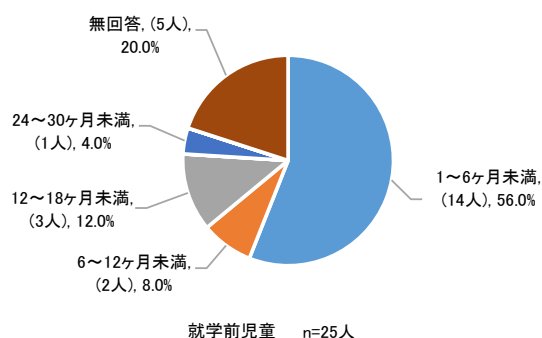
2. 10. 6 育児休業取得期間：父

- 実際の育児休業取得期間は、1～6 か月未満が最も多く、次いで、就学前児童では 12～18 か月未満、小学生では 24～30 か月未満も多くなっています。
- 希望の育児休業取得期間は、実際の取得期間と比較して、1～6 か月未満が少なくなり、36 か月以上が多くなっています。
- 3歳まで育児休業を取得できる場合の希望としては、36 か月以上が最も多くなっています。

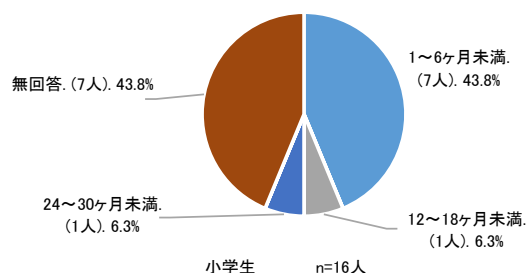
【就学前児童】	【小学生】
---------	-------

[実際]

問29-4 育児休業-父実際

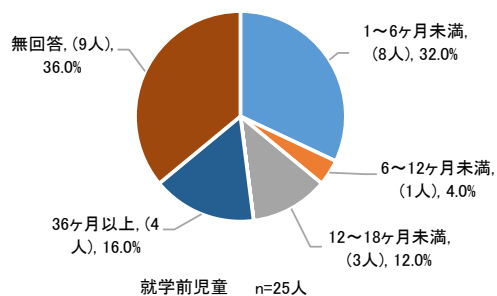


問29-4 育児休業-父実際

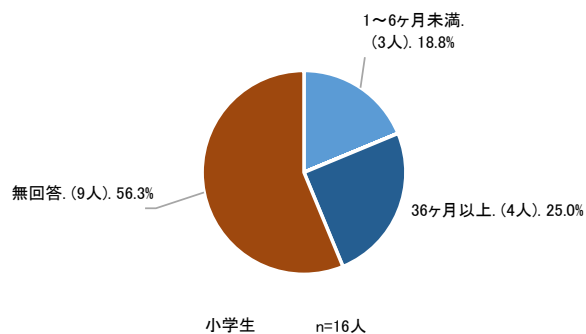


[希望]

問29-4 育児休業-父希望

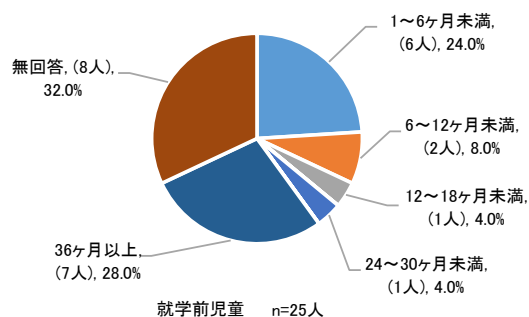


問29-4 育児休業-父希望

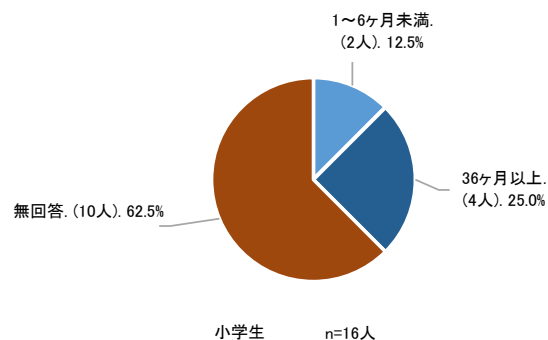


[3歳まで育児休業を取得できる場合の希望]

問29-5 3歳までの希望-父



問29-5 3歳までの希望-父



2. 10. 7 育児休業の取得期間が希望と異なる理由：母

育児休業取得期間の実際と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。【当てはまる番号 1 つに○】

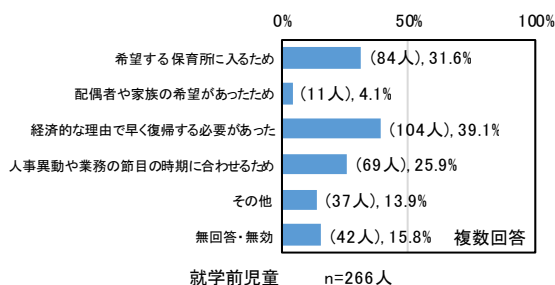
- 希望より早く復帰した理由として、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が最も多くなっています。
- 希望より遅く復帰した理由として、「希望する保育所に入れなかったため」が最も多くなっています。

【就学前児童】

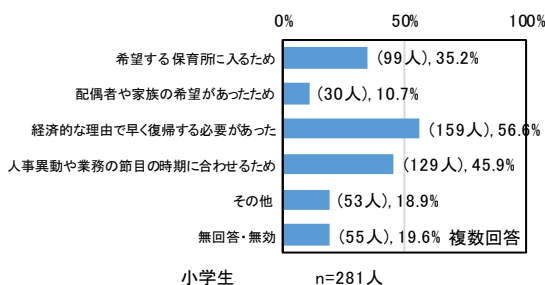
【小学生】

[希望より早く復帰した理由]

問29-8① 希望より早く復帰した理由(1)母

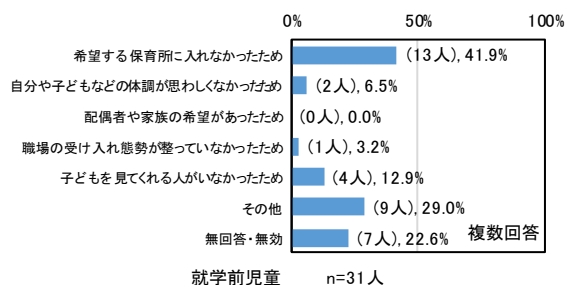


問29-8① 希望より早く復帰した理由(1)母

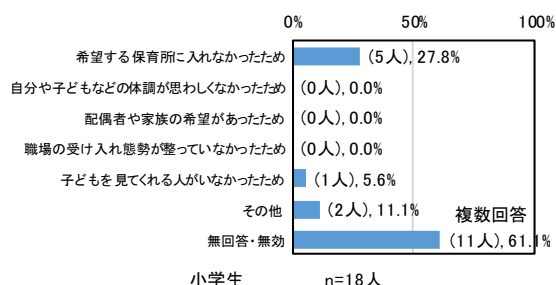


[希望より遅く復帰した理由]

問29-8② 希望より遅く復帰した理由(1)母



問29-8② 希望より遅く復帰した理由(1)母



2.10.8 育児休業の取得期間が希望と異なる理由：父

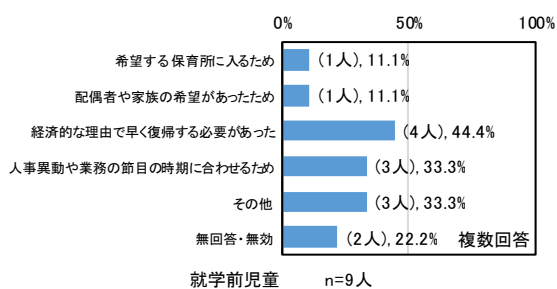
- 希望より早く復帰した理由として、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が最も多くなっています。次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が多くなっています。

【就学前児童】

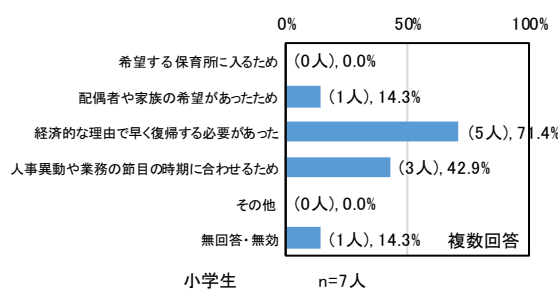
【小学生】

[希望より早く復帰した理由]

問29-8① 希望より早く復帰した理由(2) 父

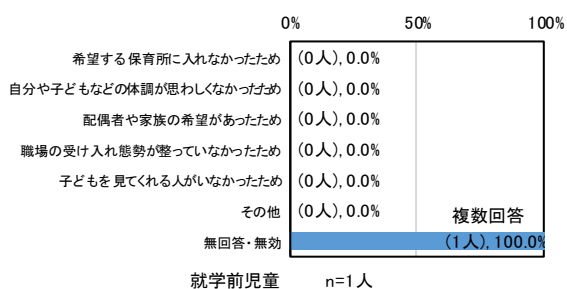


問29-8① 希望より早く復帰した理由(2) 父



[希望より遅く復帰した理由]

問29-8② 希望より遅く復帰した理由(2) 父



2. 10. 9 短時間勤務制度の利用

育児休業を取得し、かつ「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

【当てはまる番号 1 つに○】

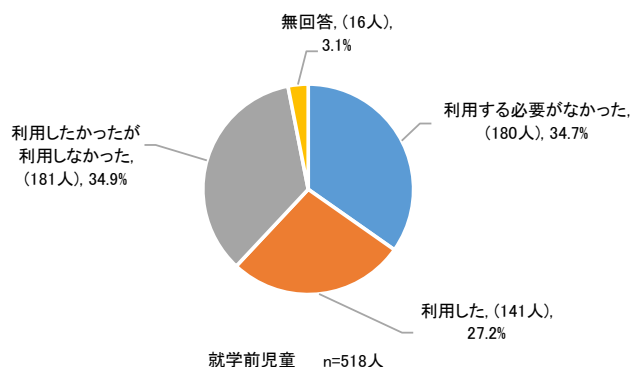
- 母親が短時間勤務制度を利用した人は就学前児童で 27.2%、小学生で 17.9%となっており、利用しなかったが利用しなかった人は就学前児童で 34.9%、小学生で 46.3%となっています。
- 父親が短時間勤務制度を利用した人は就学前児童で 16.0%、小学生で 12.5%となっており、利用しなかったが利用しなかった人は就学前児童で 16.0%、小学生で 12.5%となっています。

【就学前児童】

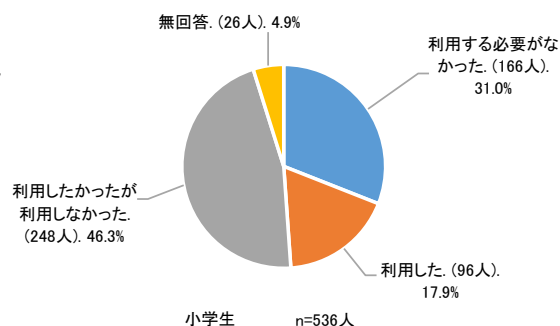
【小学生】

〔母〕

問29-6(1) 母：短時間勤務制度を利用したか

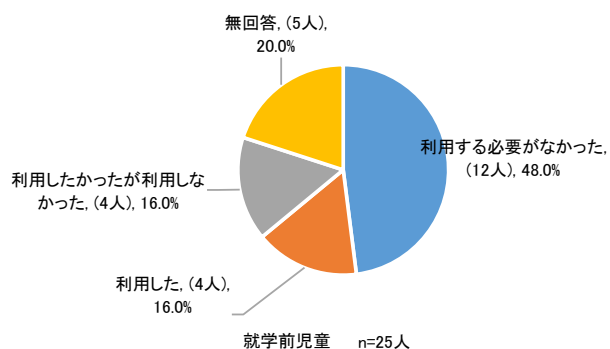


問29-6(1) 母：短時間勤務制度を利用したか

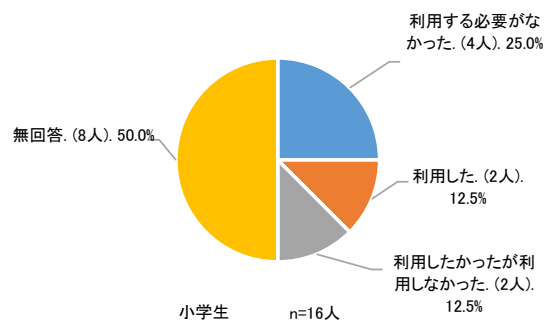


〔父〕

問29-6(2) 父：短時間勤務制度を利用したか



問29-6(2) 父：短時間勤務制度を利用したか



2.10.10 1歳まで育児休業をとるか

育児休業を取得し、かつ「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが1歳になるまでに必ず利用できる事業があっても、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があれば1歳になる前に復帰しますか。

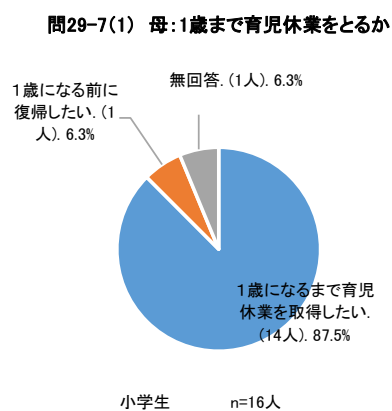
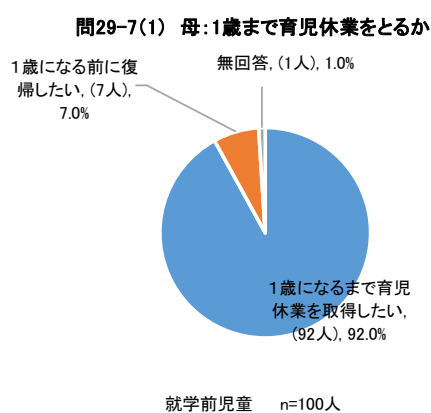
【当てはまる番号 1 つに○】

- 「1歳になるまで育児休業を取得したい」と答えた人は、約9割となっています。

【就学前児童】

【小学生】

〔母〕



2. 10. 11 短時間勤務制度を利用しなかった理由

育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。【当てはまる番号すべてに○】

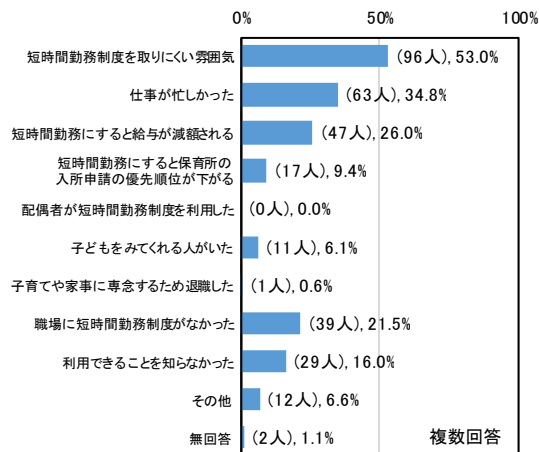
- 母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由として、「短時間勤務制度を取りにくい雰囲気」が最も多くなっています。
- 父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由として、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「子どもをみてくれる人がいた」、「短時間勤務制度を取りにくい雰囲気」、「仕事が忙しかった」があります。

【就学前児童】

【小学生】

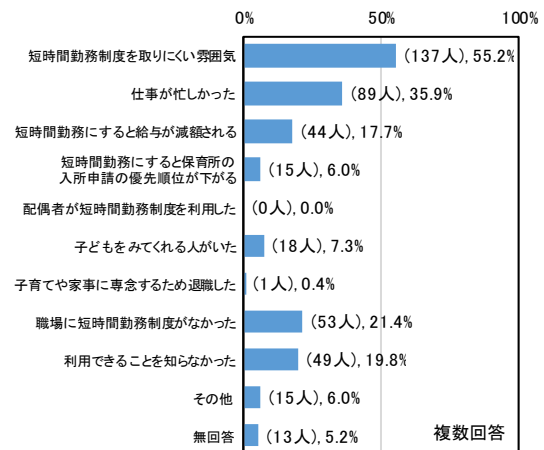
〔母〕

問29-9 短時間勤務制度を利用しなかった理由(1)母



就学前児童 n=181人

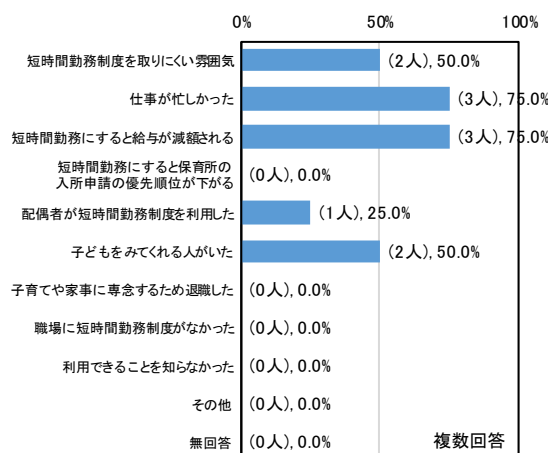
問29-9 短時間勤務制度を利用しなかった理由(1)母



小学生 n=248人

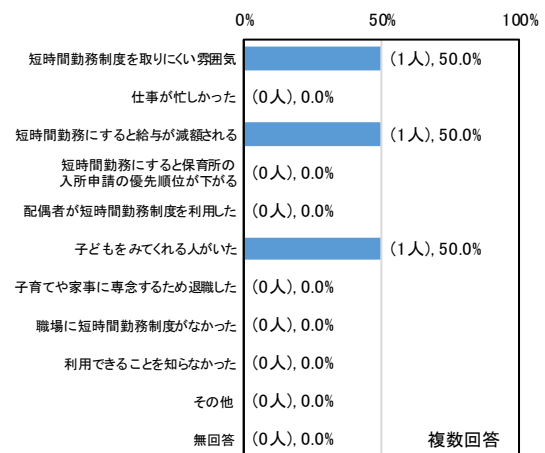
〔父〕

問29-9 短時間勤務制度を利用しなかった理由(2)父



就学前児童 n=4人

問29-9 短時間勤務制度を利用しなかった理由(2)父

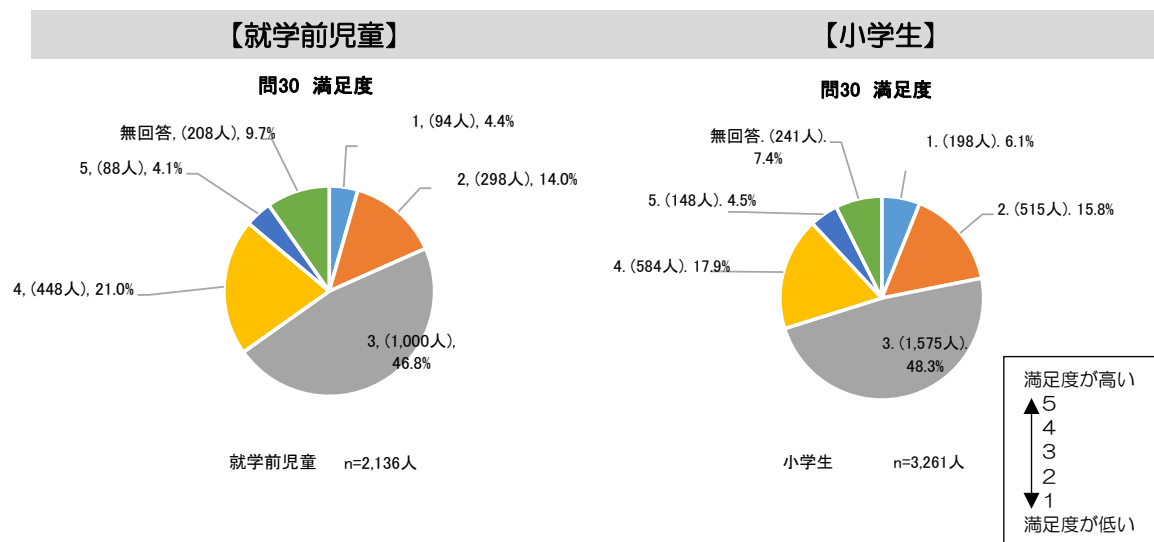


小学生 n=2人

2.10.12 子育て環境や支援への満足度

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に 1 つに○をつけてください。【当てはまる番号 1 つに○】

- 子育て環境や支援の満足度をみると、満足度3が最も多く5割程度となっています。次いで満足度4が多くなっています。



2.11 自由意見

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。【自由記入】

【就学前児童】

◆学童保育

内容	件数
学童保育を4年生以降も受け入れてほしい	31
もっと学童保育を使いやすくしてほしい	14
自分のところにも学童保育を導入してほしい	9
長期休暇時に見てもらえる制度が少なく、学童保育を長期休暇時にも使えるようにしてほしい	8
就学前より就学後の方が不安	5
学童保育の料金が高い	4
警報等が発令された時が心配	2
子どもを預けられる場所（人）があれば安心して働けると思う	2
農繁期に学童、または放課後子ども教室があると助かる	1
防犯対策が心配	1
スタッフの人員が充分で1年生への配慮があり、子どもたちの雰囲気の良い場所が小学校の授業が終わってから利用できるような場所があればいい	1

◆遊び場・公園・居場所

内容	件数
室内で子どもがいられる施設が少ない	38
子どもが遊べる場所が少ない	28
公園や施設など、街の環境整備が足りていない	20
児童館が少ない	10
他市町と比較して施設・サービスが整っていない	4
気軽に同じ状況の人と話し合える場をつくってもらえるとありがたい	4
休みの日に行ける施設がない	4
放課後子ども教室を拡充してほしい	4
児童館でもっとイベントをやってほしい	2
以前住んでいたところと比べて施設が無料だったりして助かっている	1
飲食店で子連れでも気軽に行ける対応をしてくれる店が増えてほしい	1
科学館や水族館といった学習施設等が充実しないものか	1
交流の場の情報がない	1

児童館や放課後子ども教室が各校区があればいい	1
放課後に集まれる場所がほしい	1
気軽に未就園児が遊びに行ける保育園、施設が少なすぎる	1
小学校に制服を希望	1
きっぷは高すぎる	1
市民プールがほしい	1
上富田のはるかぜには田辺の人が多く来ているのは田辺市では行くところがないから	1
上富田町と協力すべきである	1

◆医療・病児保育

内容	件数
病児病後児保育の施設を増やしてほしい	28
任意の予防接種（インフルエンザなど）の助成をお願いしたい	9
病児病後児保育を利用しやすくしてほしい	7
医療費を高校卒業まで無料にしてほしい	5
検診の時間帯が固定だったのが不満である	3
中学まで医療費無料になって助かっている	2
病児病後児保育は助かっている	2
緊急時に使いやすい施設がほしい	2
中学生卒業まで医療費を無料にしてほしい	1
他市町と比較して費用が高い	1
0歳児保育はありがたい	1
30分以内に行けるとところに病院があると安心	1
子ども医療を充実してほしい	1
働いていない母親もサポートしてもらえようをお願いしたい	1

◆教育・学習

内容	件数
保育所の入所要件・タイミングをもっと柔軟にほしい	11
保育料が高すぎる	9
幼稚園でもっと長く預かってもらえるようにならないか	5
保育料や給食費を無料化してほしい	5
市立幼稚園も3年保育にほしい	5
保育所の時間をもう少し延ばせないか	3

保育所でも勉強等の時間を作れないか	3
都市部に比べて田辺では父親の育児参加に嫌悪感がみられる、もっと男性の子育てへの参画を	3
園毎で時間や曜日をバラバラにせず統一してほしい	3
他市町と比較して費用が高い	3
保育所で習い事ができるようにしてほしい	2
幼稚園、保育園の情報や送迎バスについての情報がほしい	2
産後、上の子たちが保育所に通えない間の対応が不安	2
今後の小中学校の統廃合が気になる	2
災害時の危機管理の面から考えると施設に入所させられない	2
2年保育では幼稚園に入れる気になれない、3年にできないか	2
地域の学力が心配	2
地域、風土に合った教育をお願いしたい	1
市の保育所のおむつ持ち帰りが、保管場所と衛生上、心配	1
学校の設備や備品にも手を入れてほしい	1
幼稚園の入所要件・タイミングをもっと柔軟にしてほしい	1
幼稚園児の減少が気になる	1
保育料について平日延長料金があるように土曜日は別途料金にしてもいいのでは	1
もっと保育所を使いやすくしてほしい	1
もっと保育士さんなどの職員を増やしていろいろな預け方ができるようにすれば、働き方の幅が増えるのではないかな	1
民生委員についての情報がほしい、誰に聞けばいいのかすらわからない	1
もう少し協力的な施設などが多くてもいいように思う	1
本宮小学校では先生方がきちんとみてくださっているのがありがたい	1
短期保育にもっと融通がきけばいい	1
認定こども園が増えてほしい	1
先生の人数を増やして先生1人当たりの担当人数を減らしてほしい	1
家族の目は時間的に行き届かないので、大勢の大人がかかわることで人格形成に資するようにしたい	1
せっかくスクールカウンセラーに相談しても程度の低い対応だった、もっと質を向上してほしい	1
保育料は収入によらず一定にしてほしい	1
全ての保育所に送迎バスの使用を求める	1
できるならピアノや水泳など教えてくれる市の支援があればうれしい	1

保険料が高すぎる	1
支援は状況にかかわらず一律にしてもらいたい	1
子どもの発達が気になっても対応してもらえていない	1
保育園でおかし、おやつ、ジュース等が多いのが気になる	1
子ども一人一人に合わせた対応が必要	1
アレルギー除去食を作ってくれる園は本当にありがたい	1
アレルギーの対応をもっと考えてほしい	1
いい先生にみてもらえてありがたい	1
英語教育をもっと早くしてもらいたい	1
インフルエンザで1週間休んでも月額を満額徴収された、他県なら日払いになったのに	1
親と教育者の連携を密にする	1
長期休暇時にみてもらえる制度が少ない	1
学校の先生や事業の質が低く、とても安心できない	1
学校やサービスに無理やり時間を合わせている状態である	1
学校を選べるようにしてほしい	1
保育所の保育内容を充実させてほしい	1
市内に大学を作って田辺の子らに地元の特産品について学んでももらいたい	1
育成会費等にお金がかかる	1
県外から地元に戻ってきたが、「自然派」や「エセ科学」を信じて予防接種をないがしろにする人がいる、正しい知識を示さないと草の根で迷信が広まっている	1
公立と私立で送迎バスの有無や保育年数（2年保育と4年保育）に差があるが、授業料はさほど変わらないので私立を選ぶのも多いだろう、このままでは公立がなくなってしまうのでは	1
必要な人が制度を受けられず、そこまで必要でなさそうな人が受けられているように見える	1

◆保育環境

内容	件数
土日も預かってもらえる場所がほしい	26
緊急時に使いやすい施設がほしい	5
利用料がかかるので利用する気にならない	3
事業所内での預かりの方が安心できるのではないか	3
病院で診察を待っている間、預けられる方法があればいい	3

保育園の経営体制に不安がある	3
働きに出られるように支援するより、より長く子どもと接していただけるようにする方が重要なのではないか	2
地域の方々が子どもたちとかかわってくださることがありがたい	2
保育所でも一時預かりを実施してほしい	2
資格がなくても子どもをみられるようにならないか	2
365日24時間対応の施設がほしい	2
障がいのある子への対応をもっと充実させてほしい	2
各地域に保育施設などを設け、自宅から近い園児を優先的に受け持つようにすれば母親も働きやすいのでは	1
保育園との連絡に不安がある	1
会社勤め以外の人に対する内容にはみえない	1
もっと長時間預かってもらえないか	1
短時間勤務制度を利用していても保育所に行けるようにしてほしい	1
使いやすいサービスがあれば利用したい	1
今ある施設をもっと使いやすくしてほしい	1
利用料が高い	1
働く女性のすることが多すぎる	1
通っている園は警報等発令されても見ていただけるので助かっている	1
働いている保育士さんに対して対価と評価をきっちりと	1
昼寝をなくしてほしい、夜の睡眠に支障が出てきている	1
昼から子どもを遊ばせられる施設はないのか	1
保育園でおかし、おやつ、ジュース等が多いのが気になる	1
他人に預けるといざという時に不安	1
いろんな支援や環境がだんだん良くなってきていると思う	1
気兼ねなく子供が産めるような手厚い支援体制をお願いしたい	1
長期休暇時にみてもらえる制度が少ない	1
知らない人、場所をお願いするのは不安	1
託児所を増やしてほしい	1

◆行政・サービス

内容	件数
知らないサービスが多い、もっと周知の努力をしてほしい	20
手当の金額や補助の対象をもっと柔軟に対応してほしい	16
通学路や街灯の整備が必要	12

気軽に相談できる場所があるといい	5
かかわった人たちは親切で、ずいぶん助けていただいた、ありがとうございます	4
ひとり親に対する支援が少ない	4
サービスに地域差があり、平等になっていない	4
事業にかかわる人の質に問題がある	4
サービスがあっても遠かったり時間が合わなかったりで使いづらく、利用が難しい	3
支援が不足している、もっと子育て事業に力を注いでほしい	3
行われているサービスについてもっと知りたい	3
検診の時など子どもにかかわる作業に従事している人の対応で、暴言を吐かれたり不安になる対応があった	3
高校以降の学費などの補助なども検討してほしい	3
5歳児検診はアンケートだけでなく、それまでの検診のように行ってもらいたい	2
各種サービスの利用料無料化をお願いしたい	2
単身世帯の方が手厚いように感じる	2
不安なときに相談に乗ってくれる行政であってほしい	2
ベビーカーやチャイルドシートのレンタル制度	2
扶養手当、病児保育システム（助成）はすごく助かっている	1
子ども手当を減らしてでも医療費や給食費を安くするべき	1
母親は子育てで不安なのだからもっと積極的に支援を	1
子育てに関する課の職員の対応の態度が悪い	1
連絡するといっておきながら全く連絡がなく、市の事業を信用できない	1
もっと現状を知ったうえで抜けがないように支援してほしい	1
物事の選択肢が少ない	1
もう少し田辺市内全域で授乳室やベビーベッドなど増やしてほしい	1
保育料の無料化はいつになるのか	1
市役所より先に保育所、幼稚園の、耐震化、高台移転を	1
事業の紹介については別紙にしておいてくれれば残せたので、今後ご検討いただけないか	1
子どもの少ない地域では子どもがいる世帯や若い世帯に追加で補助をしてはどうか	1
育休はおろか有休ですら使えない田辺でこのようなアンケートを回答させられて不満、どうか行動して現状を変えて見せてほしい	1

一般的な理想像に近づけるだけでなく、その過程の色々な人に合わせた対応ができるようになるといい	1
--	---

◆勤務環境

内容	件数
育休、時短勤務のできる働き方がしやすくなるようになってほしい	3
子どもが小学校に入るくらいまで時短勤務できるとうれしい、もしくはそれに準ずる対応を企業がするようにしてほしい	3
働きたくても働けない	2
企業にもっと制度を周知徹底させて、子育てしながら働ける雰囲気を作してほしい	2
金銭的な問題で仕事をせざるをえない人が多いので、手厚い補助を行えば子どもをつくるのをためらう人が減ると思う	2
毎月高額な保育料を支払っているため産後すぐ正社員に復帰した	1
父親が当たり前に育休がとれるようになってほしい	1
教育のレベルが上がっており家庭での負担が大きくなっている	1
土日働かないと雇ってもらえない	1
早期復帰を考えているが、未満児の保育料は高額なため、預けることをためらう	1
すべての職場で2年育休が取れて手当ももらえる制度になればいいと思う	1
保育園への入所や空きの確認が復帰直前にしかできないのは不満	1
一度仕事を辞めてしまったら中々再度就職しづらい	1
親が休憩できる環境も必要と思う	1
会社勤め向けの対応が多く、自営業はそこまでサポートが必要でないかのような扱いを感じる	1
子育てしながら働くには勤務日数や勤務時間に選択肢がない	1
子連れ出勤できる職場がもっと増えればいい	1
子どもが病気の時の対応が心配	1
今回短時間勤務制度を知ったので、会社に相談してみようと思う	1
働かないといけませんが働くと保育所が必要で、その保育料を払うために働いている状態である	1
働いていないと保育所に預けられない、でも預けられないから仕事を探すこともできない	1

◆その他

内容	件数
特になし	12
アンケートがややこしい、わかりにくい	8
現状で十分である	7
アンケートを1世帯1つにして欲しい	4
勤め先に制度がなくて回答できていない部分がある	2
多くの支援があり、ありがたい	2
支えてくださっている方々には感謝の気持ちでいっぱいです	2
安心できる環境があれば元気に育つ	1
親自身が子どもの変化に気が付くようにする必要がある	1
他府県から引っ越して田辺に来た時になかなか地域になじめなかったの で、さみしさを感じていた	1
まだよくわかっていない	1

【小学生】

◆学童保育

内容	件数
学童保育を4年生以降も受け入れてほしい	65
もっと学童保育を使いやすくしてほしい	29
長期休暇時に見てもらえる制度が少ない、学童保育を長期休暇時にも使えるようにしてほしい	17
自分のところにも学童保育を導入してほしい	13
学童を利用することができて助かった	8
土日も預かってもらえる場所が欲しい	6
学童保育の料金が安い	6
学童保育の内容や指導者の質に不安がある	5
学童内で習い事ができるようにしてほしい	3
必要な人が制度を受けられず、そこまで必要でなさそうな人が受けられているように見える	3
学級閉鎖時など子供が元気な時でも預けられる場所が欲しい	1
学童に入れず、子どもだけの状態の家庭に対する声掛けが欲しい	1
親が共働きの子でも、家族の代わりになれるような温かいサポートがあればいいのかなと思う	1
受け入れが無理な時の説明がもっと欲しい	1
学童保育も保育料だけでも無料になるといい	1
学童保育が月額での利用だが、幼稚園の預かり保育のように用事のある日だけの利用もできればありがたい	1
保育時間の拡大を望む	1

◆医療・病児保育

内容	件数
病児病後児保育の施設を増やしてほしい	19
任意の予防接種（インフルエンザなど）の助成をお願いしたい	8
365日24時間対応の託児所があればいいのと思うときがある	1
病児保育前の受診が手間	1
病気がちな子供向けの相談窓口が欲しい	1

◆遊び場・公園・居場所

内容	件数
子どもが遊べる場所が少ない	69
放課後に子供がいられる場所が少ない	17
公園や施設など、街の環境整備が足りていない	16
放課後子ども教室を拡充してほしい	15
室内で子供がいられる施設が少ない	9
児童館が地区毎に欲しい	7
だれでも参加できるコミュニティ、イベントを増やしてほしい	3
児童館の魅力が増すようにしてほしい	2
小学校や公民館の設備をもっと利用できないか	2
ボランティアで少しの間子どもを見てくれるところがあればうれしい	1
子どもが学びながら遊べるような自由に利用できる教育施設がほしい	1

◆教育・学習

内容	件数
学校、学級間で先生のレベルの差が激しい	8
地域の方々が子どもたちとかかわってくださることがありがたい	8
現場の先生方へのフォローがもっとあっていい	6
子ども一人一人に合わせた対応が足りていない	5
勉強が分からない時や勉強が遅れがちな子向けに、無料で教えてくれたりする場がほしい	5
学校の設備や備品にも手を入れてほしい	4
教育に関する選択肢が少なすぎる	4
役員や学校行事などが負担	4
司書を配置してほしい	3
学校や公民館で習い事教室をやってほしい	3
アレルギーの対応をもっと考えてほしい	3
すべての学校に発達障害に対応できる環境を作ってほしい	3
教育に対して先生方に厳しく丁寧に指導していただきありがたい	3
人に対しての思いやりの心を学校や家庭でもっと教育できたらと思う	3
利用したい人だけ利用できるスクールバスを今後導入していけるように考えてほしい	3
参観日が多すぎる	3
ソーシャルスキルを教えてくれる機関が欲しい	2

近くに施設があり、便利だった	2
もっと通学路の防犯対策をしてほしい	2
学級閉鎖や警報が出た時の対応を考えてほしい	2
不登校になって、学校のカウンセリングや病院のカウンセリングを受けたが、学校以外で子供が居場所を見つけることは困難	1
先生の指導力をあげてもらうか、ほかに外部コーチを入れてもらいクラブ活動がうまくいくようにしてもらいたい	1
校区外通学している子供も学校を選べるようにしてほしい	1
家庭教育を充実してほしい	1
和歌山県内であれば市町村に関係なく希望するスポーツや音楽等文化クラブに所属することができたらいいと思う	1
小学校各クラスに 1 人くらい子どもの様子を見てくれる人がいたらいいと思う	1
保育園、学校の環境に満足している	1
子どものことを大切に思って接してくれる笑顔の素敵な先生方がたくさん来てくれたらうれしい	1
スポーツをしていく上で紀南は不利、子供の体力低下に心配ならもっと市民の目線で見してほしい	1
少子化で今後の合併等が不安	1
ひきこもり、不登校の子供を持つ親たちが集まって話のできる場があればいいと思う	1
学校が終わってからふれあい教室はとてもうれしい	1
子どものメンタルサポートが必要	1
毎日朝から晩まですることがあり、子どもが疲れ果てている、もう少し時間配分を考えられないか	1
荷物が多くて大変そうなので、学校に置くのを許可してほしい	1
必要な時には意見を聞かず、終わってから聞かれても困る	1

◆保育環境

内容	件数
保育園全体の環境や、指導している先生の質に問題がある	3
子どもが小さい間は働かずに一緒にいたい	2
未就学児等小さい子供を見てくれる環境がほしい	1
小 3 の冬休みから長期休暇時は日中一人で過ごすことになっている、今のところ問題は起きていないが非常に心苦しい	1

子どもも子どもの居場所事業等で遠方の知らない子と一緒にいるのは嫌がる	1
休みの日も学校を開放して自由に使わせてもらえないか	1
子どもが小さい間は働かずに一緒にいたい	1

◆行政・サービス

内容	件数
通学路や街灯の整備が必要	25
手当の金額や補助の対象をもっと柔軟に対応してほしい	23
知らないサービスが多い、もっと周知の努力をしてほしい	11
サービスがあっても遠かったり時間が合わなかったりで使いづらく、利用が難しい	9
医療費を高校卒業まで無料にしてほしい	9
緊急時に使いやすい施設が欲しい	8
ひとり親に対する支援が少ない	8
色々補助していただけてありがたい	8
今あるサービスの質の向上、拡充をお願いしたい	7
サービスに地域差があり、平等になっていない	6
就学前と比較して就学後の支援が少ない	5
どのサポートを利用するにしてもお金がかかる	5
田辺市は子育てに向いていない、今後が不安である	5
税金の使い方をもっと考えてほしい	4
中学まで医療費無料になって助かっている	4
高校以降の学費などの補助なども検討してほしい	3
中学生卒業まで医療費を無料にしてほしい	3
このままだと少子化や市外への流出はますます進むと思う	2
行政の態度、取り組みに不安がある	2
子どもだけでなく親の方も教育して全ての人が我が子としっかりと向き合える支援をしてほしい	2
サービスを利用しても対応がまちまちだったりそもそも対応してもらえなかったりした	2
市教育委員会の対応があまりにも悪い	2
制度があってもハードルが高く、すぐに使えない、全く役に立っていない	2
何事に対しても市の対応が遅い	2

働きに出られるように支援するより、より長く子どもと接していただけるようにする方が重要なのではないか	2
子育て支援は、一方的に支援するのではなく、相互にしていかなければ充実していかない	1
連絡するといっておきながら全く連絡がなく、市の事業を信用できない	1
関わる職員の質に不安がある	1
保育料がかなり高い	1
子どもの居場所づくり事業が何かわからない	1
田辺市の不定期の教育・保育事業について詳しく知りたい	1
働いていなくても相談、支援が受けられるようにならないか	1
障がいのある子への対応をもっと充実させてほしい	1
夏でも夕方の鐘を 17 時や 17 時半に放送してほしい	1
休業制度を取得した時の子だけでなく、その子の兄弟についても影響があるのでその辺りも考慮していければいい	1
支援を受けたことがないのでわからない	1
子どもが大きくなった時の就職先が心配	1
子どもだけで行っても安全な図書館が欲しい	1
親が相談できる施設が増えればいいと思う	1
老人にもお金がかかるので子育て支援を増やす方がいいとは思わない	1

◆勤務環境

内容	件数
職場で実際に子育て支援の制度を使える状態ではない	7
フルタイム勤務では仕事と子育ての両立は難しい	2
制度を使うのが当然という雰囲気を作っていってほしい	2
制度は充実してきていると思うので、運用をもっと柔軟にできれば	2
制度を利用出来て助かったが、利用に対する周囲の目がまだまだ厳しいことがあってつらい思いもした	1
短時間就労を検討しているが長期休暇時の対応に悩む	1
制度が使えているとフルタイムでもなんとかなっている、もっと広まるといい	1
女性の働き方、負担についても考える必要があるように思う	1
勤務したい場所と預ける先の時間がかみ合っていない	1
行政と職場で考え方に温度差がある	1

休業制度があっても期間終了してしまうとすぐに夜勤や残業が復活して負担が大きい	1
大手以外の企業でも制度が認知されるような仕組みを作してほしい	1
受け入れ可能時間や休みの日といった制限のない完全な保育が欲しい	1
パートでは利用料負担が重い	1
近くの保育所にも1歳児保育があれば他の制度も利用しようとしたかもしれない	1
親の働く職場が子育てしやすい環境になってほしいと思う	1
田辺に育児休業をとれる人が何%いるか調べてからアンケートを取ってください	1

◆その他

内容	件数
特になし	19
現状で十分である	5
家庭の事情に合わせたアンケートになっていない	5
アンケートを1世帯1つにして欲しい	5
地域のつながりがより活性化されればいい	3
地域の人の目や子供会の負担が重い、もう少し緩やかなつながりにならないか	3
利用料がかかるので何も利用しない	3
それぞれが求める環境が整うといいと思う	2
就業形態の都合で答えるのが難しい部分があった	2
まだよくわかっていない	2
クラブなどで学ぶことが多く、子供会は必要ないのではないかな	1
アンケートをしても何も反映されていない	1
アンケートはネットで出来るようにしてほしい	1
アンケートがわかりにくい	1
思うことはたくさんある	1
子どもの自由が少ない	1
子どもが多く、まだまだ子育ての先が長い、頑張っているのだが将来が不安である	1
いい先生方に恵まれて助かっている	1

3.クロス集計結果

3 クロス集計結果

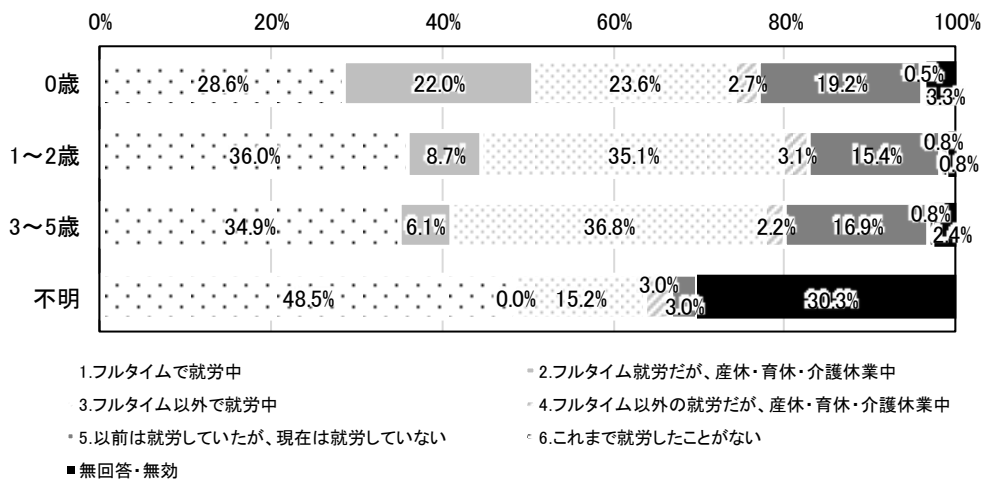
3.1 年齢別

3.1.1 保護者の就労状況（母）

●年齢が上がるにつれて、フルタイムの就労、フルタイム以外の就労が多くなっています。

問11就労状況(1)母(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
1.フルタイムで就労中	52	212	465	16	745
2.フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	40	51	81	0	172
3.フルタイム以外で就労中	43	207	490	5	745
4.フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	5	18	29	1	53
5.以前は就労していたが、現在は就労していない	35	91	225	1	352
6.これまで就労したことがない	1	5	10	0	16
無回答・無効	6	5	32	10	53
回答数(年齢区分毎合計)	182	589	1,332	33	2,136

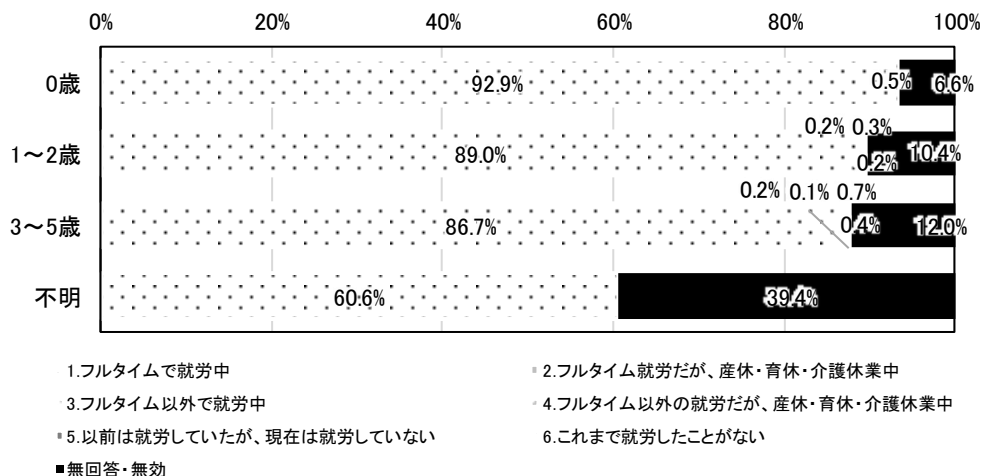


3.1.2 保護者の就労状況（父）

- 年齢に関係なく、ほとんどの父親がフルタイム就労となっています。

問11就労状況(2)父(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
1.フルタイムで就労中	169	524	1,155	20	1,868
2.フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中	0	1	2	0	3
3.フルタイム以外で就労中	1	2	9	0	12
4.フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中	0	0	1	0	1
5.以前は就労していたが、現在は就労していない	0	1	5	0	6
6.これまで就労したことがない	0	0	0	0	0
無回答・無効	12	61	160	13	246
回答数(年齢区分毎合計)	182	589	1,332	33	2,136

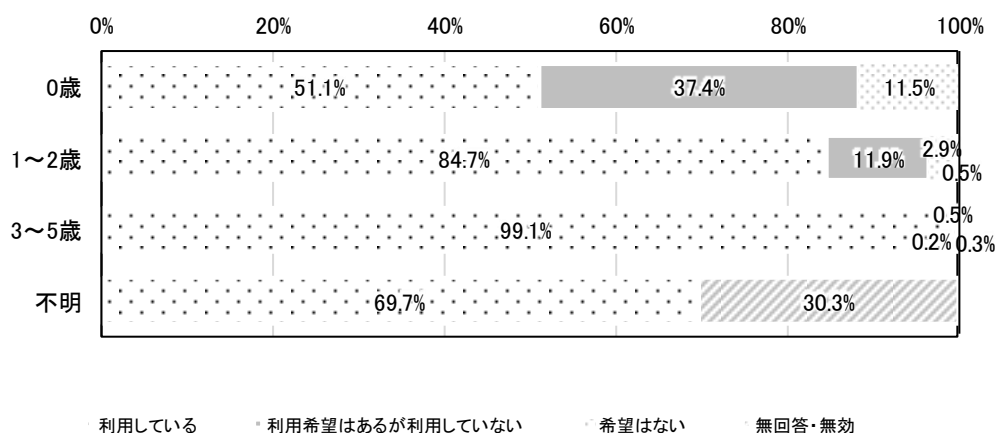


3.1.3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- 年齢が上がるにつれて、「利用希望はあるが利用していない」割合が減っています。
- 年齢が小さいほど、認定こども園や許可保育所（園）の利用が多くなっており、3歳～5歳では幼稚園を利用している割合が多くなっています。

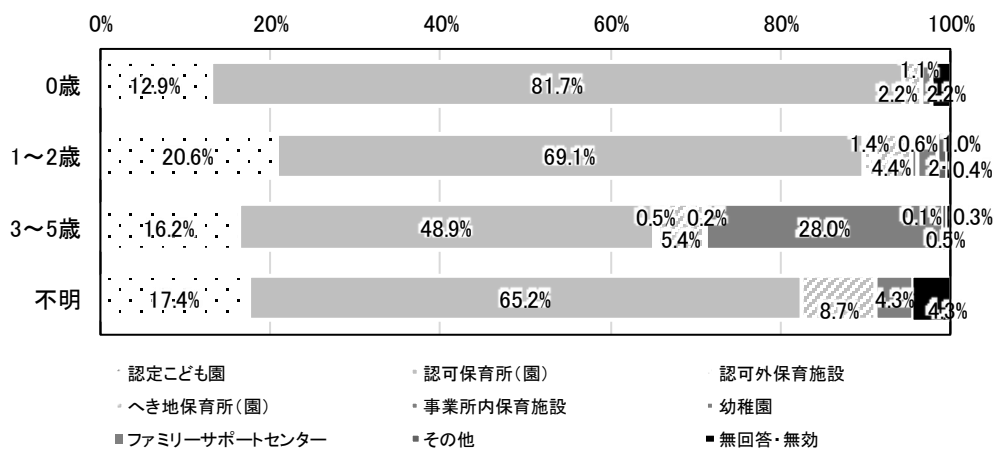
問13平日の幼稚園・保育の利用の有無（年齢別）

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
利用している	93	499	1,320	23	1,935
利用希望はあるが利用していない	68	70	6	0	144
希望はない	21	17	2	0	40
無回答・無効	0	3	4	10	17
回答数（年齢区分毎合計）	182	589	1,332	33	2,136



問13-①現在利用している事業（年齢別）

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
認定こども園	12	103	214	4	333
認可保育所（園）	76	345	646	15	1,082
認可外保育施設	0	7	6	0	13
へき地保育所（園）	2	22	71	2	97
事業所内保育施設	1	3	3	0	7
幼稚園	0	12	369	1	382
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0
ファミリーサポートセンター	0	0	1	0	1
その他	0	5	6	0	11
無回答・無効	2	2	4	1	9
回答数（年齢区分毎合計）	93	499	1,320	23	1,935

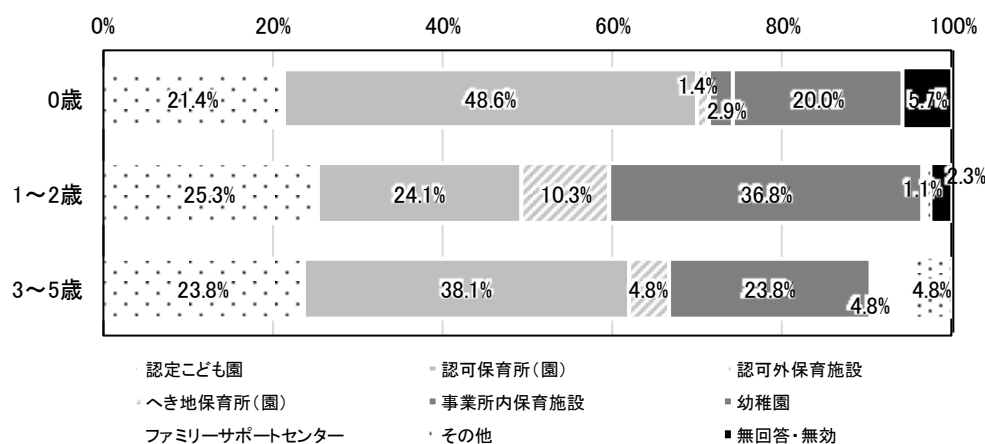


3.1.4 今後利用したい事業

- 利用したい事業としては、利用している事業と比較して、0歳、3～5歳では認可保育所(園)の割合が多くなっており、1～2歳では、幼稚園の割合が多くなっています。

問13-②今後利用したい事業(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
認定こども園	15	22	5	0	42
認可保育所(園)	34	21	8	0	63
認可外保育施設	0	0	0	0	0
へき地保育所(園)	1	9	1	0	11
事業所内保育施設	2	0	0	0	2
幼稚園	14	32	5	0	51
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0
ファミリーサポートセンター	0	0	1	0	1
その他	0	1	1	0	2
無回答・無効	4	2	0	0	6
回答数(年齢区分毎合計)	70	87	21	0	178

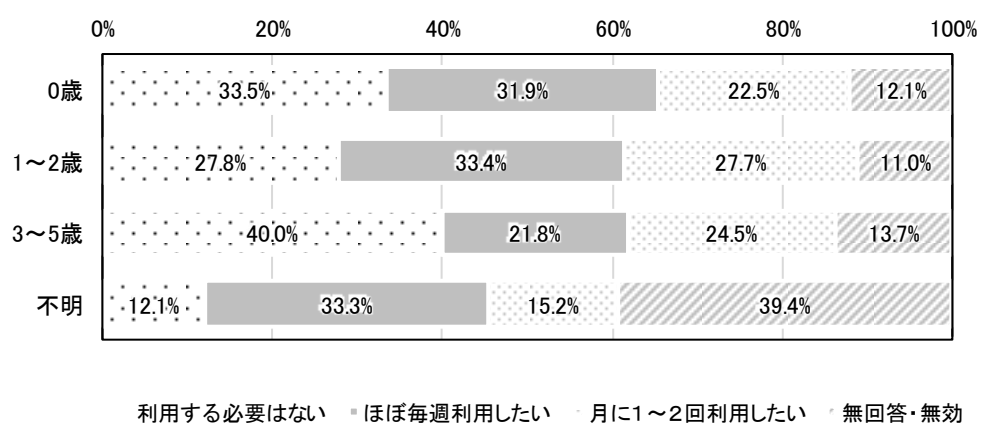


3.1.5 土曜の教育・保育事業の利用希望

土曜の教育・保育事業の利用希望としては、年齢にかかわらず、5割程度の人が「ほぼ毎週利用したい」、または「月に1～2回利用したい」と答えています。

問17(1) 土曜利用希望(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
利用する必要はない	61	164	533	4	762
ほぼ毎週利用したい	58	197	290	11	556
月に1～2回利用したい	41	163	326	5	535
無回答・無効	22	65	183	13	283
回答数(年齢区分毎合計)	182	589	1,332	33	2,136

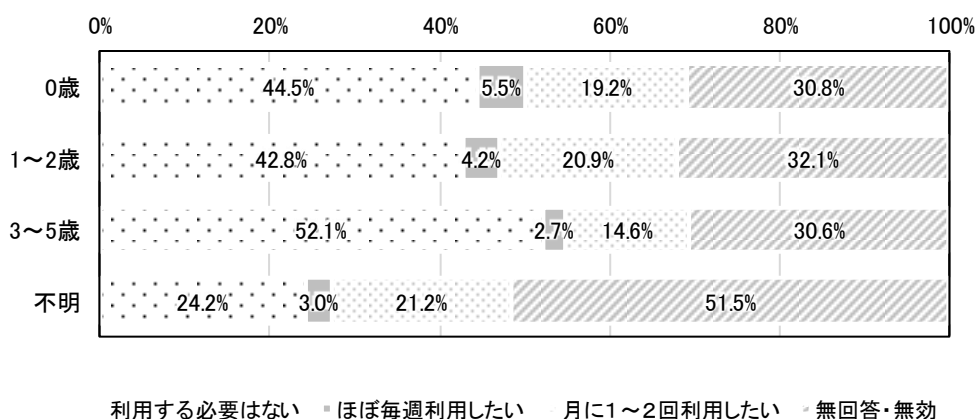


3.1.6 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

- 年齢にかかわらず、5割程度の人が「利用する必要はない」と回答しています。

問17(2) 日祝利用希望(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
利用する必要はない	81	252	694	8	1,035
ほぼ毎週利用したい	10	25	36	1	72
月に1～2回利用したい	35	123	194	7	359
無回答・無効	56	189	408	17	670
回答数(年齢区分毎合計)	182	589	1,332	33	2,136

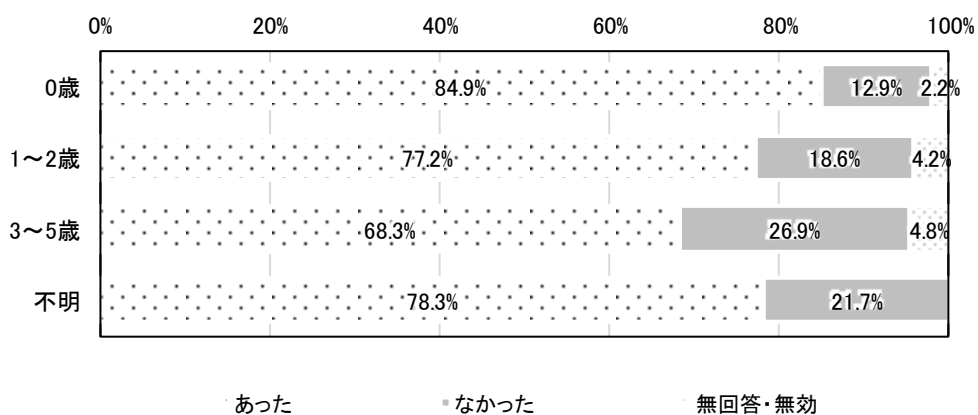


3.1.7 病気やケガで幼稚園・保育所・学校等へ行けなかったことの有無

- 「あった」と答えた割合は、0歳で84.9%と最も多くなっており、1～2歳で77.2%、3～5歳で68.3%となっています。
- 休んだ日数は、父母ともに年齢による傾向の差はみられませんでした。

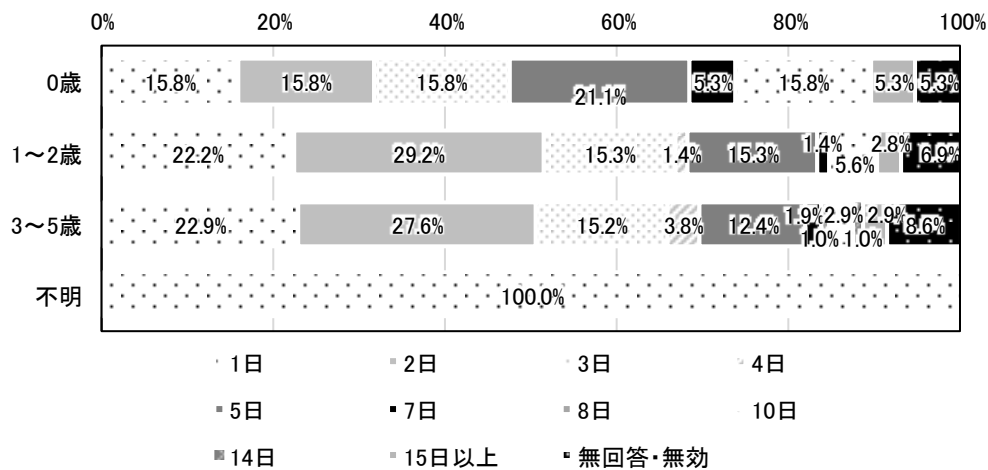
問19病気ケガ有無(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
あった	79	385	902	18	1,384
なかった	12	93	355	5	465
無回答・無効	2	21	63	0	86
回答数(年齢区分毎合計)	93	499	1,320	23	1,935



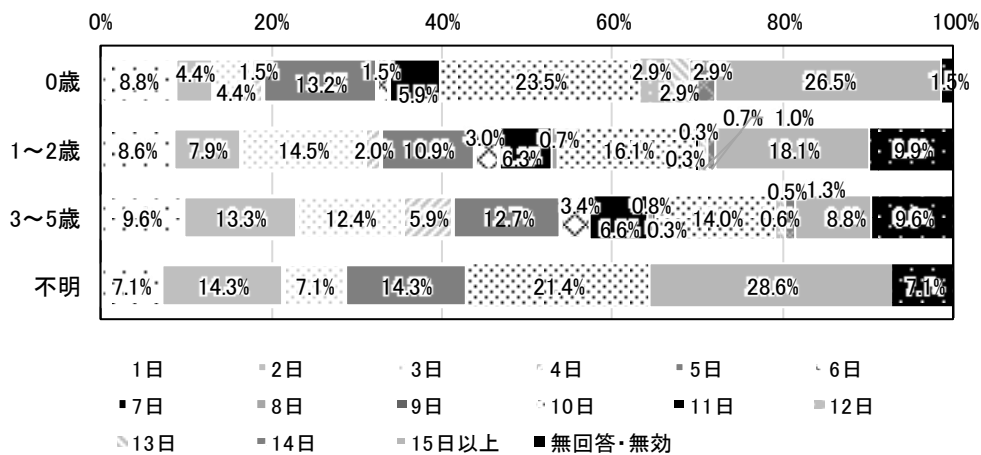
問19-1:(1)父親休んだ日数(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
1日	3	16	24	2	45
2日	3	21	29	0	53
3日	3	11	16	0	30
4日	0	1	4	0	5
5日	4	11	13	0	28
6日	0	0	0	0	0
7日	1	1	2	0	4
8日	0	0	1	0	1
9日	0	0	0	0	0
10日	3	4	3	0	10
11日	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0
14日	0	0	1	0	1
15日以上	1	2	3	0	6
無回答・無効	1	5	9	0	15
回答数(年齢区分毎合計)	19	72	105	2	198



問19-1:(2)母親休んだ日数(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
1日	6	26	60	1	93
2日	3	24	83	2	112
3日	3	44	77	1	125
4日	1	6	37	0	44
5日	9	33	79	2	123
6日	1	9	21	0	31
7日	4	19	41	0	64
8日	0	2	5	0	7
9日	0	0	2	0	2
10日	16	49	87	3	155
11日	0	1	0	0	1
12日	2	1	4	0	7
13日	2	2	3	0	7
14日	2	3	8	0	13
15日以上	18	55	55	4	132
無回答・無効	1	30	60	1	92
回答数(年齢区分毎合計)	68	304	622	14	1,008

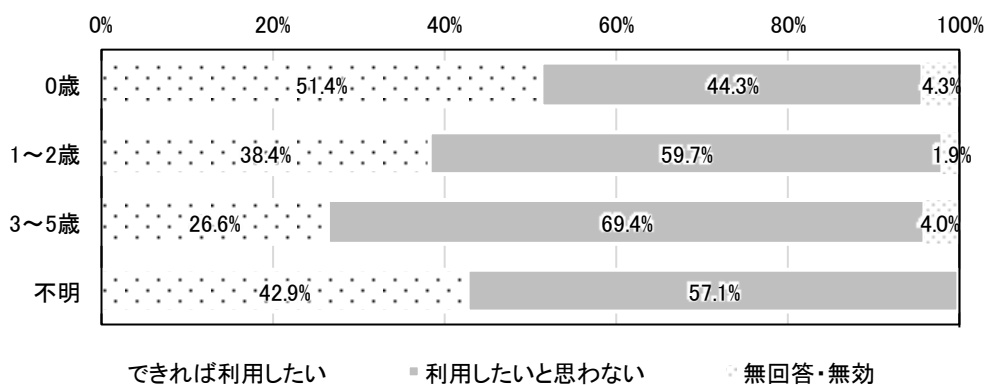


3.1.8 病児・病後児保育施設などの利用希望

- 0歳で病児・病後児保育施設を利用したいと答えた割合が5割を超えていますが、全体としては3割程度にとどまっています。

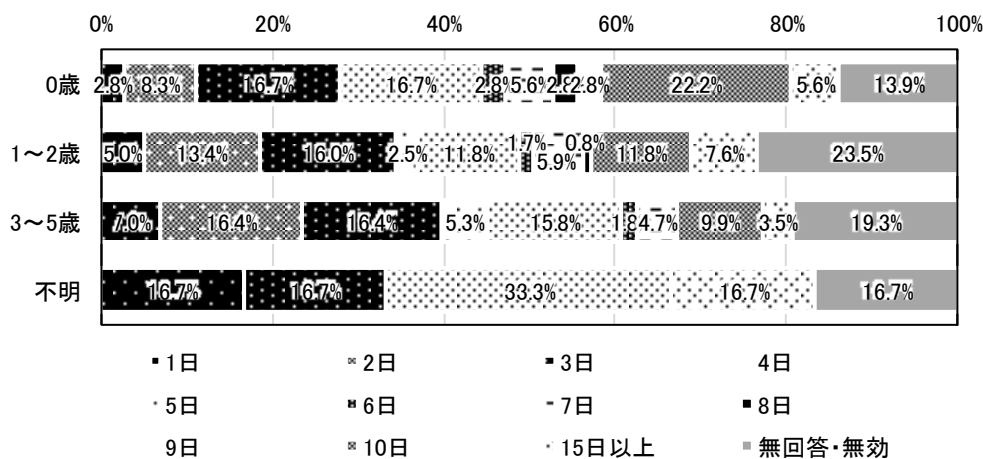
問19-2病児保育等利用希望(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
できれば利用したい	36	119	171	6	332
利用したいと思わない	31	185	447	8	671
無回答・無効	3	6	26	0	35
回答数(年齢区分毎合計)	70	310	644	14	1,038



問19-2: 利用したい日数(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
1日	1	6	12	1	20
2日	3	16	28	0	47
3日	6	19	28	1	54
4日	0	3	9	0	12
5日	6	14	27	2	49
6日	1	2	3	0	6
7日	2	7	8	0	17
8日	1	1	0	0	2
9日	1	0	0	0	1
10日	8	14	17	0	39
11日	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0
15日以上	2	9	6	1	18
無回答・無効	5	28	33	1	67
回答数(年齢区分毎合計)	36	119	171	6	332

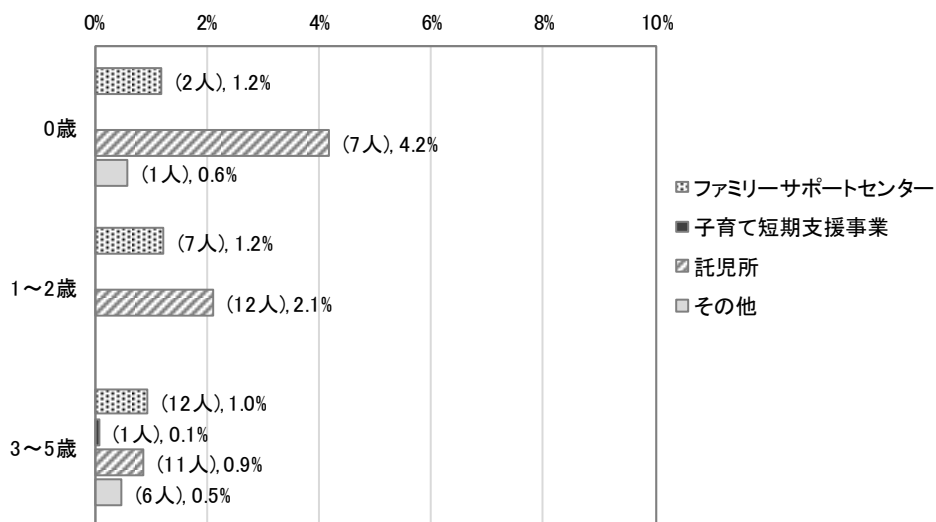


3.1.9 一時預かりなどの利用

- ファミリーサポートセンターについては、年齢に関わらず 1%程度の利用が見られます。
- 年齢が低いほど、託児所を利用する割合が高い傾向があります。

問20不定期の利用状況(年齢別)

	0歳	1～2歳	3～5歳	不明	合計
ファミリーサポートセンター	2	7	12	0	21
子育て短期支援事業	0	0	1	0	1
ベビーシッター	0	0	0	0	0
託児所	7	12	11	0	30
その他	1	0	6	1	8
利用していない	158	548	1,225	19	1,950
無回答・無効	0	0	1	0	1
回答数(年齢区分毎合計)	168	567	1,255	20	2,010



第二期田辺市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査結果報告書

平成 31 年 3 月

田辺市 子育て推進課

〒646-0028 和歌山県田辺市高雄一丁目 23 番 1 号

TEL：0739-26-4927 FAX：0739-26-7750